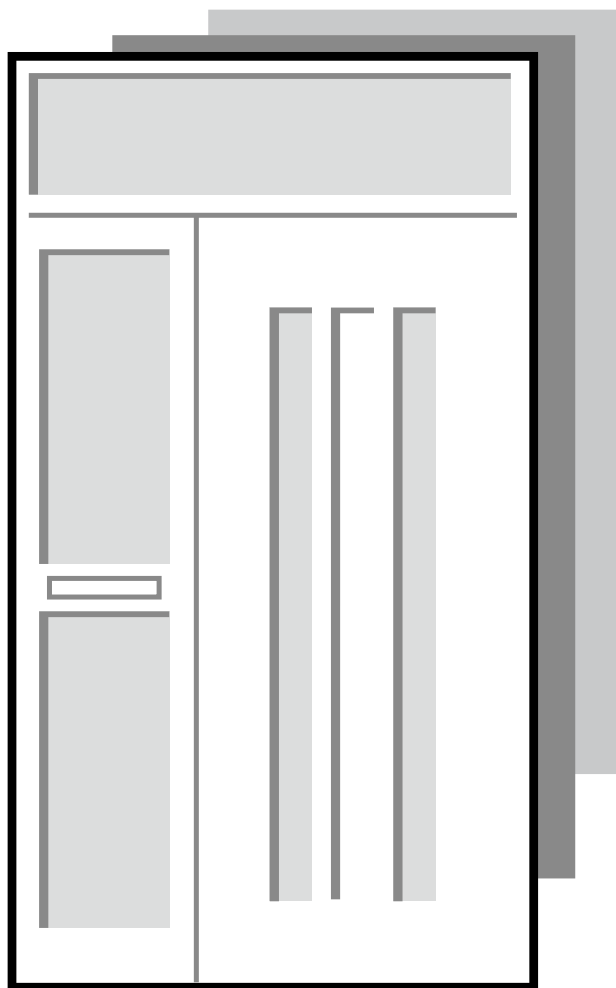


リフォームドア リシエント

取付け説明書



取付けにあたって

- ご使用前に、「取付け説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この説明書に掲載の商品は、使用用途・場所などを限定するもの、専門施工を必要とするもの、定期点検を必要とするものがあります。
販売店又は専門施工店にご確認ください。
- 商品には安全にお使いいただくための本体表示ラベルが張ってあるものがあります。ご使用の際はご確認の上、正しくお使いください。

目次

■組立て・取付けされる方へのお願い	1・2
■「リフォームドア リシエント」は	3
■取付け工程モデル	4
■現場取付けまでの準備	5
■納まり参考図	6～15
■製品の切詰め	16～44
■製品の組立て	45～51
■製品の取付け	52～74
■取付けチェックポイント集	75～80

組立て・取付けされる方へのお願い

■組立て・取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …組立て・取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

- 本製品は、木造・土間納まり専用です。外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の個所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。
- 躯体に取付ける際は、ねじかかり寸法は必ず 20mm 以上にしてください。製品強度の不足でドア本体・枠の脱落の原因になります。
- 躯体に取付ける際は、枠取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法 20mm の時、 $1.2\text{N} \cdot \text{m}$ ($12\text{kgf} \cdot \text{cm}$) 以上にしてください。
製品強度の不足でドア本体・枠の脱落の原因になります。
- 丁番取付けねじは、奥まで締め付けてください。ドア本体の脱落の原因になります。
- 錠セットを取付けてからドア本体をつり込んで枠を躯体に固定してください。錠セットを取付ける前に枠につり込むと、ドアが勝手に開き思わぬケガをするおそれがあります。
- 丁番取付けねじを全部外さないでください。ドア本体が脱落します。
- 親子・両開き納まりで下枠とポーチ面の立上がり大きい場合は、下枠のフランス落とし受け金具部分の強度確保のため、必ず下枠補強アングル(別途有償品)を取付けてください。下枠のフランス落とし受け金具部分が破損し、思わぬケガをするおそれがあります。
- 下枠段差緩和材の取付けは注意事項をお守りください。両面テープの接着力が低下し、下枠段差緩和材が外れ、思わぬケガをするおそれがあります。

■組立て上のおお願い

- ガラス寸法は、部材切断寸法表から算出してください。
- 必ず指定のねじで組立てしてください。
- 枠の組立てねじは $2.5 \pm 0.5\text{N} \cdot \text{m}$ ($25 \pm 5\text{kgf} \cdot \text{cm}$) の締め付けトルクで止めた後、緩み・ガタツキのないことを確認してください。

- 袖上棧を組立てる際は、袖上棧のリブを上枠・無目にはめこんでください。
- ポーチと下枠の段差が大きい場合は、下枠補強アングル（別途有償品）を枠組立て時に取付けてください。
- 押縁の両端末にシーリング材を充てんしてください。

■取付け上のお願

- 必ず指定の取付けねじで固定してください。
- 現場取付けに入る前に製品基本寸法が現場と合っていることを確認してください。
- 内外の額縁は現場の納まりに合わせて切詰めてください。
- 親子納まりの場合は、下枠のフランス落とし受け金具部分の強度確保のため、受け金具の両脇にかい物を入れてください。
- 親子納まりで下枠とポーチ面の立上がり大きい場合は、下枠のフランス落とし受け金具部分の強度確保のため、必ず下枠補強アングル(別途有償品)を取付けてください。

【ねじかかり寸法の確認】

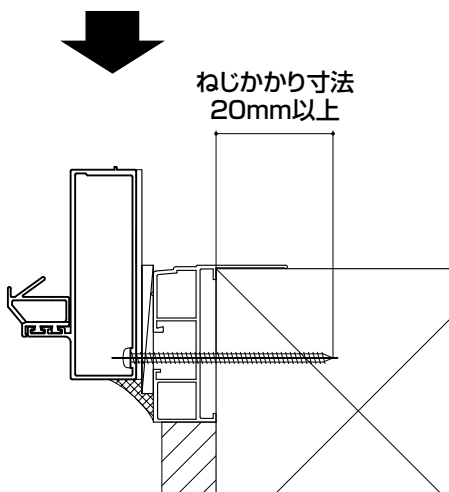
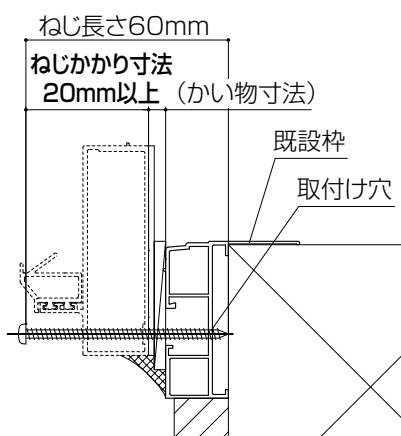
躯体にねじ止めする前に、既設枠の取付け穴にねじを入れ、取付け穴からねじ頭までの長さが20mm以上であることを確認してください。

※ねじ長さ 60mm

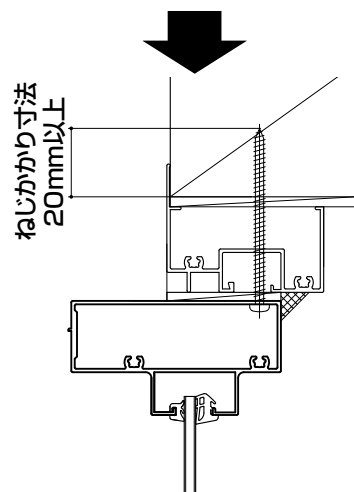
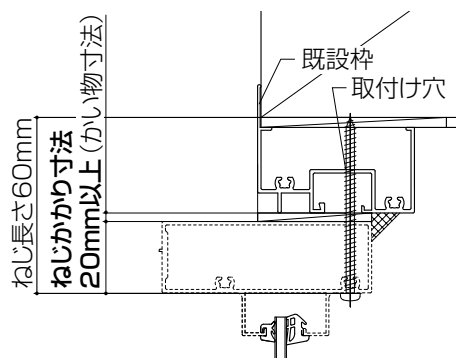
▲ 注意

- 製品の強度確保のため、ねじかかり寸法は必ず20mm以上にしてください。

（縦枠の場合）



（上枠の場合）



【取付ける柱のねじ込みトルクの確認】

製品を取付ける前に取付ける柱に腐りがなく、枠の取付けねじのねじ込みトルクが1.2N・m（12kgf・cm）以上であることを確認してください。

▲ 注意

- 躯体に取付ける際は、製品の強度確保のため、取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法20mmの時、1.2N・m（12kgf・cm）以上にしてください。

「リフォームドア リシエント」は…

●『リフォームドア リシエント』は、既設のドア枠（※1）の上から新しい枠を取付ける、改装専用玄関ドアとして設計されています。

（※1）トステム対象商品名

クラウン・キング・クィーン・プリンス・アルック・プレカラー・ クィーン木彫・ウッディ・ハイクィーン・リファイン 18・ロイヤルドア・ ロイヤルドア DX・ロイヤルアルミドア・ロイヤルアルビック・ クラーク・コロネット・グランド・アルロング・マイム・ベルモント・ ラゴнда E・F・プレナス 20 内付・クリエラ 19 内付・ウィコット・ プレナス・プレナスⅡ・プレナス S・セルバ・クリエラ（半外付）・ ボイーズ・ボイーズⅡ・アルベーロ・フォルマ・マデラード・ グランザ・アスティ・断熱クラーク・アンビィ・グランザ EX・ マデラード EX・フォルマ EX・HL
--

寒冷地向け断熱商品からの改装は高断熱仕様を推奨します。

（※2）その他商品 上記以外の商品については、柱へのねじかけり寸法が 20mm 以上の商品のみを対象とします。

■製品特長

1. 枠の取外し及び付帯工事が不要なため、外壁や内装をキズつけません。
2. 部材の加工・組立てが簡単です。
3. 内外の額縁に調整幅が設けてあるため、どんな枠にもきれいに納まります。
4. 内外の額縁の調整とシーリングだけで、雨仕舞いなどの仕上げが完了します。
5. 品ぞろえが豊富です。

●リシエント

枠	ランマ付き（片開き・親子・片袖・両袖）	
	ランマなし（片開き・親子・片袖・両袖）	
本体（高断熱仕様）	DH2002 タイプ	5 デザイン
	DH2198 タイプ	5 デザイン
本体（断熱仕様（k2・k3））	DH2004 タイプ	10 デザイン
	DH2200 タイプ	10 デザイン
本体（断熱仕様（k4））	DH 2004タイプ	9 デザイン
	DH 2200タイプ	9 デザイン
本体（アルミ仕様）	DH2004 タイプ	11 デザイン
	DH2200 タイプ	11 デザイン
子扉（高断熱仕様）	DH2002 タイプ	2 デザイン
	DH2198 タイプ	2 デザイン
子扉（断熱仕様（k2・k3））	DH2004 タイプ	2 デザイン
	DH2200 タイプ	2 デザイン
子扉（断熱仕様（k4））	DH 2004タイプ	1 デザイン
	DH 2200タイプ	1 デザイン
子扉（アルミ仕様）	DH2004 タイプ	1 デザイン
	DH2200 タイプ	1 デザイン
製品色	オータムブラウン・シャイングレー・ホワイト・ ポートマホガニー・ミルブラウン・柿渋調・ アイリッシュパイン	

※高断熱仕様の枠に片袖と両袖はありません。

※高断熱仕様の製品色にホワイトはありません。

取付け工程モデル

取付け工程

概要

お施主さまとの打合わせ

- 現場を確認し、既設玄関への取付可否を調査します。
- 使用する製品のタイプを決定・見積りし、工事希望日を確認します。
- 製品を発注し、納入日を確認後工事日を決定します。

取付け前の作業

- 既設枠開口に合わせ、枠を切詰める必要がある場合は、製品を切詰めます。
- ガラス・ビード・別途有償品を手配します。
※高断熱仕様と断熱仕様 (k2・k3) は、18～22mm 用の剥離式後付ビードが製品に同梱されています。
※断熱仕様 (k4) とアルミ仕様は後付けビード別途手配。

製品の組立て

- 工事日までに製品を組立てます。

既設ドアの取外し

- 製品基本寸法が現場に合うことを確認します。
- 工具を準備し、外枠だけ残して順に取外します。

新しい枠・ドアの取付け

- 開口部の水平・垂直を正しく出し、新しい枠とドアを取付けます。
- 建付け調整をします。

枠外周部のシーリング処理

- 雨仕舞いの処理のため、シーリングをします。

額縁の取付け

- 納まりに合わせて、額縁を切詰めます。
- 納まりに合う調整溝に、額縁を取付けます。
- 溝ふたを取付けます。

額縁外周部のシーリング処理

- 雨仕舞いの処理のため、シーリングをします。

ガラス入れ・部品の取付け

- ガラスを入れ、ドアクローザなどを取付けます。
- 押縁の両端末に、すき間ふさぎのためシーリングをします。

お引渡し

- お施主さまに製品を引渡します。

現場取付けまでの準備

1. 既設枠開口寸法の測定と取付可否の調査

※巻末の取付けチェックポイント集に従い、既設玄関への取付可否を調査します

- ①既設枠の断面形状を確認します。
- ②「取付けチェックポイント集」(巻末)を参考に既設枠開口のw1・2とh1・2を測定し、小さいほうを既設枠開口寸法とします。

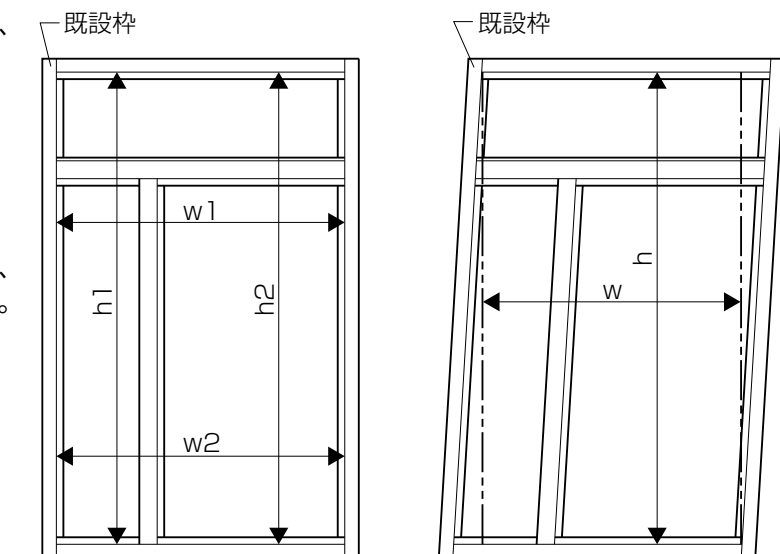
※右図のように既設枠に狂いがある場合は、水平・垂直をみて寸法を測ってください。

- ③既設枠開口寸法より10mm(16mm)程度小さく製品基本寸法を設定します。

※()内は高断熱仕様を示します。

※調整が必要な場合は、かい物をご使用ください。

※製品基本寸法が、切詰め範囲内であることを確認してください。



2. 枠のタイプ、本体、子扉デザインの決定

●取付可能であれば、製品基本寸法を設定し下記項目を決定します。

※単品カタログをご使用ください。

- ①枠のタイプ (片開き・親子・片袖・両袖、ランマ、袖、丁番、製品色)
- ②本体、子扉のタイプ (デザイン・丁番・製品色)
- ③外額縁・内額縁のタイプ (大・中・小)
- ④工事費の見積り (既設ドアの取外し・製品の切詰め・組立て・取付け費・ガラス代など)
- ⑤工事日

※本製品のランマ付きタイプは、既設枠の開口に合せて、現場でランマ、袖のガラス部分が切詰め可能ですが、ドア本体・子扉は切詰められません。

ランマなしタイプは枠の切詰めができませんので、特注にて発注してください。

3. 製品の切詰め

- ①部材切断寸法表で切詰め方向を確認し、製品を切詰めます。

- ②以下の部材加工をします。

1. 縦枠 (切欠き・穴あけ)
2. ランマアタッチメント (穴あけ)
3. 無目 (穴あけ・切欠き)
4. 袖下棧 (切欠き)

※加工形状は部材一覧を参照してください。

■製品切詰め限界寸法 ※高断熱仕様に片袖と両袖はありません。

	ランマ付き				ランマなし			
	片開き	親子	片袖	両袖	片開き	親子	片袖	両袖
H	2256以上…高断熱仕様 2258以上…断熱仕様(k2・k3)・断熱仕様(k4) 2220以上…アルミ仕様				不可			
W	不可	不可	1121以上 …断熱仕様(k2・k3)	1420以上 …断熱仕様(k2・k3)	不可	不可	1176以上 …断熱仕様(k2・k3)	1475以上…断熱仕様(k2・k3)
			1188以上…断熱仕様(k4) 1133以上…アルミ仕様	1499以上…断熱仕様(k4) 1444以上…アルミ仕様			1188以上 …断熱仕様(k4)・アルミ仕様	1499以上 …断熱仕様(k4)・アルミ仕様
ポスト なし	不可	不可	980以上 …断熱仕様(k2・k3)	1138以上 …断熱仕様(k2・k3)	不可	不可	1035以上 …断熱仕様(k2・k3)	1193以上…断熱仕様(k2・k3)
			1107以上…断熱仕様(k4) 985以上…アルミ仕様	1337以上…断熱仕様(k4) 1148以上…アルミ仕様			1107以上…断熱仕様(k4) 1040以上…アルミ仕様	1337以上…断熱仕様(k4) 1203以上…アルミ仕様

4. ガラス・別途有償品の手配

- ①部材切断寸法表の寸法計算式で、ガラス寸法を算出します。

- ②工事日に合わせて、ガラス・別途有償品を手配します。

※高断熱仕様と断熱仕様(k2・k3)は、18～22mm用の剥離式後付ビードが製品に同梱されています。

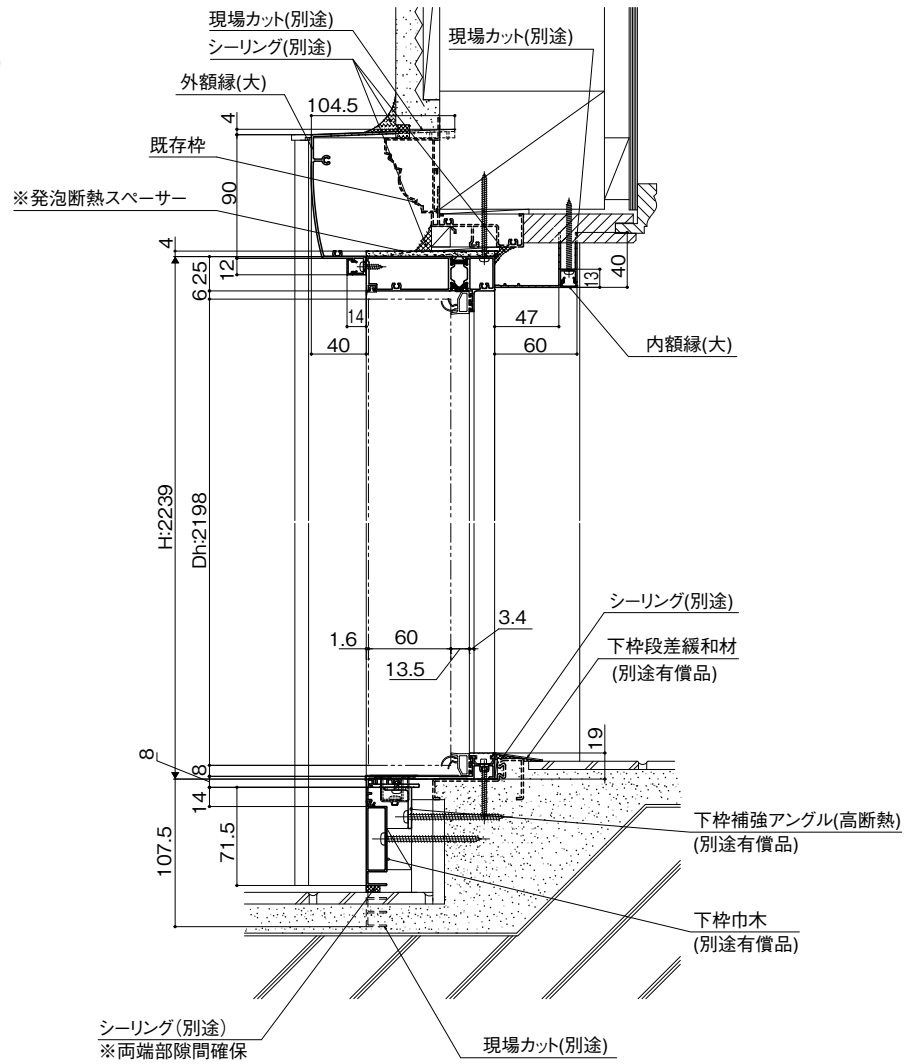
※断熱仕様(k4)とアルミ仕様は別途手配してください。

納まり参考図

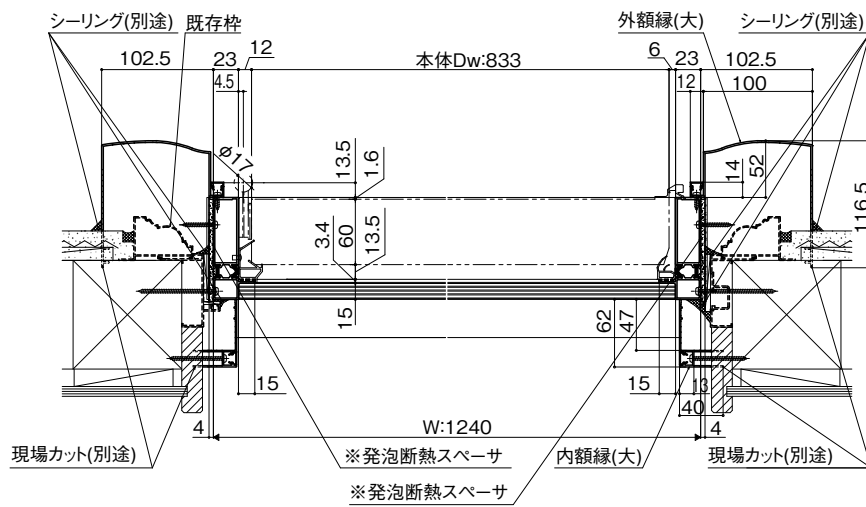
■アルミ枠納まり（高断熱仕様）

〔ランマなし〕

●本体部（縦断面図）



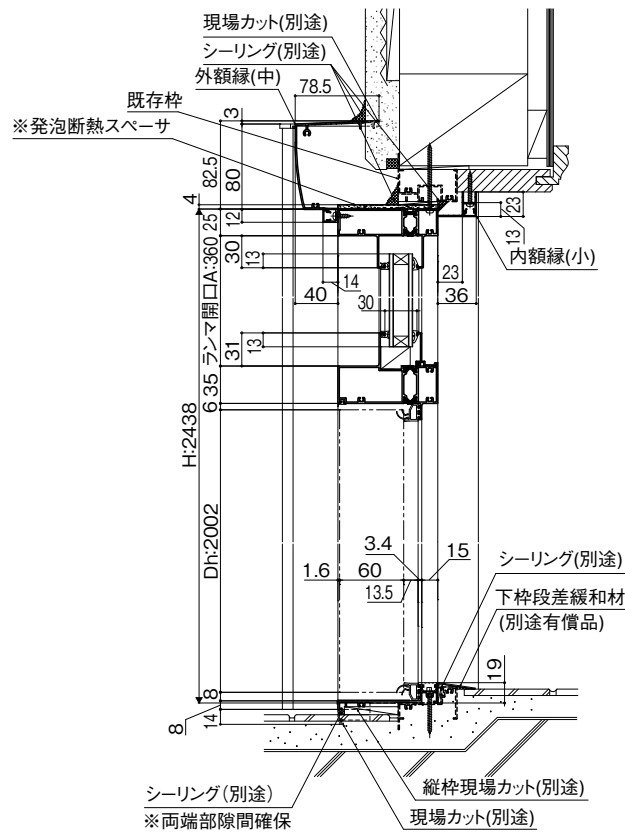
●片開き（横断面図）



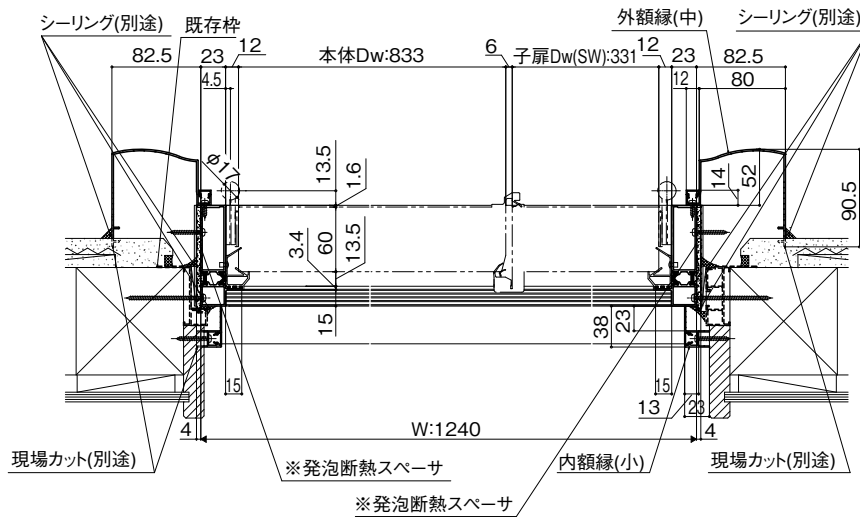
■アルミ枠納まり (高断熱仕様)

[ランマ付き]

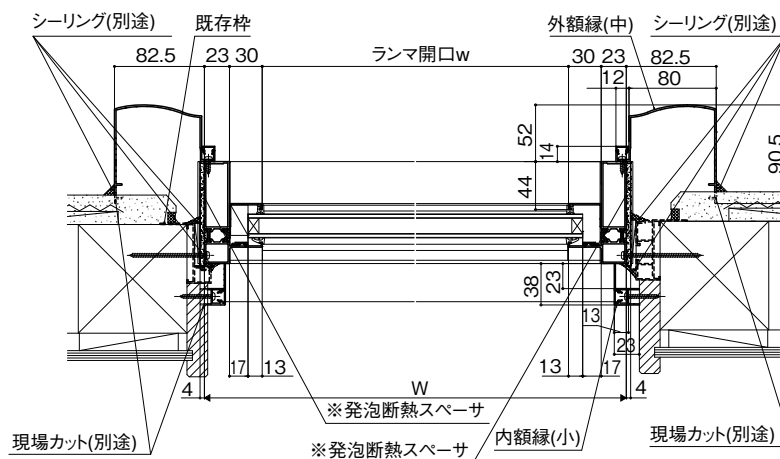
●本体部 (縦断面図)



●親子
(横断面図)



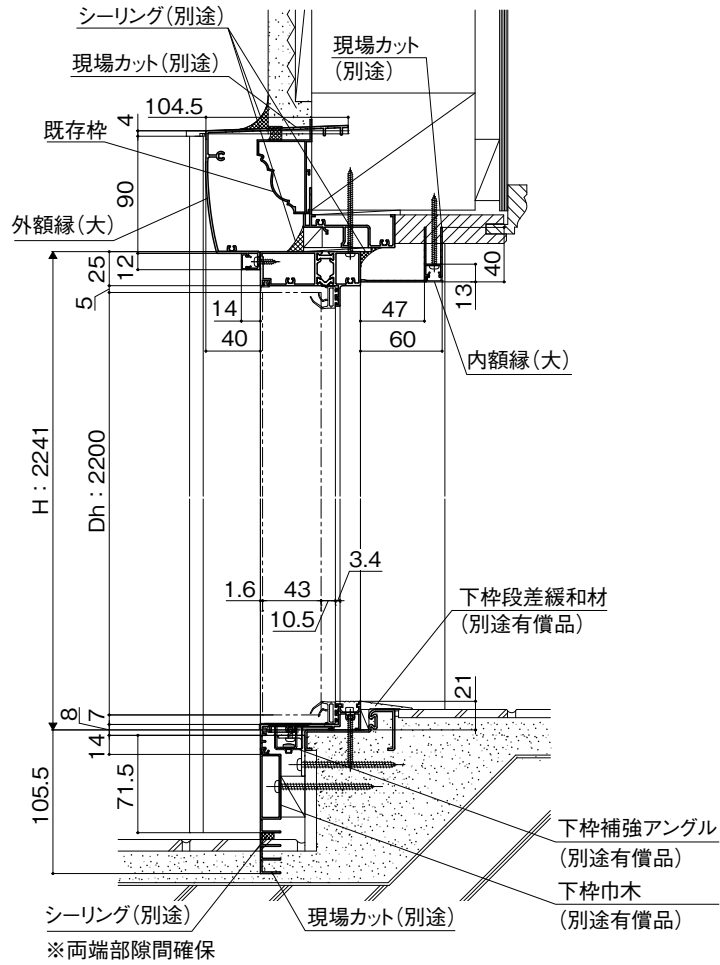
●ランマ部
(横断面図)



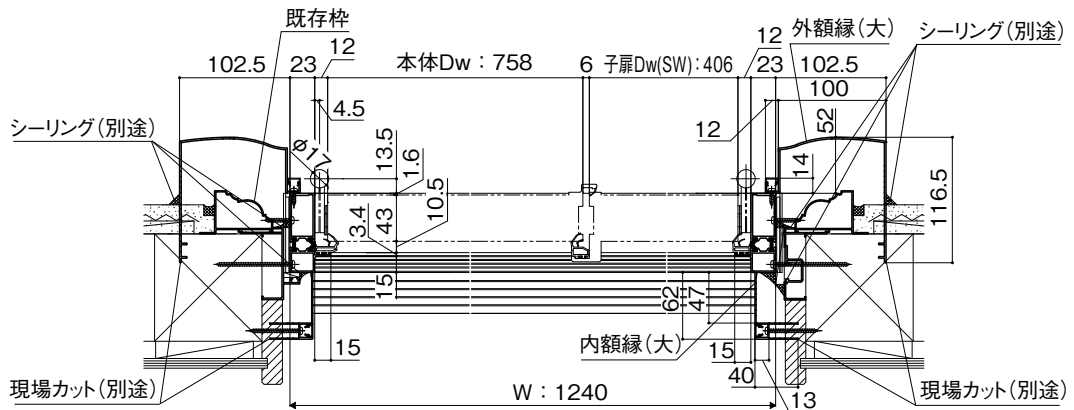
■アルミ枠納まり (断熱仕様 (k2・k3))

[ランマなし]

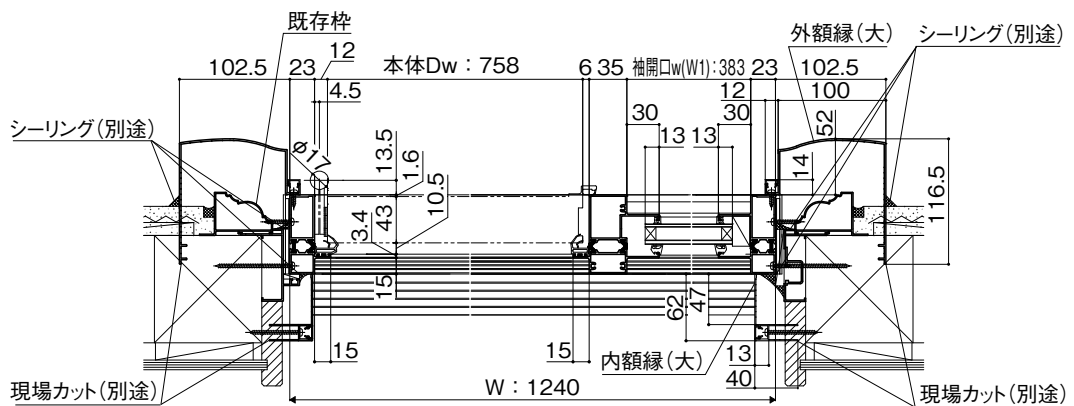
●本体部 (縦断面図)



●親子 (横断面図)



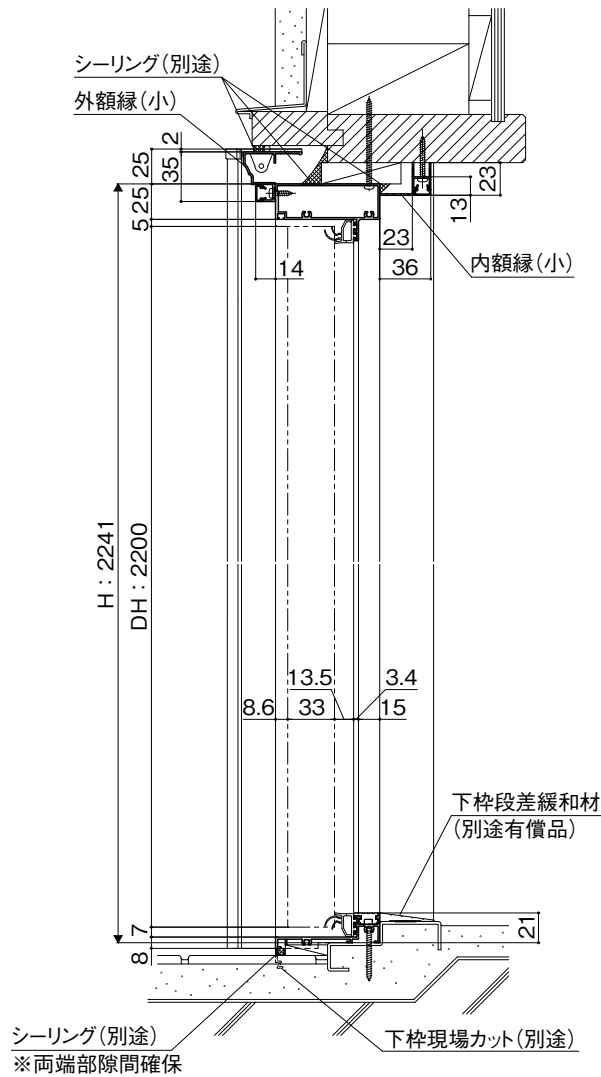
●片袖 (横断面図)



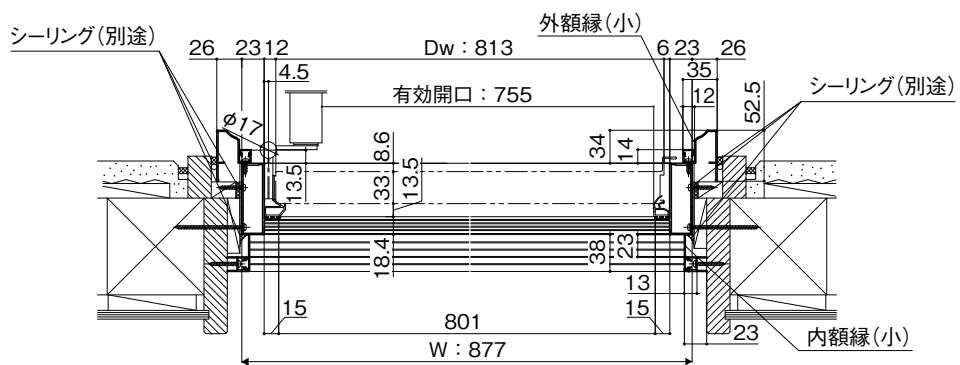
■木枠納まり (断熱仕様 (k4)・アルミ仕様)

[ランマなし]

●本体部 (縦断面図)

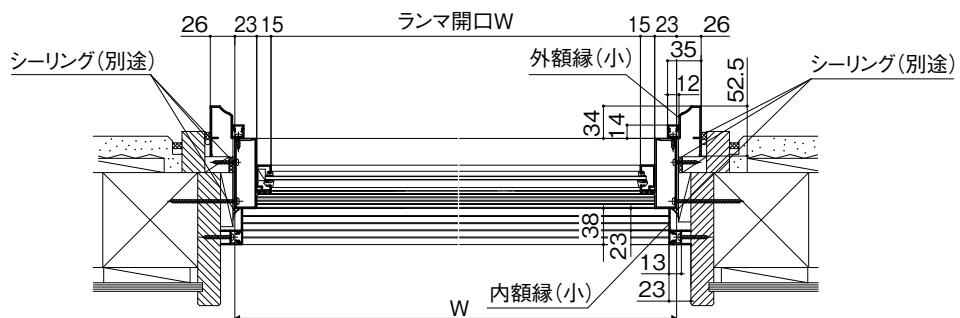


●片開き (横断面図)



[ランマ付き]

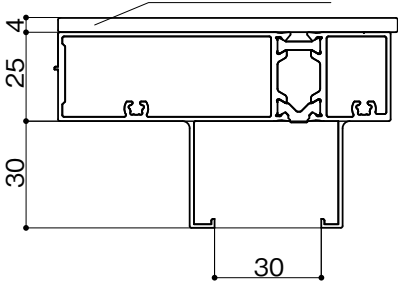
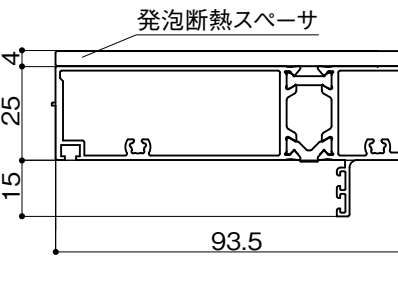
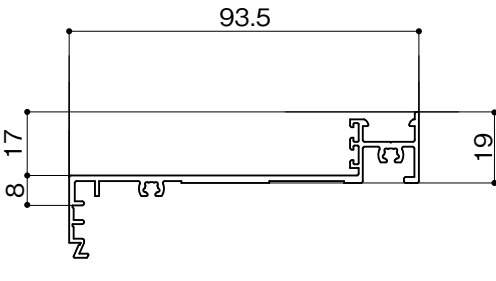
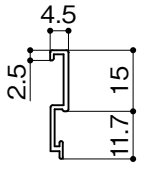
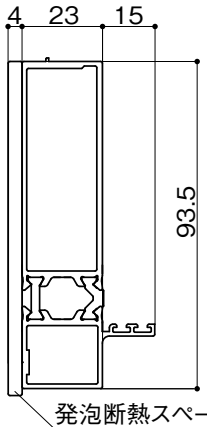
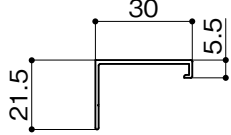
●ランマ部 (横断面図)



製品の切詰め

■部材一覧（高断熱仕様）

●枠

ランマ上枠 発泡断熱スペーサ	上 枠 発泡断熱スペーサ	下 枠
 <p>無 目</p>	 <p>押 縁</p>	 <p>丁番（戸先）側縦枠</p>
<p>ランマアタッチメント（内）</p> 		 <p>発泡断熱スペーサ</p>
<p>ランマアタッチメント（外）</p> 		

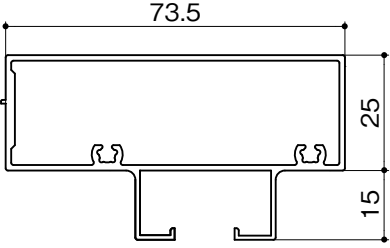
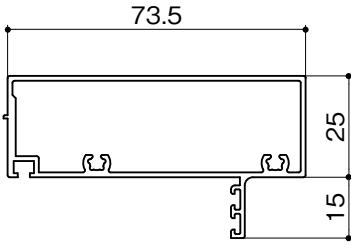
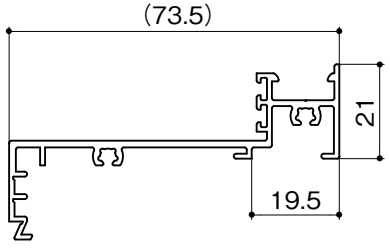
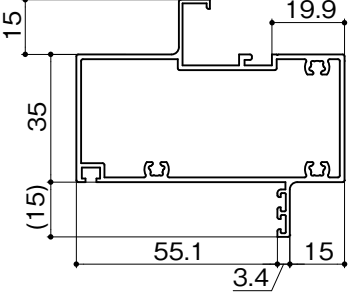
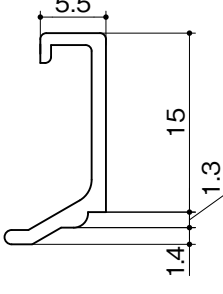
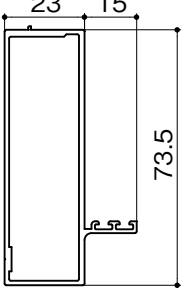
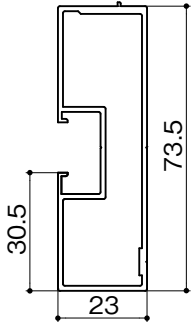
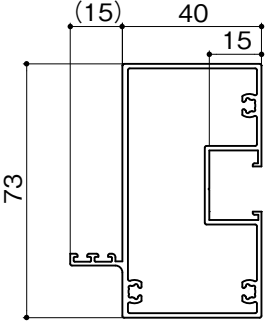
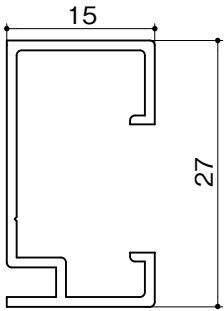
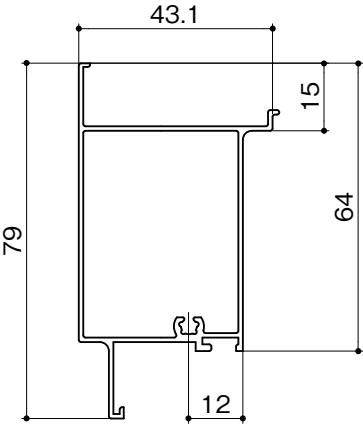
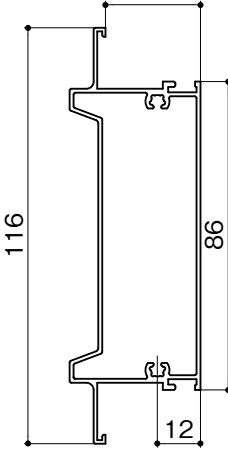
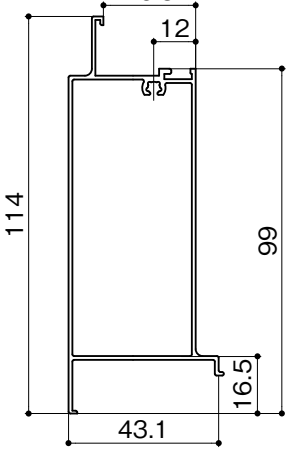
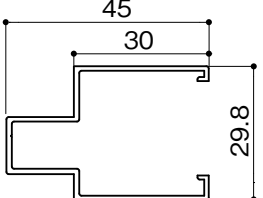
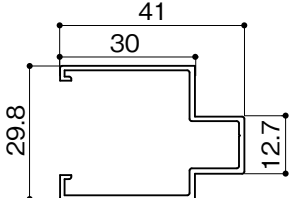
■部材一覧 (断熱仕様 (k2・k3))

●枠

<p>ランマ上枠</p>	<p>上 枠</p>	<p>下 枠</p>
<p>無 目</p>	<p>押 縁</p> <p>袖押縁</p>	<p>丁番 (戸先) 側縦枠</p>
<p>袖側縦枠</p>	<p>丁番 (戸先) 側方立</p>	<p>ランマアタッチメント (内)</p> <p>ランマアタッチメント (外)</p>
<p>袖上棧</p>	<p>袖中棧</p>	<p>袖下棧</p>

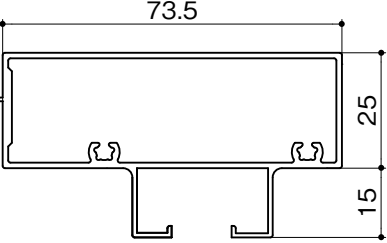
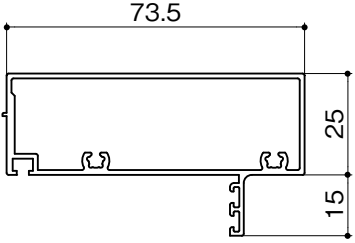
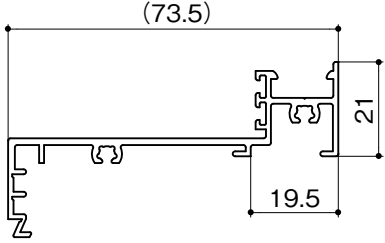
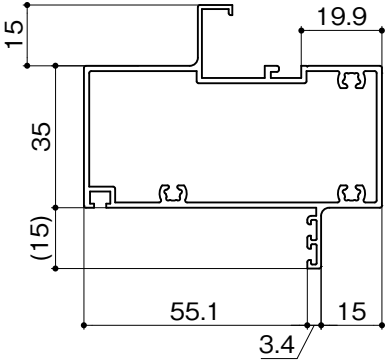
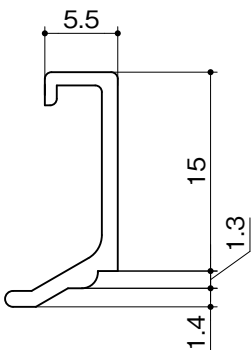
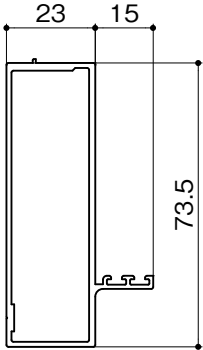
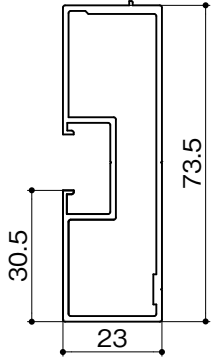
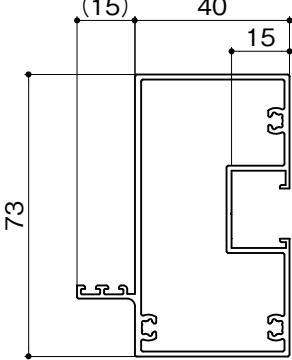
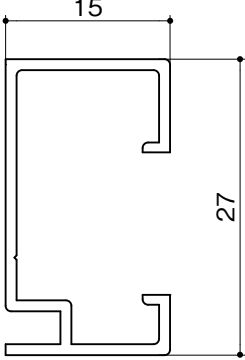
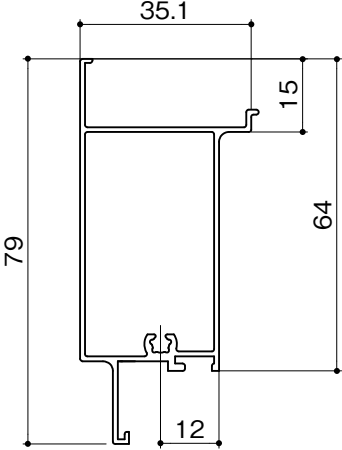
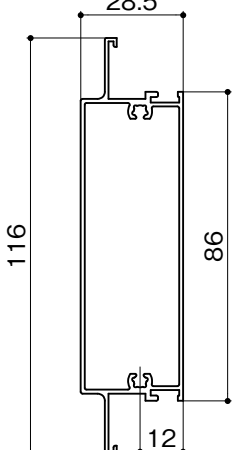
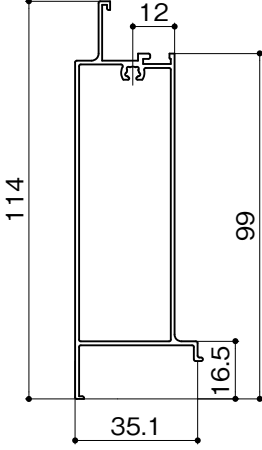
■部材一覧 (断熱仕様 (k4))

●枠

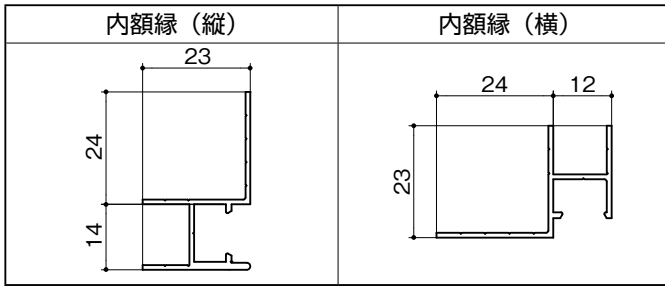
<p>ランマ上枠</p> 	<p>ランマ 無上枠</p> 	<p>下 枠</p> 
<p>無 目</p> 	<p>押 縁</p> 	<p>丁番 (戸先) 側縦枠</p> 
<p>袖側縦枠</p> 	<p>丁番 (戸先) 側方立</p> 	<p>ランマアタッチメント</p> 
<p>袖上棧</p> 	<p>袖中棧</p> 	<p>袖下棧</p> 
<p>縦枠アタッチメント A</p> 	<p>縦枠アタッチメント B</p> 	

■部材一覧 (アルミ仕様)

●枠

<p>ランマ上枠</p> 	<p>ランマ 無上枠</p> 	<p>下 枠</p> 
<p>無 目</p> 	<p>押 縁</p> 	<p>丁番 (戸先) 側縦枠</p> 
<p>袖側縦枠</p> 	<p>丁番 (戸先) 側方立</p> 	<p>ランマアタッチメント</p> 
<p>袖上棧</p> 	<p>袖中棧</p> 	<p>袖下棧</p> 

●内額縁 (小)

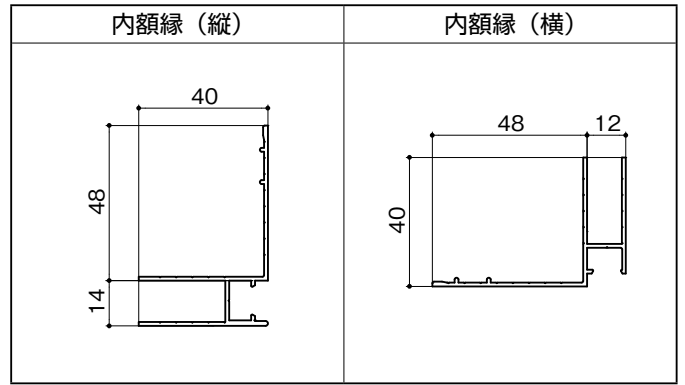


溝ふた



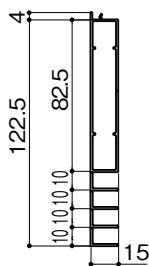
※内額縁 (大)・
外額縁も兼用

●内額縁 (大)



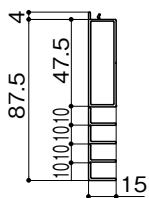
●下枠巾木(大)
(別途有償品)

下枠巾木 (大)

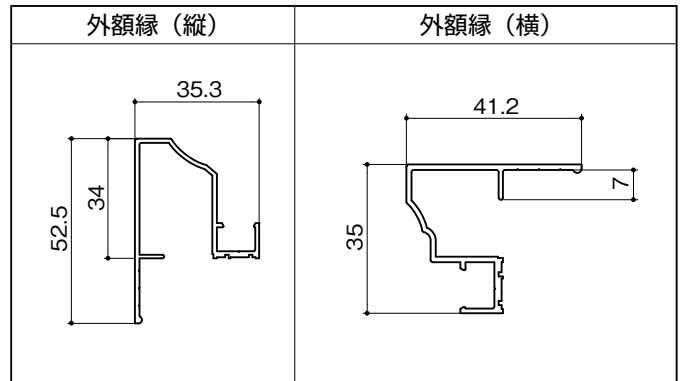


●下枠巾木(別途有償品)

下枠巾木

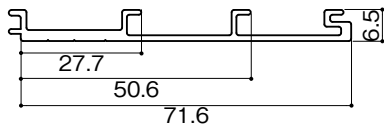


●外額縁 (小)

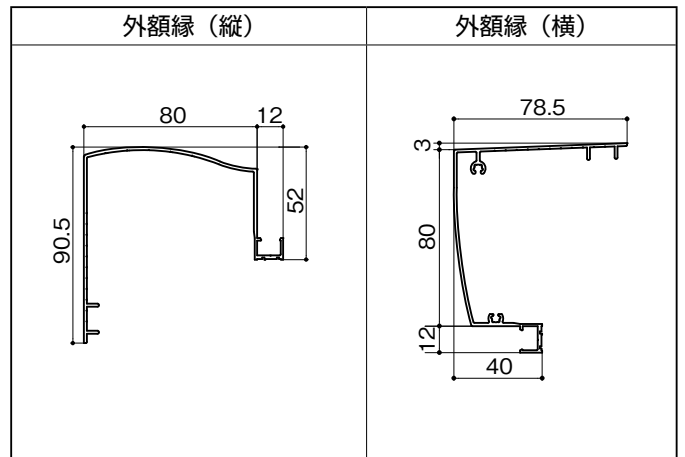


●下枠フラット材 (別途有償品)

下枠フラット材

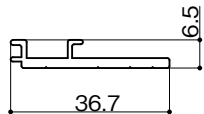


●外額縁 (中)

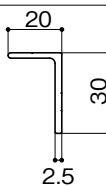


●下枠補強アングル (高断熱) (別途有償品)

下枠アタッチメント

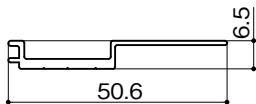


アングル

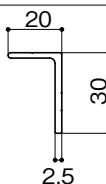


●下枠補強アングル (別途有償品)

下枠アタッチメント

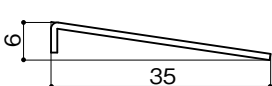


アングル



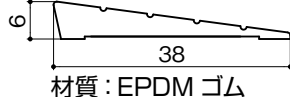
●下枠段差緩和材ステンレス
(別途有償品)

下枠段差緩和材



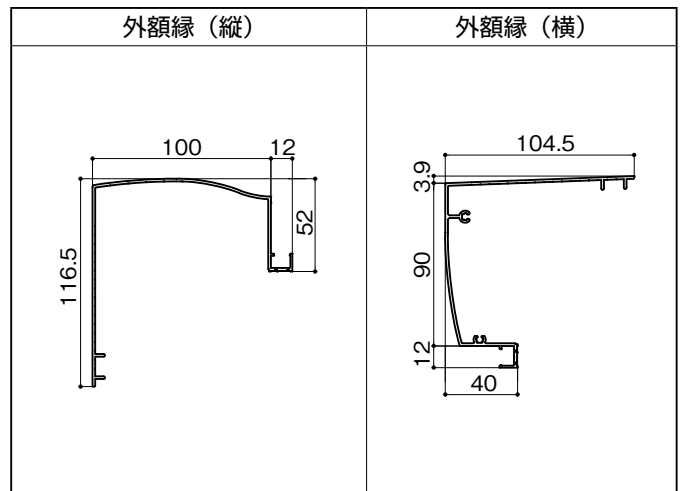
●下枠段差緩和材
(別途有償品)

下枠段差緩和材



材質: EPDM ゴム

●外額縁 (大)



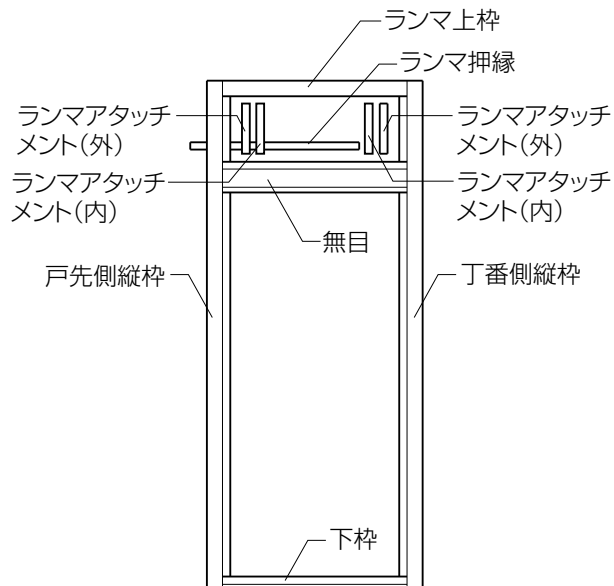
■部材構成図（高断熱仕様・断熱仕様（k2・k3））

※図は外観右丁番の場合です。左丁番の場合、左右対称となります。

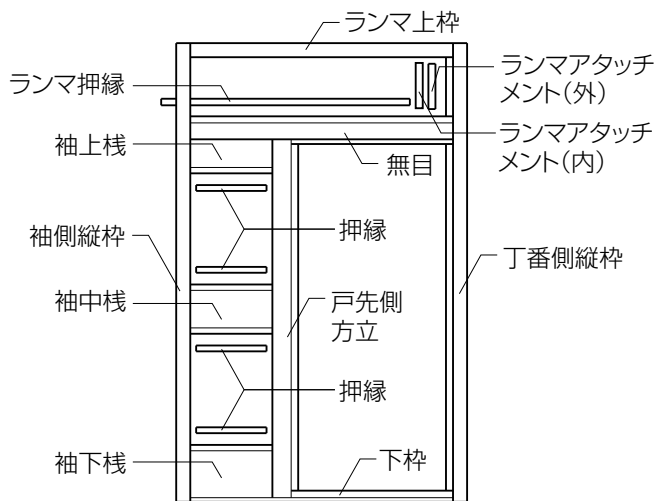
※高断熱仕様に片袖と両袖はありません。

■片開き・親子

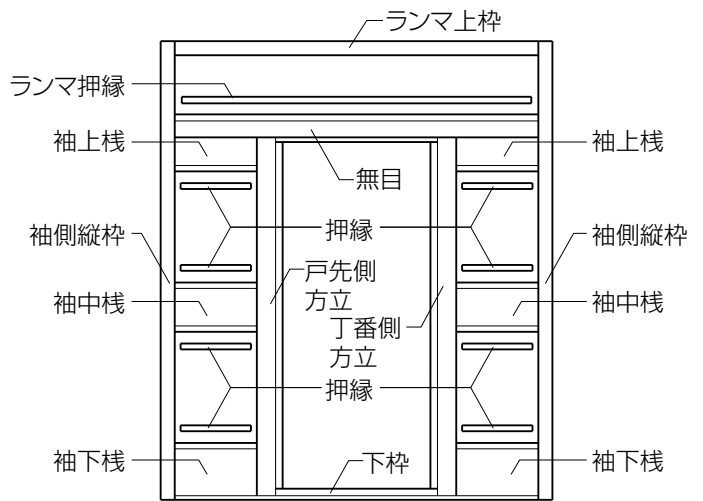
- ランマなしの場合、無目、ランマアタッチメント、ランマ押縁はありません。
- 親子の場合、戸先側縦枠は丁番側縦枠に変わります。



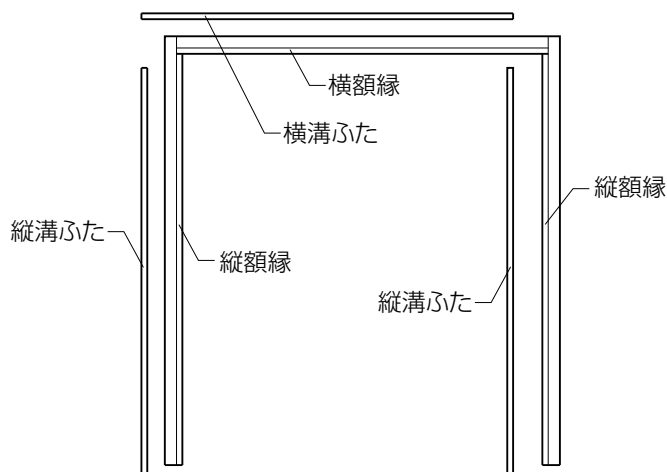
■片袖



■両袖



■内額縁・外額縁

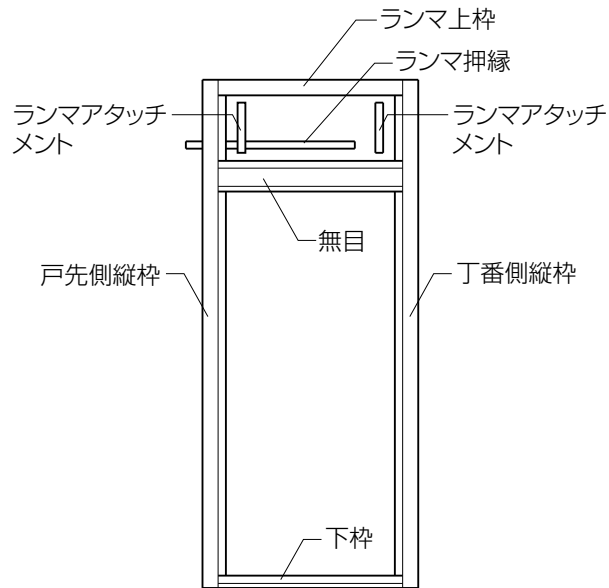


■部材構成図（断熱仕様（k4）・アルミ仕様）

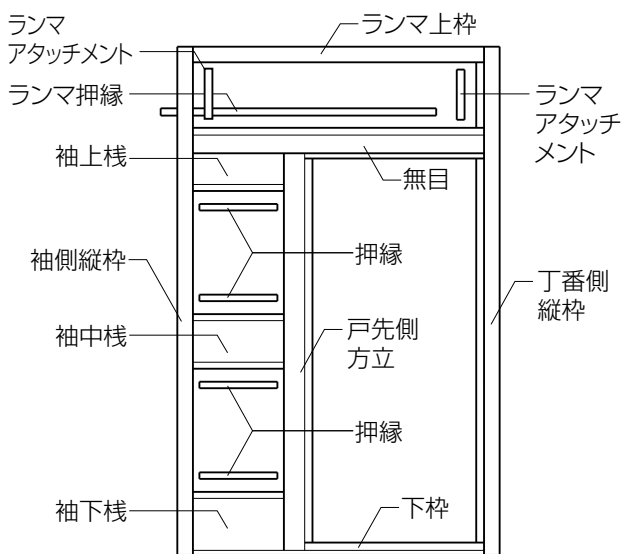
※図は外観右丁番の場合です。左丁番の場合、左右対称となります。

■片開き・親子

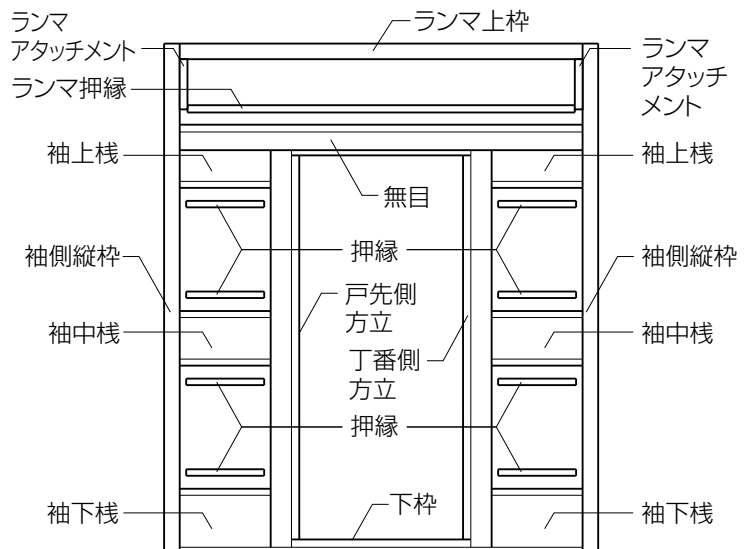
- ランマなしの場合、無目、ランマアタッチメント、ランマ押縁はありません。
- 親子の場合、戸先側縦枠は丁番側縦枠に変わります。



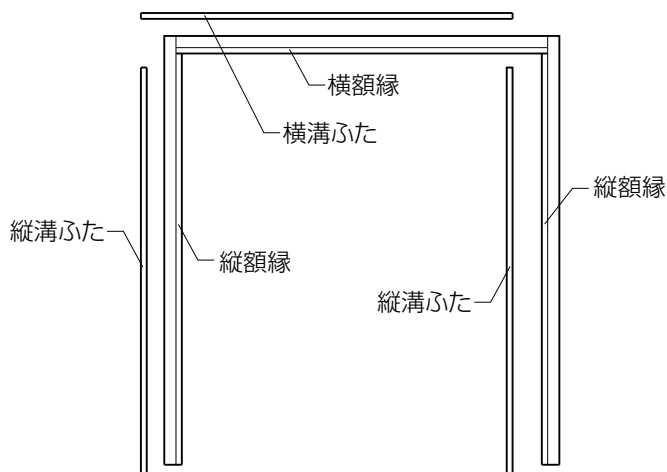
■片袖



■両袖

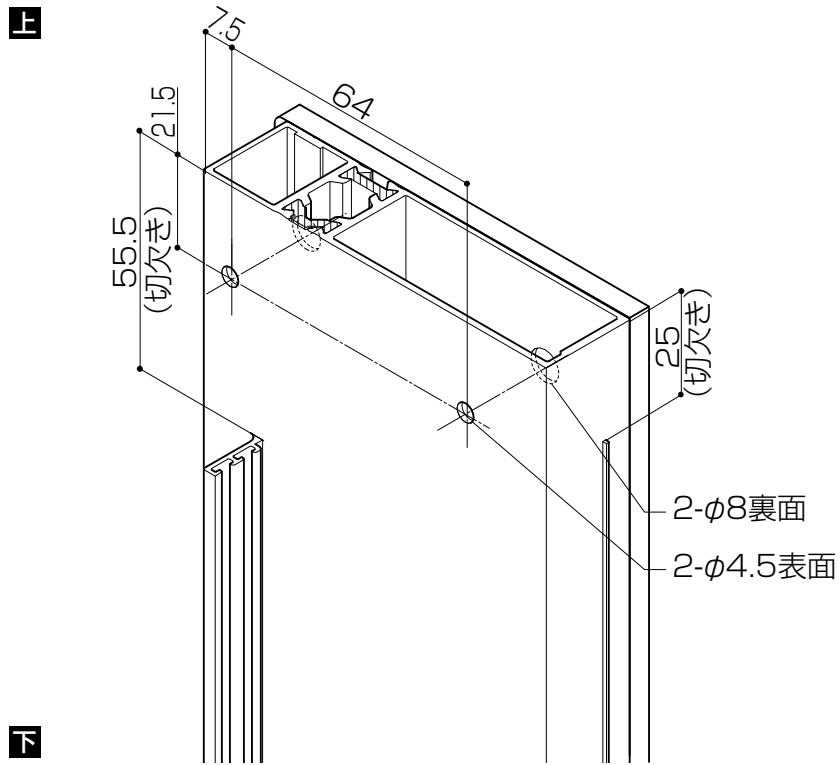


■内額縁・外額縁

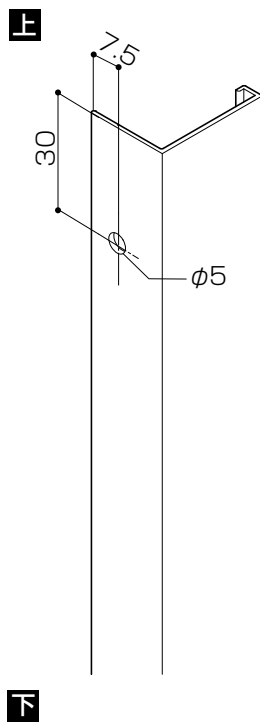


■部材現場加工一覧（高断熱仕様）

■丁番（戸先）側縦枠



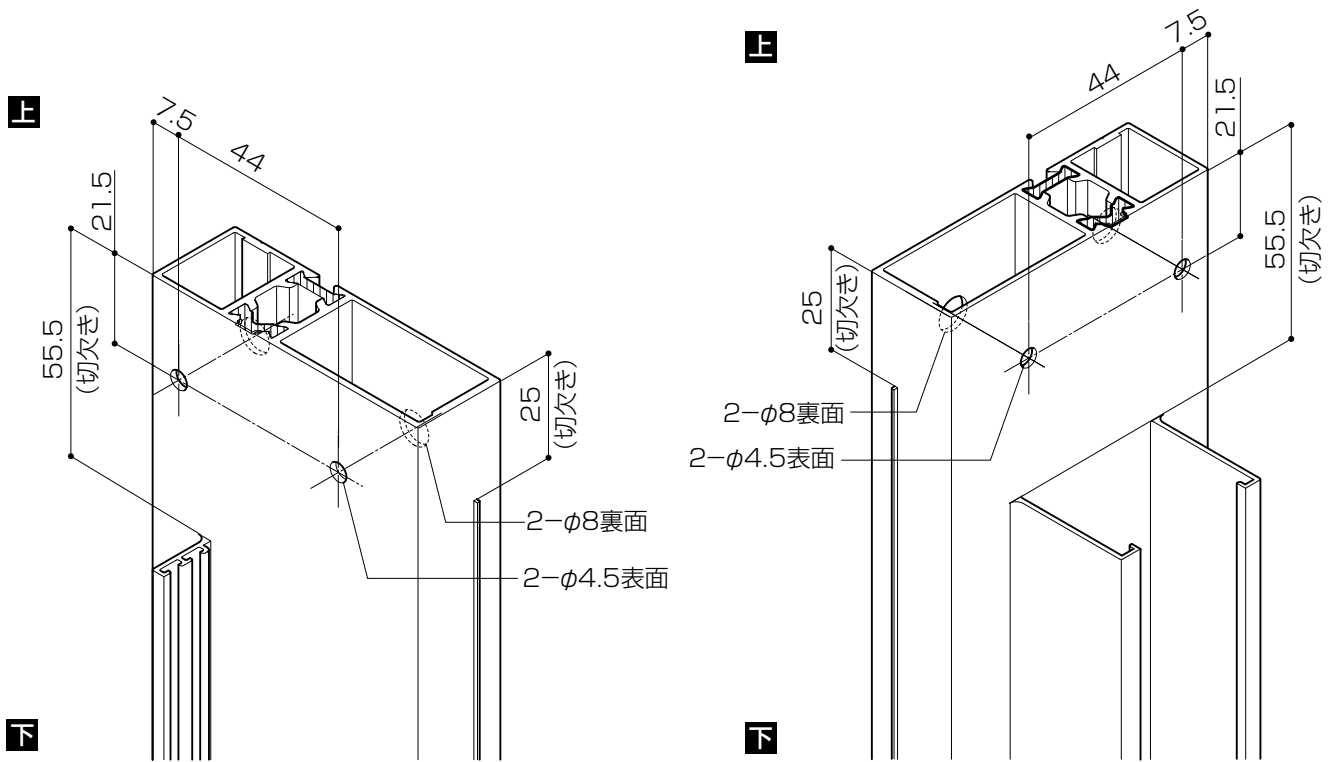
■ランマアタッチメント（外）



■部材現場加工一覧（断熱仕様（k2・k3））

■丁番（戸先）側縦枠

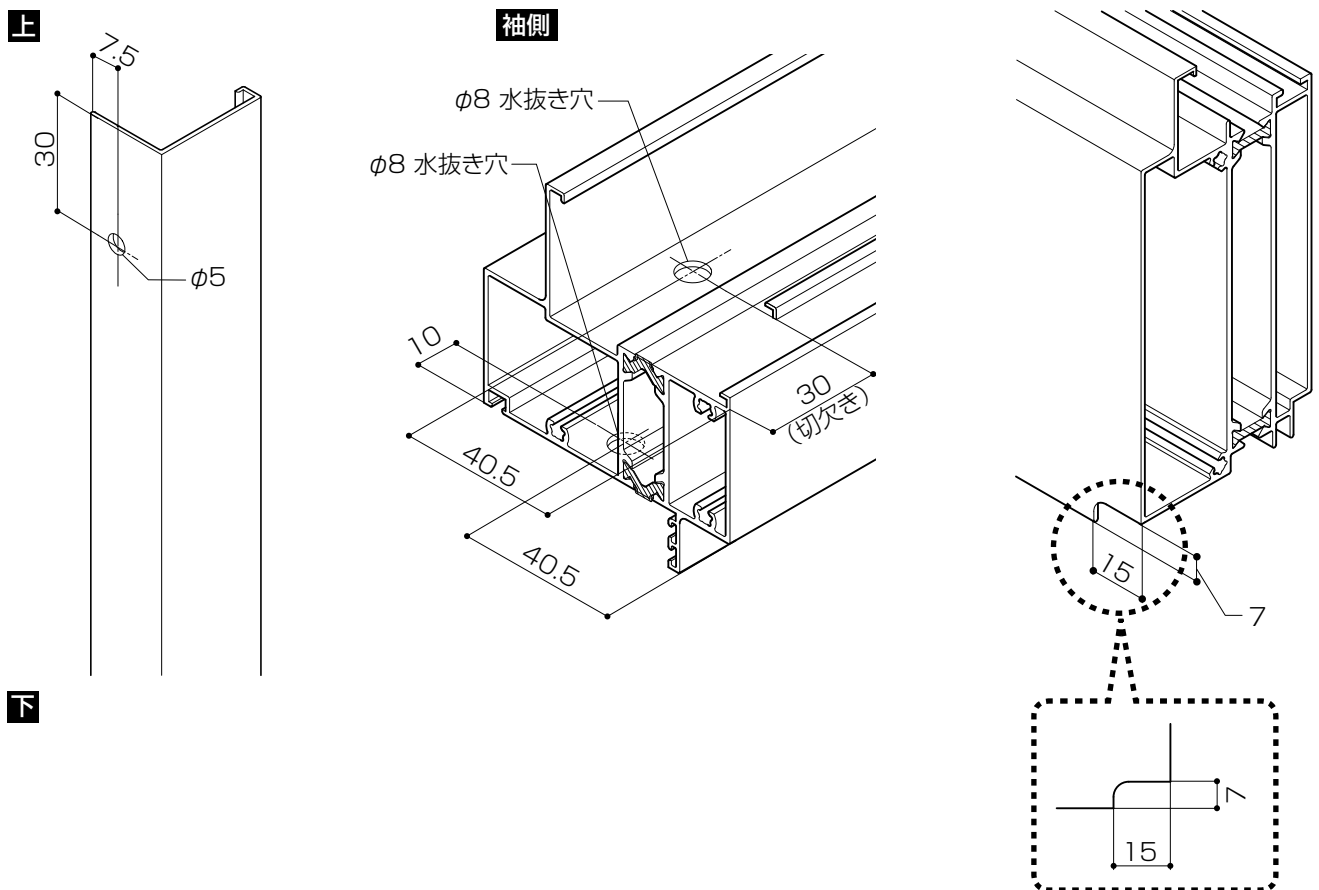
■袖側縦枠



■ランマアタッチメント（外）

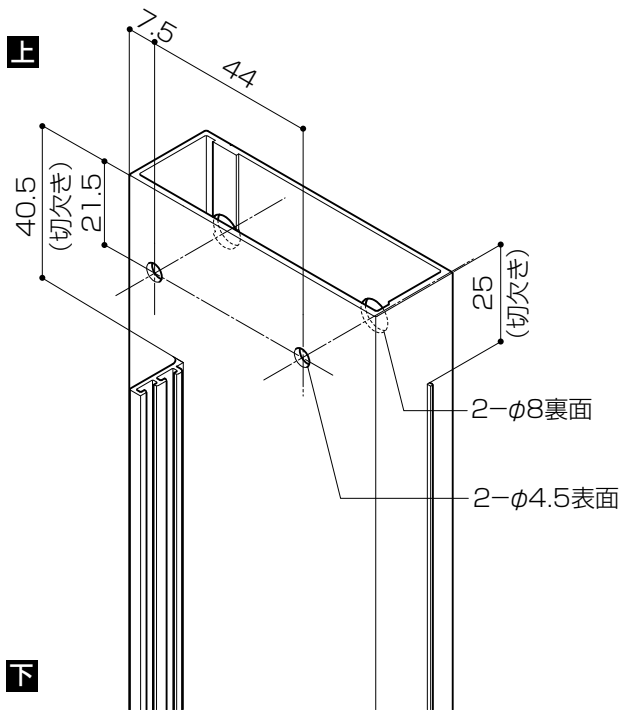
■無目

■袖下棧

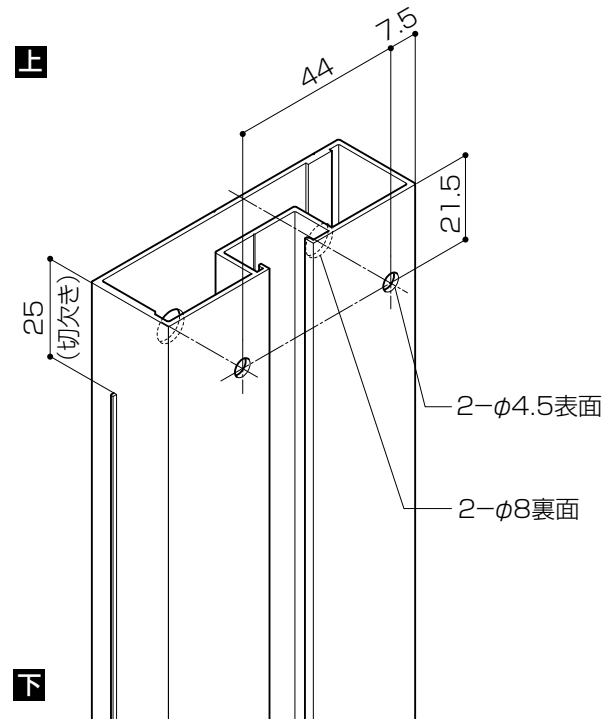


■部材現場加工一覧（断熱仕様（k4）・アルミ仕様）

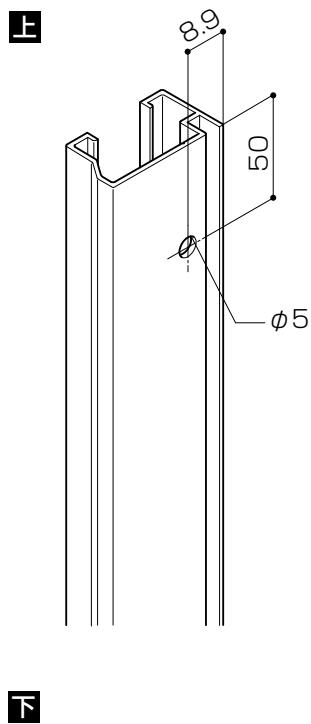
■丁番（戸先）側縦枠



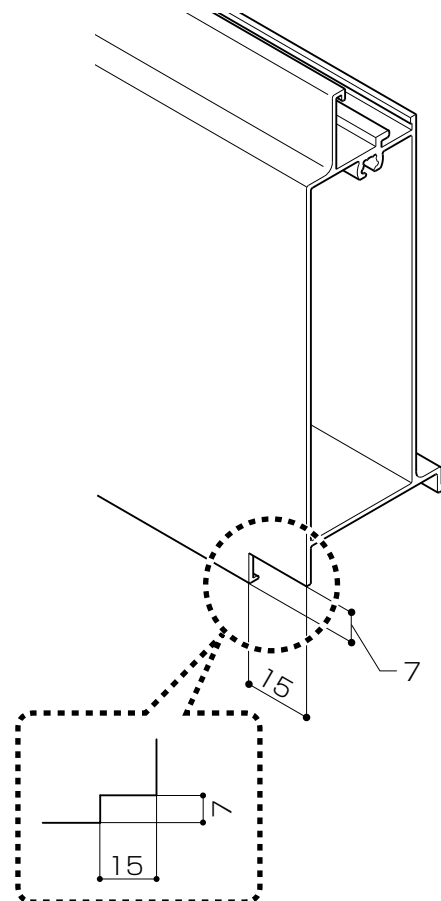
■袖側縦枠



■ランマアタッチメント



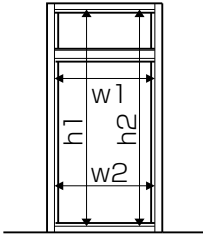
■袖下棧



■部材切断寸法表【片開きランマ付き】（高断熱仕様）

■現場寸法表

（単位：mm）

既設枠開口寸法				リフォームドア リシエント		切詰め限界寸法
				基本寸法	基本寸法公式	片開きランマ付き
h	h1		H =	h (小さいほう) - 7	H : 2256 以上	
	h2					
w	w1		W =	w (小さいほう) - 16	W : 不可	
	w2					

※既設枠開口寸法は h・w と各 2 箇所測定し、小さいほうの寸法に決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法より W : 16 mm、H : 7 mm 程度小さくします。

■各部材切断寸法表

※外額縁（縦）・内額縁（縦）及び溝ふたは現場に合わせて切断寸法を決めます。（ ）内の式は、出荷時（開口下部よりそれぞれ外：105.5 mm、内：21 mm 長い設定）の切断寸法計算式です。

● 枠

○・・・加工有り：△・・・切断のみ：×・・・加工不要

	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
				片開きランマ付き	
縦部材	丁番（戸先）側縦枠	H + 16	上部	2 本	○
	ランマアタッチメント（外）	H - 2139.5	指定なし	2 本	○
	ランマアタッチメント（内）	H - 2108.5	指定なし	2 本	△
横部材	ランマ上枠	850（固定）	切詰め不可	1 本	×
	無目	850（固定）	切詰め不可	1 本	×
	下枠	850（固定）	切詰め不可	1 本	×
	無目押縁	790.5（固定）	790.5	切詰め不可	1 本

● 外額縁

	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
				片開きランマ付き	
外額縁（小）	外額縁（小）縦	※ (H + 128)	ラベル表示あり	2 本	△
	溝ふた（縦）（室外側）	※ (H + 92.5)	指定なし	2 本	△
	外額縁（小）横	※ (W + 10)	指定なし	1 本	△
	溝ふた（横）（室外側）	※ (W + 10)	指定なし	1 本	△
外額縁（中）	外額縁（中）縦	※ (H + 183)	ラベル表示あり	2 本	△
	溝ふた（縦）（室外側）	※ (H + 92.5)	指定なし	2 本	△
	外額縁（中）横	※ (W + 5)	指定なし	1 本	△
	溝ふた（横）（室外側）	※ (W + 5)	指定なし	1 本	△
外額縁（大）	外額縁（大）縦	※ (H + 192)	ラベル表示あり	2 本	△
	溝ふた（縦）（室外側）	※ (H + 92.5)	指定なし	2 本	△
	外額縁（大）横	※ (W + 5)	指定なし	1 本	△
	溝ふた（横）（室外側）	※ (W + 5)	指定なし	1 本	△

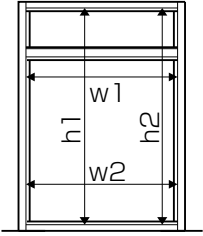
● 内額縁

	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
				片開きランマ付き	
内額縁（小）	内額縁（小）縦	※ (H + 22)	ラベル表示あり	2 本	△
	溝ふた（縦）	※ (H - 1.5)	指定なし	2 本	△
	内額縁（小）横	※ (W + 5)	指定なし	1 本	△
	溝ふた（横）	※ (W + 5)	指定なし	1 本	△
内額縁（大）	内額縁（大）縦	※ (H + 39)	ラベル表示あり	2 本	△
	溝ふた（縦）	※ (H - 1.5)	指定なし	2 本	△
	内額縁（大）横	※ (W + 5)	指定なし	1 本	△
	溝ふた（横）	※ (W + 5)	指定なし	1 本	△

■部材切断寸法表【親子ランマ付き】（高断熱仕様）

■現場寸法表

(単位: mm)

既設枠開口寸法				リフォームドア リシエント		切詰め限界寸法
h	h1	h2		基本寸法	基本寸法公式	親子ランマ付き
			H =	h (小さいほう) - 7	H: 2256 以上	
w	w1	w2	W =	w (小さいほう) - 16	W: 不可	

※既設枠開口寸法は h・w と各 2 箇所測定し、小さいほうの寸法に決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法より W: 16 mm、H: 7 mm 程度小さくします。

■各部材切断寸法表

※外額縁(縦)・内額縁(縦)及び溝ふたは現場に合わせて切断寸法を決めます。()内の式は、出荷時(開口下部よりそれぞれ外: 105.5 mm、内: 21 mm 長い設定)の切断寸法計算式です。

●枠

○…加工有り: △…切断のみ: ×…加工不要

	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
				親子ランマ付き	
縦部材	丁番側縦枠	H+ 16	上部	2本	○
	ランマアタッチメント(外)	H- 2139.5	指定なし	2本	○
	ランマアタッチメント(内)	H- 2108.5	指定なし	2本	△
横部材	ランマ上枠	1193 (固定)	切詰め不可	1本	×
	無目	1193 (固定)	切詰め不可	1本	×
	下枠	1193 (固定)	切詰め不可	1本	×
	無目押縁	1133.5 (固定)	切詰め不可	1本	×

●外額縁

	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
				親子ランマ付き	
外額縁(小)	外額縁(小)縦	※ (H+ 128)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)	※ (H+ 92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(小)横	※ (W+10)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)	※ (W+10)	指定なし	1本	△
外額縁(中)	外額縁(中)縦	※ (H+ 183)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)	※ (H+ 92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(中)横	※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)	※ (W+5)	指定なし	1本	△
外額縁(大)	外額縁(大)縦	※ (H+ 192)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)	※ (H+ 92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(大)横	※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)	※ (W+5)	指定なし	1本	△

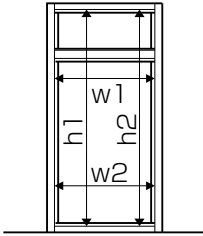
●内額縁

	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
				親子ランマ付き	
内額縁(小)	内額縁(小)縦	※ (H+ 22)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)	※ (H- 1.5)	指定なし	2本	△
	内額縁(小)横	※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)	※ (W+5)	指定なし	1本	△
内額縁(大)	内額縁(大)縦	※ (H+ 39)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)	※ (H- 1.5)	指定なし	2本	△
	内額縁(大)横	※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)	※ (W+5)	指定なし	1本	△

■部材切断寸法表【片開きランマ付き】(断熱仕様 (k2・k3))

■現場寸法表

(単位: mm)

既設枠開口寸法				リフォームドア リシエント		切詰め限界寸法
				基本寸法	基本寸法公式	片開きランマ付き
h	h1		H =	h (小さいほう) - 5	H: 2258 以上	
	h2					
w	w1		W =	w (小さいほう) - 10	W: 不可	
	w2					

※既設枠開口寸法は h・w と各 2 箇所測定し、小さいほうの寸法に決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法より W: 10 mm、H: 5 mm 程度小さくします。

■各部材切断寸法表

※外額縁(縦)・内額縁(縦)及び溝ふたは現場に合わせて切断寸法を決めます。()内の式は、出荷時(開口下部よりそれぞれ外: 105.5 mm、内: 21 mm 長い設定)の切断寸法計算式です。

● 枠

○…加工有り: △…切断のみ: ×…加工不要

	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
				片開きランマ付き	
縦部材	丁番(戸先)側縦枠	H+4	上部	2本	○
	ランマアタッチメント(外)	H-2141.5	指定なし	2本	○
	ランマアタッチメント(内)	H-2110.5	指定なし	2本	△
横部材	ランマ上枠	775(固定)	切詰め不可	1本	×
	無目	775(固定)	切詰め不可	1本	×
	下枠	775(固定)	切詰め不可	1本	×
	無目押縁	715.5(固定)	切詰め不可	1本	×

● 外額縁

	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
				片開きランマ付き	
外額縁(小)	外額縁(小)縦	※ (H+128)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)	※ (H+92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(小)横	※ (W+10)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)	※ (W+10)	指定なし	1本	△
外額縁(中)	外額縁(中)縦	※ (H+183)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)	※ (H+92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(中)横	※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)	※ (W+5)	指定なし	1本	△
外額縁(大)	外額縁(大)縦	※ (H+192)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)	※ (H+92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(大)横	※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)	※ (W+5)	指定なし	1本	△

● 内額縁

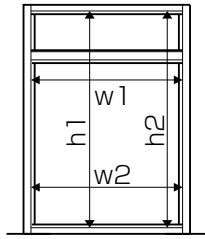
	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
				片開きランマ付き	
内額縁(小)	内額縁(小)縦	※ (H+22)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)	※ (H-1.5)	指定なし	2本	△
	内額縁(小)横	※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)	※ (W+5)	指定なし	1本	△
内額縁(大)	内額縁(大)縦	※ (H+39)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)	※ (H-1.5)	指定なし	2本	△
	内額縁(大)横	※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)	※ (W+5)	指定なし	1本	△

■部材切断寸法表【親子ランマ付き】(断熱仕様 (k2・k3))

■現場寸法表

(単位: mm)

既設枠開口寸法			リフォームドア リシエント	切詰め限界寸法			
				親子ランマ付き			
h	h1		基本寸法	基本寸法公式	H =	h (小さいほう) - 5	H: 2258 以上
	h2						
w	w1		基本寸法	基本寸法公式	W =	w (小さいほう) - 10	W: 不可
	w2						



※既設枠開口寸法は h・w と各 2 箇所測定し、小さいほうの寸法に決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法より W: 10 mm、H: 5 mm 程度小さくします。

■各部材切断寸法表

※外額縁(縦)・内額縁(縦)及び溝ふたは現場に合わせて切断寸法を決めます。()内の式は、出荷時(開口下部よりそれぞれ外: 105.5 mm、内: 21 mm 長い設定)の切断寸法計算式です。

●枠

○…加工有り: △…切断のみ: ×…加工不要

	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
				親子ランマ付き	
縦部材	丁番側縦枠	H+4	上部	2本	○
	ランマアタッチメント(外)	H-2141.5	指定なし	2本	○
	ランマアタッチメント(内)	H-2110.5	指定なし	2本	△
横部材	ランマ上枠	1193(固定)	切詰め不可	1本	×
	無目	1193(固定)	切詰め不可	1本	×
	下枠	1193(固定)	切詰め不可	1本	×
	無目押縁	1133.5(固定)	切詰め不可	1本	×

●外額縁

	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
				親子ランマ付き	
外額縁(小)	外額縁(小)縦	※ (H+128)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)	※ (H+92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(小)横	※ (W+10)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)	※ (W+10)	指定なし	1本	△
外額縁(中)	外額縁(中)縦	※ (H+183)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)	※ (H+92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(中)横	※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)	※ (W+5)	指定なし	1本	△
外額縁(大)	外額縁(大)縦	※ (H+192)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)	※ (H+92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(大)横	※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)	※ (W+5)	指定なし	1本	△

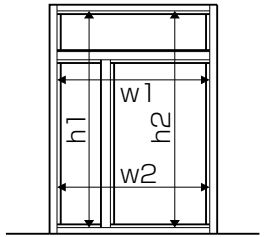
●内額縁

	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
				親子ランマ付き	
内額縁(小)	内額縁(小)縦	※ (H+22)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)	※ (H-1.5)	指定なし	2本	△
	内額縁(小)横	※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)	※ (W+5)	指定なし	1本	△
内額縁(大)	内額縁(大)縦	※ (H+39)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)	※ (H-1.5)	指定なし	2本	△
	内額縁(大)横	※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)	※ (W+5)	指定なし	1本	△

■部材切断寸法表【片袖ランマ付き】(断熱仕様 (k2・k3))

■現場寸法表

(単位: mm)

既設枠開口寸法				リフォームドア リシエント		切詰め限界寸法
h	h1	h2		基本寸法	基本寸法公式	片袖ランマ付き
			H =	h (小さいほう) - 5	H : 2258 以上	
w	w1	w2	W =	w (小さいほう) - 10	W : 980 以上…ポストなし W : 1121 以上…ポスト付き	

※既設枠開口寸法は h・w と各 2 箇所測定し、小さいほうの寸法に決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法より W : 10 mm、H : 5 mm 程度小さくします。

■各部材切断寸法表

※外額縁(縦)・内額縁(縦)及び溝ふたは現場に合わせて切断寸法を決めます。()内の式は、出荷時(開口下部よりそれぞれ外: 105.5 mm、内: 21 mm 長い設定)の切断寸法計算式です。

●枠

○…加工有り: △…切断のみ: ×…加工不要

	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無		
				片袖ランマ付き			
縦部材	縦枠	丁番側縦枠	H+4	上部	1本	○	
	縦枠	袖側縦枠	H+4	上部	1本	○	
	方立	戸先側方立	2015 (固定)	2015	切詰め不可	1本	×
	ランマアタッチメント (外)		H-2141.5	指定なし	1本	○	
	ランマアタッチメント (内)		H-2110.5	指定なし	1本	△	
横部材	ランマ上枠		W-47	袖側	1本	△	
	無目		W-47	袖側	1本	○	
	下枠		W-47	袖側	1本	△	
	片袖	袖上棧		W-858	両端均等	1本	△
		袖中棧		W-858	両端均等	1本	△
		袖下棧		W-858	両端均等	1本	○
		袖押縁		W-917.5	指定なし	4本	△
無目押縁		W-106.5	指定なし	1本	△		

●外額縁

	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
				片袖ランマ付き	
外額縁(小)	外額縁(小)縦	※ (H+128)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)	※ (H+92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(小)横	※ (W+10)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)	※ (W+10)	指定なし	1本	△
外額縁(中)	外額縁(中)縦	※ (H+183)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)	※ (H+92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(中)横	※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)	※ (W+5)	指定なし	1本	△
外額縁(大)	外額縁(大)縦	※ (H+192)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)	※ (H+92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(大)横	※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)	※ (W+5)	指定なし	1本	△

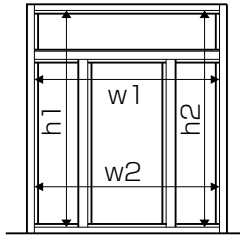
●内額縁

	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
				片袖ランマ付き	
内額縁(小)	内額縁(小)縦	※ (H+22)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)	※ (H-1.5)	指定なし	2本	△
	内額縁(小)横	※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)	※ (W+5)	指定なし	1本	△
内額縁(大)	内額縁(大)縦	※ (H+39)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)	※ (H-1.5)	指定なし	2本	△
	内額縁(大)横	※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)	※ (W+5)	指定なし	1本	△

■部材切断寸法表【両袖ランマ付き】(断熱仕様 (k2・k3))

■現場寸法表

(単位:mm)

既設枠開口寸法				リフォームドア リシェント		切詰め限界寸法
				基本寸法	基本寸法公式	両袖ランマ付き
h	h1		H=	h (小さいほう) - 5	H: 2258 以上	
	h2					
w	w1		W=	w (小さいほう) - 10	W: 1138 以上…ポストなし W: 1420 以上…ポスト付き	
	w2					

※既設枠開口寸法は h・w と各 2 箇所測定し、小さいほうの寸法に決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法より W: 10 mm、H: 5 mm 程度小さくします。

■各部材切断寸法表

※外額縁(縦)・内額縁(縦)及び溝ふたは現場に合わせて切断寸法を決めます。()内の式は、出荷時(開口下部よりそれぞれ外: 105.5 mm、内: 21 mm 長い設定)の切断寸法計算式です。

●枠

○…加工有り: △…切断のみ: ×…加工不要

縦部材	縦枠	袖側縦枠	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
						両袖ランマ付き	
縦部材	方立	戸先側方立	2015 (固定)	2015	上部	2 本	○
		丁番側方立	2015 (固定)	2015	切詰め不可	1 本	×
						切詰め不可	1 本
横部材	ランマ上枠	無目		W- 47	両端均等	1 本	△
		下枠		W- 47	両端均等	1 本	△
				W- 47	両端均等	1 本	△
	両袖	袖上棧		(W- 894) / 2	両端均等	2 本	△
		袖中棧		(W- 894) / 2	両端均等	2 本	△
		袖下棧		(W- 894) / 2	両端均等	2 本	○
		袖押縁		(W- 1013) / 2	指定なし	8 本	△
無目押縁		W- 106.5	指定なし	1 本	△		

●外額縁

外額縁(小)	外額縁(中)	外額縁(大)	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
						両袖ランマ付き	
外額縁(小)	外額縁(小)縦		※ (H+ 128)	ラベル表示あり	2 本	△	
	溝ふた(縦)(室外側)		※ (H+ 92.5)	指定なし	2 本	△	
	外額縁(小)横		※ (W+10)	指定なし	1 本	△	
	溝ふた(横)(室外側)		※ (W+10)	指定なし	1 本	△	
外額縁(中)	外額縁(中)縦		※ (H+ 183)	ラベル表示あり	2 本	△	
	溝ふた(縦)(室外側)		※ (H+ 92.5)	指定なし	2 本	△	
	外額縁(中)横		※ (W+5)	指定なし	1 本	△	
	溝ふた(横)(室外側)		※ (W+5)	指定なし	1 本	△	
外額縁(大)	外額縁(大)縦		※ (H+ 192)	ラベル表示あり	2 本	△	
	溝ふた(縦)(室外側)		※ (H+ 92.5)	指定なし	2 本	△	
	外額縁(大)横		※ (W+5)	指定なし	1 本	△	
	溝ふた(横)(室外側)		※ (W+5)	指定なし	1 本	△	

●内額縁

内額縁(小)	内額縁(大)	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
					両袖ランマ付き	
内額縁(小)	内額縁(小)縦		※ (H+ 22)	ラベル表示あり	2 本	△
	溝ふた(縦)		※ (H- 1.5)	指定なし	2 本	△
	内額縁(小)横		※ (W+5)	指定なし	1 本	△
	溝ふた(横)		※ (W+5)	指定なし	1 本	△
内額縁(大)	内額縁(大)縦		※ (H+ 39)	ラベル表示あり	2 本	△
	溝ふた(縦)		※ (H- 1.5)	指定なし	2 本	△
	内額縁(大)横		※ (W+5)	指定なし	1 本	△
	溝ふた(横)		※ (W+5)	指定なし	1 本	△

■ガラス切断寸法表（高断熱仕様・断熱仕様（k2・k3））

※高断熱仕様に片袖と両袖はありません。

■断熱枠（ランマなし）用ガラス

型番		袖部（中棧無）		袖部（中棧付き 下ガラス）		袖部（中棧付き 上ガラス）	
		Gw	Gh	Gw	Gh	Gw	Gh
片袖	寸法				801		
	公式	W1-34 (W-Dw-133)	Dh-139 (H-180)	W1-34 (W-Dw-133)	801（固定）	W1-34 (W-Dw-133)	Dh-1059.5 (H-1100.5)
両袖	寸法	(×2)	(×2)	(×2)	801 (×2)	(×2)	(×2)
	公式	W1-34 ((W-Dw-202)/2)	Dh-139 (H-180)	W1-34 ((W-Dw-202)/2)	801（固定）	W1-34 ((W-Dw-202)/2)	Dh-1059.5 (H-1100.5)

※ W1 = 袖開口

■断熱枠（ランマ付き）用ガラス

型番		袖部（中棧無）		袖部（中棧付き 下ガラス）		袖部（中棧付き 上ガラス）		ランマ部	
		Gw	Gh	Gw	Gh	Gw	Gh	Gw	Gh
片開き	寸法	—	—	—	—	—	—		
	公式	—	—	—	—	—	—	W-80	H-Dh-111
親子	寸法	—	—	—	—	—	—		
	公式	—	—	—	—	—	—	W-80	H-Dh-111
片袖	寸法				801				
	公式	W1-34 (W-Dw-133)	Dh-139	W1-34 (W-Dw-133)	801（固定）	W1-34 (W-Dw-133)	Dh-1059.5	W-80	H-Dh-111
両袖	寸法	(×2)	(×2)	(×2)	801 (×2)	(×2)	(×2)		
	公式	W1-34 ((W-Dw-202)/2)	Dh-139	W1-34 ((W-Dw-202)/2)	801（固定）	W1-34 ((W-Dw-202)/2)	Dh-1059.5	W-80	H-Dh-111

※ W1 = 袖開口

■先付ビード切断寸法表

※出荷時の先付ビードの寸法は、温度変化による伸縮を考慮し、長めに設定しています。
組立ての際は、部材の切断寸法 L に合わせて、先付ビードの切断寸法を決めます。

	寸法	寸法計算式
ランマ上枠		L - 59
無目		
袖上棧		
袖中棧		
袖下棧		L - 2.5
ランマアタッチメント（外）		

■部材切断寸法表【片開きランマ付き】（断熱仕様（k4）・アルミ仕様）

■現場寸法表

（単位：mm）

既設枠開口寸法			
h	h 1		
	h 2		
w	w 1		
	w 2		

（単位：mm）

リフォームドア リシエント			切詰め限界寸法		
納まり	基本寸法	基本寸法公式(※1)	片開きランマ付き		
既設下枠の上に 乗せる場合	Ⓐ下枠フラット材を 使わない場合	H =	H=h(小さいほう)-5	H	H:2258以上…断熱仕様(k4) H:2220以上…アルミ仕様
	Ⓑ下枠フラット材を 使う場合	H =	H=h(小さいほう)-9		
既設下枠を 取外す場合	Ⓒ下枠フラット材を 使わない場合	H =	H=h(小さいほう)-g+16		
	Ⓓ下枠フラット材を 使う場合	H =	H=h(小さいほう)-g+16		
—	—	W =	W=w(小さいほう)-10	W	W: 不可

※既設枠開口寸法はh・wとも各2箇所測定し、小さいほうの寸法に決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法よりW：10mm、H：5mm程度小さくします。

※1 下枠フラット材（別途有償品）を使用する場合、基本寸法Hの公式が異なります。

<p>●既設下枠の上に乗せる場合</p> <p>Ⓐ下枠フラット材(有償品)を使わない場合</p> <p>Ⓑ下枠フラット材(有償品)を使う場合</p>	<p>●既設下枠を取外す場合</p> <p>Ⓒ下枠フラット材(有償品)を使わない場合</p> <p>Ⓓ下枠フラット材(有償品)を使う場合</p>
--	--

■各部材切断寸法表

※外額縁（縦）、内額縁（縦）及び溝ふたは、現場の納まりに合わせて切断寸法を決めます。（ ）内の式は、出荷時（取付開口部よりそれぞれ、外：105.5 mm、内：21 mm長い設定）の切断寸法計算式です。

●枠

○…加工有り：△…切断のみ：×…加工不要

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
					片開きランマ付き	
縦部材	丁番（戸先）側縦枠		$H+4$	上部	2本	○
	ランマアタッチメント		$H-2095.5$	上部	2本	○
横部材	ランマ上枠	775（固定）	775	切詰め不可	1本	×
	無目	775（固定）	775	切詰め不可	1本	×
	下枠	775（固定）	775	切詰め不可	1本	×
	無目押縁	745.5（固定）	745.5	切詰め不可	1本	×

●外額縁

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
					片開きランマ付き	
外額縁（小）	外額縁（小）縦		※ $(H+128)$	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた（縦）（室外側）		※ $(H+92.5)$	指定なし	2本	△
	外額縁（小）横		※ $(W+10)$	指定なし	1本	△
	溝ふた（横）（室外側）		※ $(W+10)$	指定なし	1本	△
外額縁（中）	外額縁（中）縦		※ $(H+183)$	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた（縦）（室外側）		※ $(H+92.5)$	指定なし	2本	△
	外額縁（中）横		※ $(W+5)$	指定なし	1本	△
	溝ふた（横）（室外側）		※ $(W+5)$	指定なし	1本	△
外額縁（大）	外額縁（大）縦		※ $(H+192)$	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた（縦）（室外側）		※ $(H+92.5)$	指定なし	2本	△
	外額縁（大）横		※ $(W+5)$	指定なし	1本	△
	溝ふた（横）（室外側）		※ $(W+5)$	指定なし	1本	△

●内額縁

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
					片開きランマ付き	
内額縁（小）	内額縁（小）縦		※ $(H+22)$	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた（縦）		※ $(H-1.5)$	指定なし	2本	△
	内額縁（小）横		※ $(W+5)$	指定なし	1本	△
	溝ふた（横）		※ $(W+5)$	指定なし	1本	△
内額縁（大）	内額縁（大）縦		※ $(H+39)$	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた（縦）		※ $(H-1.5)$	指定なし	2本	△
	内額縁（大）横		※ $(W+5)$	指定なし	1本	△
	溝ふた（横）		※ $(W+5)$	指定なし	1本	△

■部材切断寸法表【親子ランマ付き】（断熱仕様（k4）・アルミ仕様）

■現場寸法表

（単位：mm）

既設枠開口寸法			
h	h 1		
	h 2		
w	w 1		
	w 2		

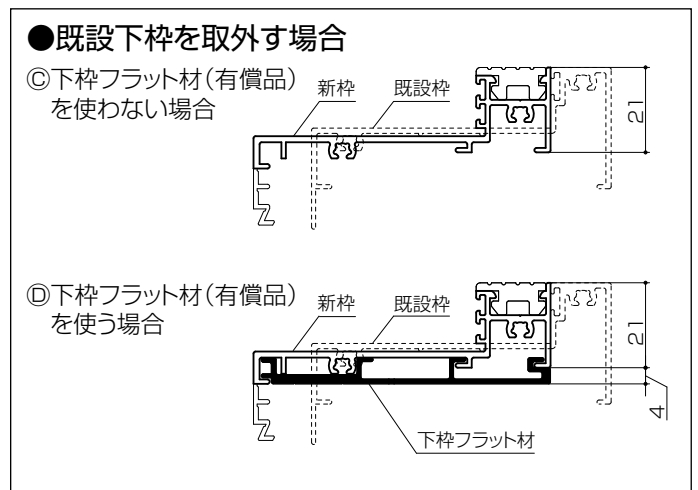
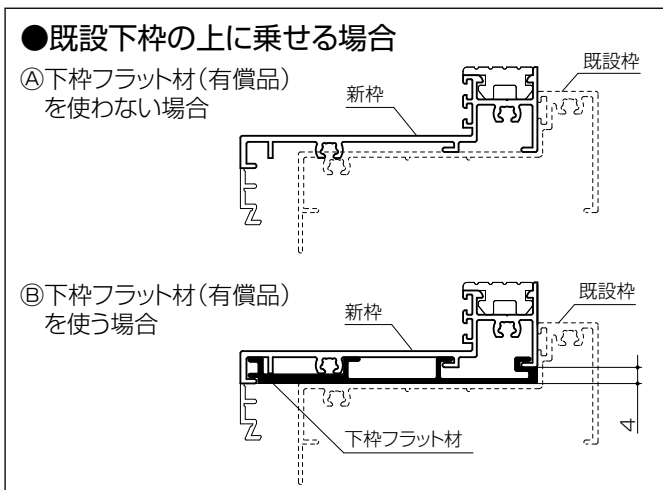
（単位：mm）

リフォームドア リシエント			切詰め限界寸法		
納まり	基本寸法	基本寸法公式(※1)	親子ランマ付き		
既設下枠の上に 乗せる場合	Ⓐ下枠フラット材を 使わない場合	$H =$	$H = h(\text{小さいほう}) - 5$	H	H: 2258 以上 … 断熱仕様 (k4) H: 2220 以上 … アルミ仕様
	Ⓑ下枠フラット材を 使う場合	$H =$	$H = h(\text{小さいほう}) - 9$		
既設下枠を 取外す場合	Ⓒ下枠フラット材を 使わない場合	$H =$	$H = h(\text{小さいほう}) - g + 16$		
	Ⓓ下枠フラット材を 使う場合	$H =$	$H = h(\text{小さいほう}) - g + 16$		
—	—	$W =$	$W = w(\text{小さいほう}) - 10$	W	W: 不可

※既設枠開口寸法は $h \cdot w$ とともに各 2 箇所測定し、小さいほうの寸法に決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法より $W: 10 \text{ mm}$ 、 $H: 5 \text{ mm}$ 程度小さくします。

※1 下枠フラット材（別途有償品）を使用する場合、基本寸法 H の公式が異なります。



■各部材切断寸法表

※外額縁（縦）、内額縁（縦）及び溝ふたは、現場の納まりに合わせて切断寸法を決めます。（ ）内の式は、出荷時（取付開口部よりそれぞれ、外：105.5 mm、内：21 mm長い設定）の切断寸法計算式です。

●枠

○…加工有り：△…切断のみ：×…加工不要

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 親子ランマ付き	加工有無
縦 部材	丁番側縦枠		$H+4$	上部	2本	○
	ランマアタッチメント		$H-2095.5$	上部	2本	○
横 部材	ランマ上枠	1193 (固定)	1193	切詰め不可	1本	×
	無目	1193 (固定)	1193	切詰め不可	1本	×
	下枠	1193 (固定)	1193	切詰め不可	1本	×
	無目押縁	1163.5 (固定)	1163.5	切詰め不可	1本	×

●外額縁

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 親子ランマ付き	加工有無
外 額 縁 (小)	外額縁(小)縦		※ $(H+128)$	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)		※ $(H+92.5)$	指定なし	2本	△
	外額縁(小)横		※ $(W+10)$	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)		※ $(W+10)$	指定なし	1本	△
外 額 縁 (中)	外額縁(中)縦		※ $(H+183)$	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)		※ $(H+92.5)$	指定なし	2本	△
	外額縁(中)横		※ $(W+5)$	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)		※ $(W+5)$	指定なし	1本	△
外 額 縁 (大)	外額縁(大)縦		※ $(H+192)$	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)		※ $(H+92.5)$	指定なし	2本	△
	外額縁(大)横		※ $(W+5)$	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)		※ $(W+5)$	指定なし	1本	△

●内額縁

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 親子ランマ付き	加工有無
内 額 縁 (小)	内額縁(小)縦		※ $(H+22)$	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)		※ $(H-1.5)$	指定なし	2本	△
	内額縁(小)横		※ $(W+5)$	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)		※ $(W+5)$	指定なし	1本	△
内 額 縁 (大)	内額縁(大)縦		※ $(H+39)$	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)		※ $(H-1.5)$	指定なし	2本	△
	内額縁(大)横		※ $(W+5)$	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)		※ $(W+5)$	指定なし	1本	△

■部材切断寸法表【片袖ランマ付き】(断熱仕様 (k4))

■現場寸法表

(単位: mm)

既設枠開口寸法			
h	h 1		
	h 2		
w	w 1		
	w 2		

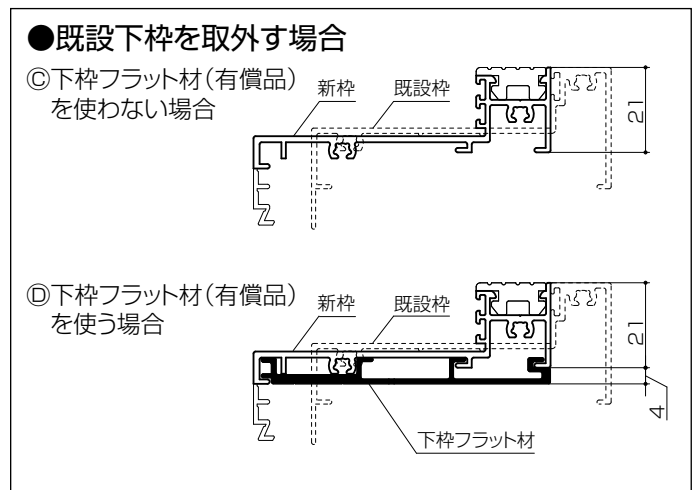
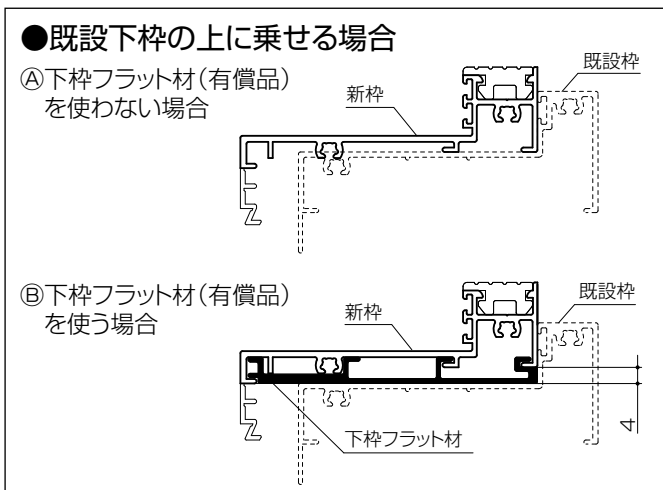
(単位: mm)

リフォームドア リシエント			切詰め限界寸法		
納まり	基本寸法	基本寸法公式(※1)	片袖ランマ付き		
既設下枠の上に 乗せる場合	Ⓐ下枠フラット材を 使わない場合	H =	H = h(小さいほう) - 5	H	H: 2258 以上
	Ⓑ下枠フラット材を 使う場合	H =	H = h(小さいほう) - 9		
既設下枠を 取外す場合	Ⓒ下枠フラット材を 使わない場合	H =	H = h(小さいほう) - g + 16		
	Ⓓ下枠フラット材を 使う場合	H =	H = h(小さいほう) - g + 16		
—	—	W =	W = w(小さいほう) - 10	W	W: 1107 以上…ポストなし W: 1188 以上…ポスト付き

※既設枠開口寸法は h・w と各 2 箇所測定し、小さいほうの寸法に決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法より W: 10 mm、H: 5mm 程度小さくします。

※1 下枠フラット材(別途有償品)を使用する場合、基本寸法 H の公式が異なります。



■各部材切断寸法表

※外額縁（縦）、内額縁（縦）及び溝ふたは、現場の納まりに合わせて切断寸法を決めます。（ ）内の式は、出荷時（取付開口下部よりそれぞれ、外：105.5 mm、内：21 mm長い設定）の切断寸法計算式です。

● 枠

○・・・加工有り：△・・・切断のみ：×・・・加工不要

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 片袖ランマ付き	加工有無	
縦部材	縦枠	丁番側縦枠	H+4	上部	1本	○	
		袖側縦枠	H+4	上部	1本	○	
	方立	戸先側方立	2015（固定）	2015	切詰め不可	1本	×
	ランマアタッチメント			H-2095.5	上部	2本	○
横部材	ランマ上枠			W-47	袖側	1本	△
	無目			W-47	袖側	1本	△
	下枠			W-47	袖側	1本	△
	片袖	袖上棧		W-918	両端均等	1本	△
		袖中棧		W-918	両端均等	1本	△
		袖下棧		W-918	両端均等	1本	△
		袖押縁		W-977.5	指定なし	4本	△
	無目押縁			W-76.5	指定なし	1本	△
	縦枠アタッチメントA(中棧なし)			H-587	切詰め不可	1本	×
	縦枠アタッチメントB(中棧なし)			H-587	切詰め不可	1本	×
	縦枠アタッチメントA(中棧あり)上			H-1503	切詰め不可	1本	×
		縦枠アタッチメントA(中棧あり)下	830（固定）	830	切詰め不可	1本	×
		縦枠アタッチメントB(中棧あり)上		H-1503	切詰め不可	1本	×
		縦枠アタッチメントB(中棧あり)下	830（固定）	830	切詰め不可	1本	×

●外額縁

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 片袖ランマ付き	加工有無
外額縁(小)	外額縁(小)縦		※ (H+128)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)		※ (H+92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(小)横		※ (W+10)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)		※ (W+10)	指定なし	1本	△
外額縁(中)	外額縁(中)縦		※ (H+183)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)		※ (H+92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(中)横		※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)		※ (W+5)	指定なし	1本	△
外額縁(大)	外額縁(大)縦		※ (H+192)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)		※ (H+92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(大)横		※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)		※ (W+5)	指定なし	1本	△

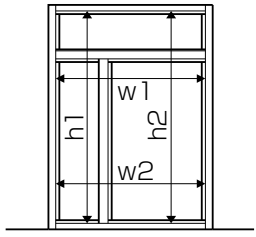
●内額縁

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 片袖ランマ付き	加工有無
内額縁(小)	内額縁(小)縦		※ (H+22)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)		※ (H-1.5)	指定なし	2本	△
	内額縁(小)横		※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)		※ (W+5)	指定なし	1本	△
内額縁(大)	内額縁(大)縦		※ (H+39)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)		※ (H-1.5)	指定なし	2本	△
	内額縁(大)横		※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)		※ (W+5)	指定なし	1本	△

■部材切断寸法表【片袖ランマ付き】（アルミ仕様）

■現場寸法表

（単位：mm）

既設枠開口寸法				リフォームドア リシェント		切詰め限界寸法
h	h1			基本寸法	基本寸法公式	片袖ランマ付き
		h2		H =	h (小さいほう) - 5	H : 2220 以上
w	w1		W =	w (小さいほう) - 10	W : 985 以上…ポストなし W : 1133 以上…ポスト付き	
	w2					

※既設枠開口寸法は h・w と各 2 箇所測定し、小さいほうの寸法に決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法より W : 10 mm、H : 5mm 程度小さくします。

■各部材切断寸法表

※外額縁（縦）、内額縁（縦）及び溝ふたは、現場の納まりに合わせて切断寸法を決めます。（ ）内の式は、出荷時（取付開口下部よりそれぞれ、外：105.5 mm、内：21 mm長い設定）の切断寸法計算式です。

●枠

○…加工有り：△…切断のみ：×…加工不要

縦部材	縦枠	丁番側縦枠 袖側縦枠	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
						片袖ランマ付き	
横部材	方立	戸先側方立	2015 (固定)	2015	切詰め不可	1本	×
		ランマアタッチメント		H - 2095.5	上部	2本	○
		ランマ上枠		W - 47	袖側	1本	△
		無目		W - 47	袖側	1本	△
	片袖	下枠		W - 47	袖側	1本	△
		袖上棧		W - 863	両端均等	1本	△
		袖中棧		W - 863	両端均等	1本	△
		袖下棧		W - 863	両端均等	1本	△
		袖押縁		W - 862.5	指定なし	4本	△
		無目押縁		W - 76.5	指定なし	1本	△

●外額縁

外額縁(小)	外額縁(中)	外額縁(大)	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
						片袖ランマ付き	
外額縁(小)	外額縁(小)縦		※ (H+128)	ラベル表示あり	2本	△	
	溝ふた(縦)(室外側)		※ (H+92.5)	指定なし	2本	△	
	外額縁(小)横		※ (W+10)	指定なし	1本	△	
	溝ふた(横)(室外側)		※ (W+10)	指定なし	1本	△	
外額縁(中)	外額縁(中)縦		※ (H+183)	ラベル表示あり	2本	△	
	溝ふた(縦)(室外側)		※ (H+92.5)	指定なし	2本	△	
	外額縁(中)横		※ (W+5)	指定なし	1本	△	
	溝ふた(横)(室外側)		※ (W+5)	指定なし	1本	△	
外額縁(大)	外額縁(大)縦		※ (H+192)	ラベル表示あり	2本	△	
	溝ふた(縦)(室外側)		※ (H+92.5)	指定なし	2本	△	
	外額縁(大)横		※ (W+5)	指定なし	1本	△	
	溝ふた(横)(室外側)		※ (W+5)	指定なし	1本	△	

●内額縁

内額縁(小)	内額縁(大)	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
					片袖ランマ付き	
内額縁(小)	内額縁(小)縦		※ (H+22)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)		※ (H-1.5)	指定なし	2本	△
	内額縁(小)横		※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)		※ (W+5)	指定なし	1本	△
内額縁(大)	内額縁(大)縦		※ (H+39)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)		※ (H-1.5)	指定なし	2本	△
	内額縁(大)横		※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)		※ (W+5)	指定なし	1本	△

■部材切断寸法表【両袖ランマ付き】（断熱仕様（k4））

■現場寸法表

（単位：mm）

既設枠開口寸法			
h	h 1		
	h 2		
w	w 1		
	w 2		

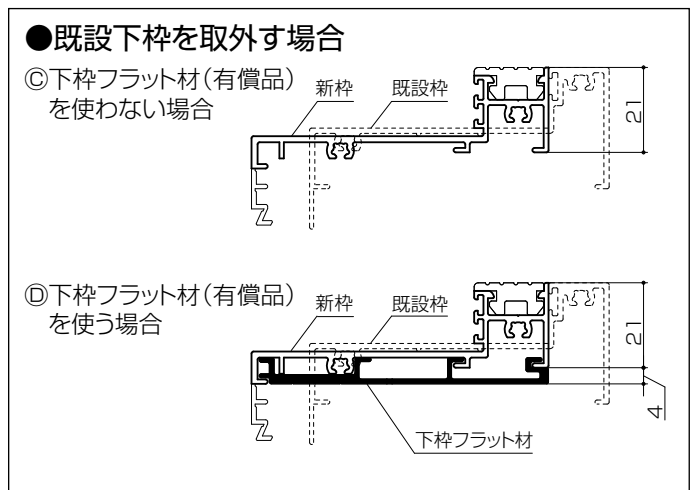
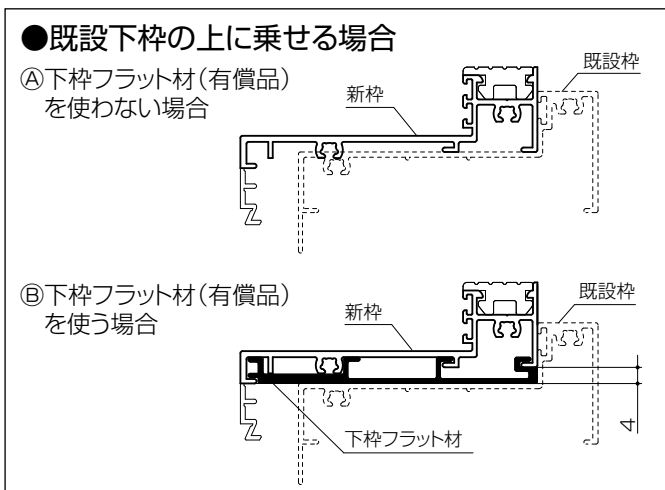
（単位：mm）

リフォームドア リシエント			切詰め限界寸法	
納まり		基本寸法	基本寸法公式(※1)	
既設下枠の上に 乗せる場合	Ⓐ下枠フラット材を 使わない場合	H =	H = h(小さいほう) - 5	H H : 2258 以上
	Ⓑ下枠フラット材を 使う場合	H =	H = h(小さいほう) - 9	
既設下枠を 取外す場合	Ⓒ下枠フラット材を 使わない場合	H =	H = h(小さいほう) - g + 16	
	Ⓓ下枠フラット材を 使う場合	H =	H = h(小さいほう) - g + 16	
—	—	W =	W = w(小さいほう) - 10	W W : 1337 以上…ポストなし W : 1499 以上…ポスト付き

※既設枠開口寸法は h・w とともに各 2 箇所測定し、小さいほうの寸法に決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法より W : 10 mm、H : 5mm 程度小さくします。

※1 下枠フラット材（別途有償品）を使用する場合、基本寸法 H の公式が異なります。



■各部材切断寸法表

※外額縁（縦）、内額縁（縦）及び溝ふたは、現場の納まりに合わせて切断寸法を決めます。（ ）内の式は、出荷時（取付開口下部よりそれぞれ、外：105.5 mm、内：21 mm長い設定）の切断寸法計算式です。

●枠

○・・・加工有り：△・・・切断のみ：×・・・加工不要

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 両袖ランマ付き	加工有無		
縦部材	縦枠	袖側縦枠	H+ 4	上部	2本	○		
	方立	戸先側方立	2015 (固定)	2015	切詰め不可	1本	×	
		丁番側方立	2015 (固定)	2015	切詰め不可	1本	×	
	ランマアタッチメント			H-2095.5	上部	2本	○	
横部材	ランマ上枠			W- 47	両端均等	1本	△	
	無目			W- 47	両端均等	1本	△	
	下枠			W- 47	両端均等	1本	△	
	両袖	袖上棧			(W- 959) /2	両端均等	2本	△
		袖中棧			(W- 959) /2	両端均等	2本	△
		袖下棧			(W- 959) /2	両端均等	2本	△
		袖押縁			(W- 1078) /2	指定なし	8本	△
	無目押縁			W- 76.5	指定なし	1本	△	
	縦枠アタッチメントA(中棧なし)			H-587	切詰め不可	1本	×	
	縦枠アタッチメントB(中棧なし)			H-587	切詰め不可	1本	×	
	縦枠アタッチメントA(中棧あり)上			H-1503	切詰め不可	1本	×	
	縦枠アタッチメントA(中棧あり)下		830 (固定)	830	切詰め不可	1本	×	
	縦枠アタッチメントB(中棧あり)上			H-1503	切詰め不可	1本	×	
	縦枠アタッチメントB(中棧あり)下		830 (固定)	830	切詰め不可	1本	×	

●外額縁

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 両袖ランマ付き	加工有無	
外額縁(小)	外額縁(小)縦			※ (H+ 128)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)			※ (H+ 92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(小)横			※ (W+10)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)			※ (W+10)	指定なし	1本	△
外額縁(中)	外額縁(中)縦			※ (H+ 183)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)			※ (H+ 92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(中)横			※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)			※ (W+5)	指定なし	1本	△
外額縁(大)	外額縁(大)縦			※ (H+ 192)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)			※ (H+ 92.5)	指定なし	2本	△
	外額縁(大)横			※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)			※ (W+5)	指定なし	1本	△

●内額縁

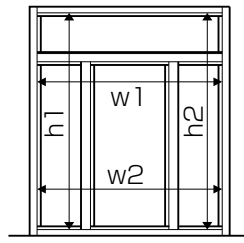
		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 両袖ランマ付き	加工有無	
内額縁(小)	内額縁(小)縦			※ (H+ 22)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)			※ (H- 1.5)	指定なし	2本	△
	内額縁(小)横			※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)			※ (W+5)	指定なし	1本	△
内額縁(大)	内額縁(大)縦			※ (H+ 39)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)			※ (H- 1.5)	指定なし	2本	△
	内額縁(大)横			※ (W+5)	指定なし	1本	△
	溝ふた(横)			※ (W+5)	指定なし	1本	△

■部材切断寸法表【両袖ランマ付き】（アルミ仕様）

■現場寸法表

（単位：mm）

既設枠開口寸法			リフォームドア リシエント	切詰め限界寸法	
					基本寸法
h	h1		H =	h（小さいほう） - 5	H：2220 以上
	h2				
w	w1		W =	w（小さいほう） - 10	W：1148 以上…ポストなし W：1444 以上…ポスト付き
	w2				



※既設枠開口寸法は h・w とも各 2 箇所測定し、小さいほうの寸法に決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法より W：10 mm、H：5mm 程度小さくします。

■各部材切断寸法表

※外額縁（縦）、内額縁（縦）及び溝ふたは、現場の納まりに合わせて切断寸法を決めます。（ ）内の式は、出荷時（取付開口下部よりそれぞれ、外：105.5 mm、内：21 mm長い設定）の切断寸法計算式です。

●枠

○…加工有り：△…切断のみ：×…加工不要

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 両袖ランマ付き	加工有無	
縦部材	縦枠	袖側縦枠	H+ 4	上部	2 本	○	
	方立	戸先側方立	2015（固定）	2015	切詰め不可	1 本	×
		丁番側方立	2015（固定）	2015	切詰め不可	1 本	×
	ランマアタッチメント			H-2095.5	上部	2 本	○
横部材	ランマ上枠		W- 47	両端均等	1 本	△	
	無目		W- 47	両端均等	1 本	△	
	下枠		W- 47	両端均等	1 本	△	
	両袖	袖上棧	(W- 904) /2	両端均等	2 本	△	
		袖中棧	(W- 904) /2	両端均等	2 本	△	
		袖下棧	(W- 904) /2	両端均等	2 本	△	
		袖押縁	(W- 903) /2	指定なし	8 本	△	
無目押縁		W- 76.5	指定なし	1 本	△		

●外額縁

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 両袖ランマ付き	加工有無
外額縁（小）	外額縁（小）縦		※ (H+ 128)	ラベル表示あり	2 本	△
	溝ふた（縦）（室外側）		※ (H+ 92.5)	指定なし	2 本	△
	外額縁（小）横		※ (W+10)	指定なし	1 本	△
	溝ふた（横）（室外側）		※ (W+10)	指定なし	1 本	△
外額縁（中）	外額縁（中）縦		※ (H+ 183)	ラベル表示あり	2 本	△
	溝ふた（縦）（室外側）		※ (H+ 92.5)	指定なし	2 本	△
	外額縁（中）横		※ (W+5)	指定なし	1 本	△
	溝ふた（横）（室外側）		※ (W+5)	指定なし	1 本	△
外額縁（大）	外額縁（大）縦		※ (H+ 192)	ラベル表示あり	2 本	△
	溝ふた（縦）（室外側）		※ (H+ 92.5)	指定なし	2 本	△
	外額縁（大）横		※ (W+5)	指定なし	1 本	△
	溝ふた（横）（室外側）		※ (W+5)	指定なし	1 本	△

●内額縁

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 両袖ランマ付き	加工有無
内額縁（小）	内額縁（小）縦		※ (H+ 22)	ラベル表示あり	2 本	△
	溝ふた（縦）		※ (H- 1.5)	指定なし	2 本	△
	内額縁（小）横		※ (W+5)	指定なし	1 本	△
	溝ふた（横）		※ (W+5)	指定なし	1 本	△
内額縁（大）	内額縁（大）縦		※ (H+ 39)	ラベル表示あり	2 本	△
	溝ふた（縦）		※ (H- 1.5)	指定なし	2 本	△
	内額縁（大）横		※ (W+5)	指定なし	1 本	△
	溝ふた（横）		※ (W+5)	指定なし	1 本	△

■ガラス切断寸法表（断熱仕様（k4））

■非断熱枠（ランマなし）

型番		袖部（中棧無）		袖部（中棧付き 下ガラス）		袖部（中棧付き 上ガラス）	
		Gw	Gh	Gw	Gh	Gw	Gh
片袖	寸法				824		
	公式	W1-36 (W-Dw-140)	Dh-157 (H-198)	W1-36 (W-Dw-140)	824（固定）	W1-36 (W-Dw-140)	Dh-1073 (H-1114)
両袖	寸法	(×2)	(×2)	(×2)	824 (×2)	(×2)	(×2)
	公式	W1-36 (W-Dw-216) /2	Dh-157 (H-198)	W1-36 (W-Dw-140)	824（固定）	W1-36 (W-Dw-216) /2	Dh-1073 (H-1114)

※ W1 = 袖開口

■非断熱枠（ランマ付き）

型番		袖部（中棧無）		袖部（中棧付き 下ガラス）		袖部（中棧付き 上ガラス）		ランマ部	
		Gw	Gh	Gw	Gh	Gw	Gh	Gw	Gh
片開き	寸法	—	—	—	—	—	—		
	公式	—	—	—	—	—	—	W-164	H-Dh-181.5
親子	寸法	—	—	—	—	—	—		
	公式	—	—	—	—	—	—	W-164	H-Dh-181.5
片袖	寸法				824				
	公式	W1-36 (W-Dw-140)	Dh-157	W1-36 (W-Dw-140)	824（固定）	W1-36 (W-Dw-140)	Dh-1073	W-164	H-Dh-181.5
両袖	寸法	(×2)	(×2)	(×2)	824 (×2)	(×2)	(×2)		
	公式	W1-36 (W-Dw-216) /2	Dh-157	W1-36 (W-Dw-140)	824（固定）	W1-36 (W-Dw-216) /2	Dh-1073	W-164	H-Dh-181.5

※ W1 = 袖開口

■先付ビード切断寸法表

※出荷時の先付ビードの寸法は、温度変化による伸縮を考慮し、長めに設定しています。
組立ての際は、部材の切断寸法Lに合わせて、先付ビードの切断寸法を決めます。

	寸法	寸法計算式
ランマ上枠		L - 32
無目		
袖上棧		L - 62
袖中棧		
袖下棧		
ランマアタッチメント		L - 14.5

■ガラス切断寸法表（アルミ仕様）

■非断熱枠（ランマなし）

型番		袖部（中棧無）		袖部（中棧付き 下ガラス）		袖部（中棧付き 上ガラス）	
		Gw	Gh	Gw	Gh	Gw	Gh
片袖	寸法				812		
	公式	$W1+12$ ($W-Dw-92$)	Dh-169 (H-210)	$W1+12$ ($W-Dw-92$)	812 (固定)	$W1+12$ ($W-Dw-92$)	Dh-1085 (H-1126)
両袖	寸法	(×2)	(×2)	(×2)	812 (×2)	(×2)	(×2)
	公式	$W1+12$ ($(W-Dw-120)/2$)	Dh-169 (H-210)	$W1+12$ ($(W-Dw-120)/2$)	812 (固定)	$W1+12$ ($(W-Dw-120)/2$)	Dh-1085 (H-1126)

※ W1 = 袖開口

■非断熱枠（ランマ付き）

型番		袖部（中棧無）		袖部（中棧付き 下ガラス）		袖部（中棧付き 上ガラス）		ランマ部	
		Gw	Gh	Gw	Gh	Gw	Gh	Gw	Gh
片開き	寸法	—	—	—	—	—	—		
	公式	—	—	—	—	—	—	W-64	H-Dh-93
親子	寸法	—	—	—	—	—	—		
	公式	—	—	—	—	—	—	W-64	H-Dh-93
片袖	寸法				812				
	公式	$W1+12$ ($W-Dw-92$)	Dh-169	$W1+12$ ($W-Dw-92$)	812 (固定)	$W1+12$ ($W-Dw-92$)	Dh-1085	W-64	H-Dh-93
両袖	寸法	(×2)	(×2)	(×2)	812 (×2)	(×2)	(×2)		
	公式	$W1+12$ ($(W-Dw-120)/2$)	Dh-169	$W1+12$ ($(W-Dw-120)/2$)	812 (固定)	$W1+12$ ($(W-Dw-120)/2$)	Dh-1085	W-64	H-Dh-93

※ W1 = 袖開口

■先付ビード切断寸法表

※出荷時の先付ビードの寸法は、温度変化による伸縮を考慮し、長めに設定しています。
組立ての際は、部材の切断寸法 L に合わせて、先付ビードの切断寸法を決めます。

	寸法	寸法計算式
ランマ上枠		$L - 32$
無目		$L - 32$
袖上棧		$L - 2$
袖中棧		$L - 2$
袖下棧		$L - 2$
ランマアタッチメント		$L - 14.5$

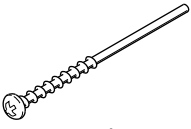

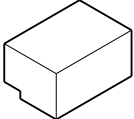
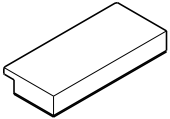
製品の組立て【高断熱仕様】

■組立てされる方へのお願い

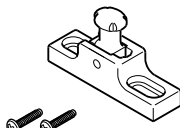
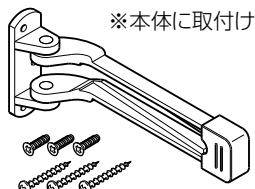
▲注意

- 丁番取付けねじは、奥まで締め付けてください。ドア本体の脱落の原因になります。

■部品・ねじ一覧表（高断熱枠組立て用）

①	㊦
 ナベタッピンねじ φ4×55	※切詰めした場合のみ使用  皿ドリルねじ φ4×13
⑧	㊧
※枠取付け後のガラス取付け時に使用（P73～74）	
 ガラスライナー (ランマ用)	 無目端末ピース

- ガラス寸法は、部材切断寸法表（P26～P32）から算出してください。
- 必ず指定のねじで固定してください。
- 枠の組立てねじは、 $2.5 \pm 0.5N \cdot m$ { $25 \pm 5kgf \cdot cm$ } の締め付けトルクで止めた後、緩み・ガタツキのないことを確認してください。
- ポーチと下枠の段差が大きい場合は、下枠補強アングル（高断熱）（別途有償品）を枠組立て時に取付けてください。（P66～P67）

㊨	㊩
※枠に取付け  ドアガード受け（枠用） (バインド小ねじ M4×16)	※本体に取付け  ドアガードアーム (タッピンねじφ4×25(1種)) (アルミ仕様の場合) (皿小ねじ M4×12)

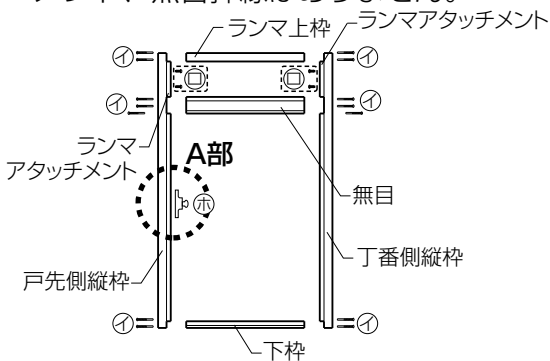
■組立て順序

1 枠の組立て

- 図に従って枠を組立てます。
- ※図中①～⑧は、部品・ねじの種類を表します。

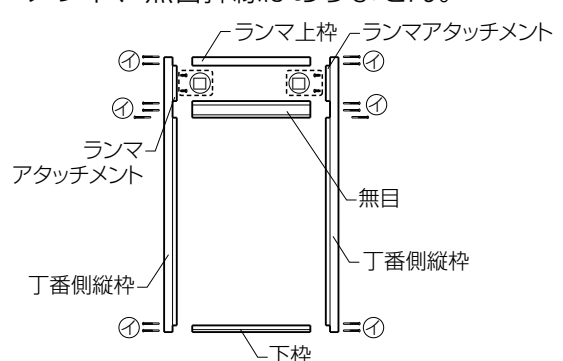
〔片開き〕

- ランマなしの場合、無目、ランマアタッチメント、無目押縁はありません。

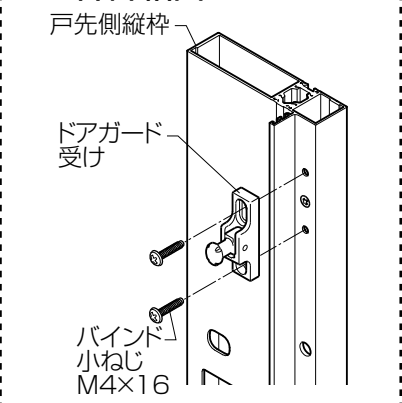


〔親子〕

- ランマなしの場合、無目、ランマアタッチメント、無目押縁はありません。

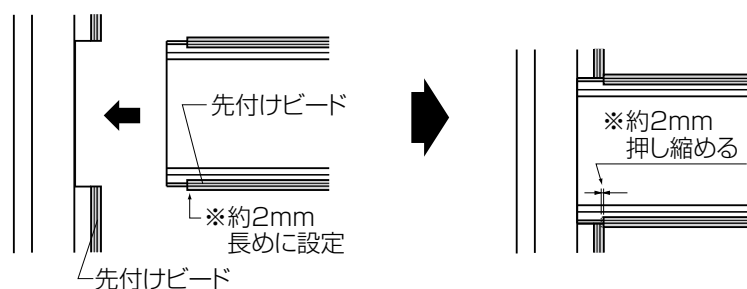


■A部詳細図



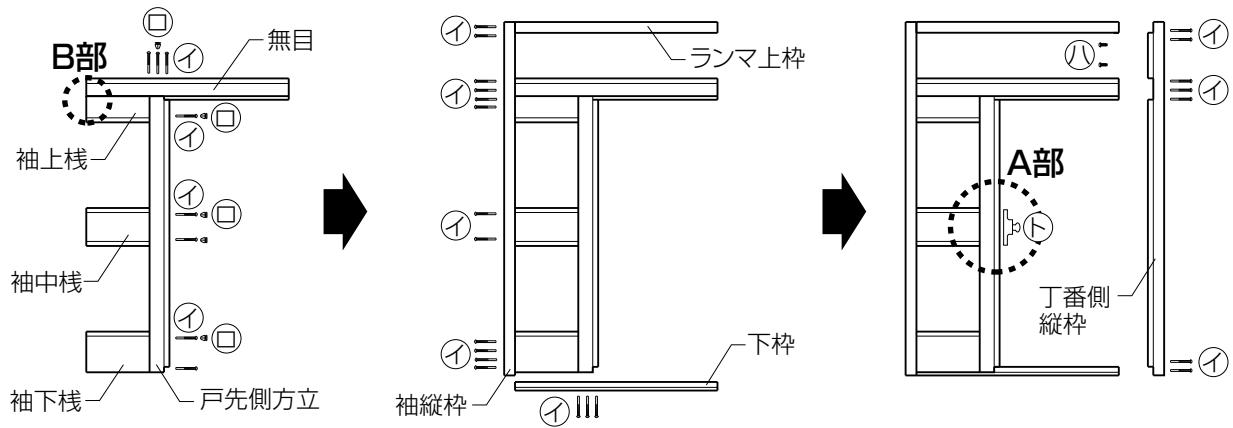
■先付けビードのコーナー部納まりについて

※組立ての際、コーナー部の先付けビードが正しく納まっているか確認してください。先付けビードは、温度変化による伸縮を考慮し、長めに設定してあります。



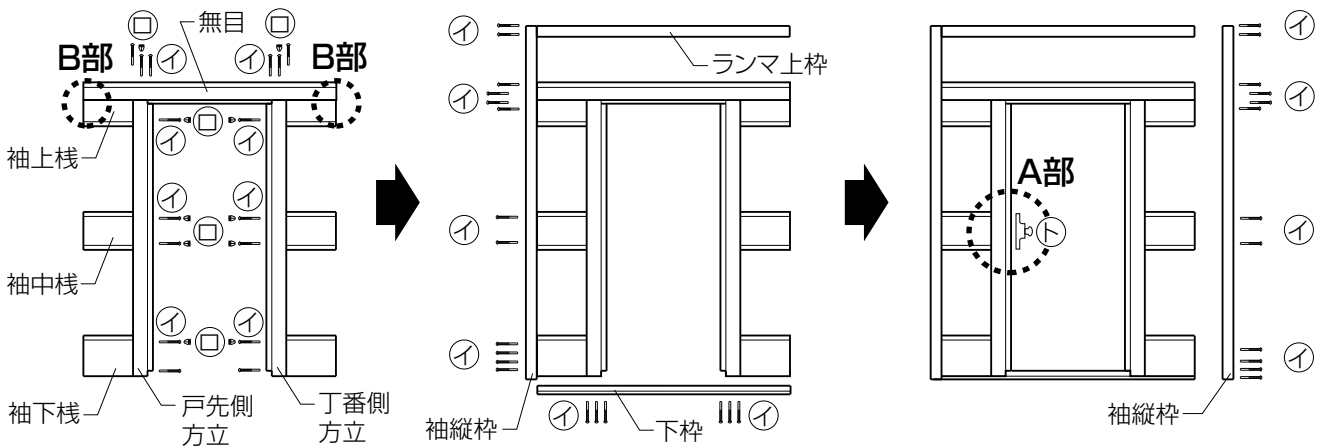
〔片袖〕

●ランマなしの場合、無目、ランマアタッチメント、無目押縁はありません。

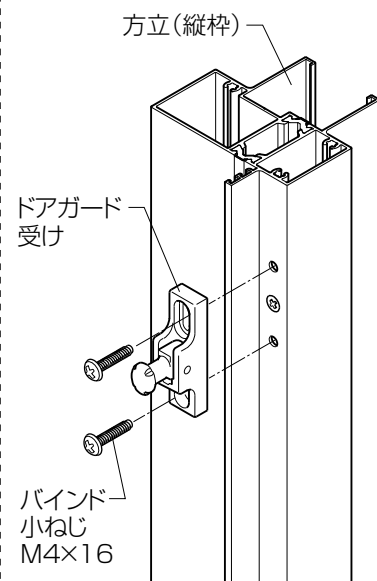


〔両袖〕

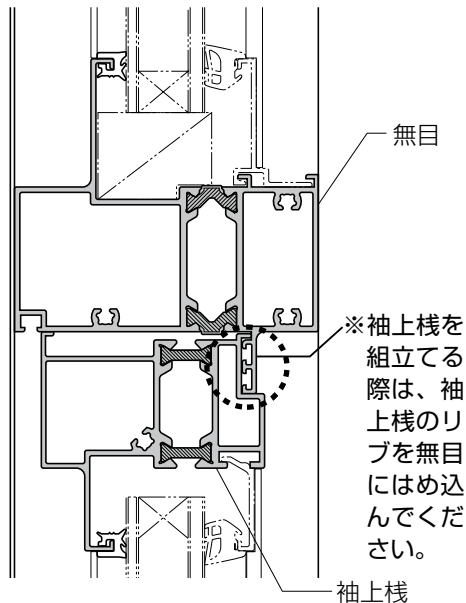
●ランマなしの場合、無目、無目押縁はありません。



■A部詳細図

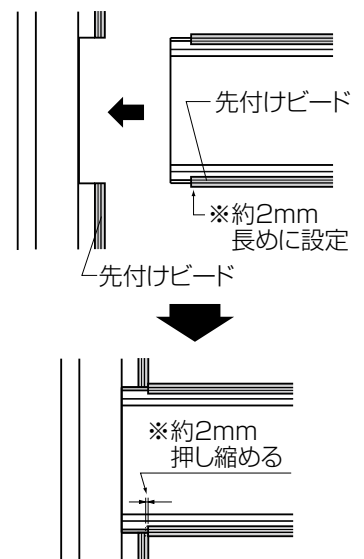


■B部詳細図



■先付けビードのコーナー部納まりについて

※組立ての際、コーナー部の先付けビードが正しく納まっているか確認してください。先付けビードは、温度変化による伸縮を考慮し、長めに設定してあります。



製品の組立て【断熱仕様(k4)・アルミ仕様】

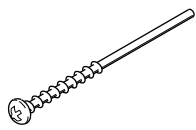


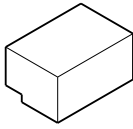
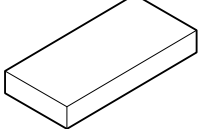
■組立てされる方へのお願い

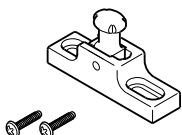
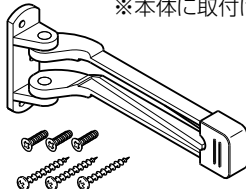
▲注意

- 丁番取付けねじは、奥まで締め付けてください。
ねじが緩いとドア本体の脱落の原因になります。

- ガラス寸法は、部材切断寸法表 (P33 ~ P44) から算出してください。
- 必ず指定のねじで固定してください。
- 枠の組立てねじは、 $2.5 \pm 0.5N \cdot m$ { $25 \pm 5kgf \cdot cm$ } の締め付けトルクで止めた後、緩み・ガタツキのないことを確認してください。
- 袖上棧 (袖下棧) を組立てる際は、袖上棧 (袖下棧) のリブを無目 (下棧) にはめこんでください。
- ポーチと下棧の段差が大きい場合は、下棧補強アングル (別途有償品) を枠組立て時に取付けてください。(P66 ~ P67)

■部品・ねじ一覧表 (枠組立て用)

㊶	㊷	㊸
		
なべタッピンねじ φ4×55	プッシュボタン	※切詰めした場合のみ 使用 皿ドリルねじ φ4×13
㊹	㊺	
※枠取付け後のガラス取付け時に使用 (P73~74)		
		
ガラスライナー (断熱仕様(k4)の場合…使用しません。 アルミ仕様の場合…ランマ袖)	ガラスライナー (断熱仕様(k4)の場合…袖用 アルミ仕様の場合…使用しません。)	

㊻	㊼
※枠に取付け	※本体に取付け
	
ドアガード受け (枠用) (バインド小ねじ M4×16)	ドアガードアーム (皿小ねじ M4×12) (断熱仕様の場合 タッピンねじφ4×25 (1種))

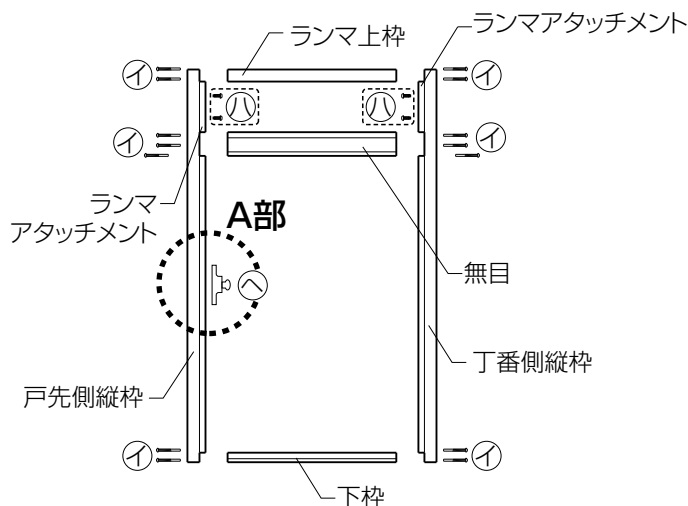
■組立て順序

1 枠の組立て

- 図に従って枠を組立てます。
- ※ 図中㊶~㊺は、部品・ねじの種類を表します。

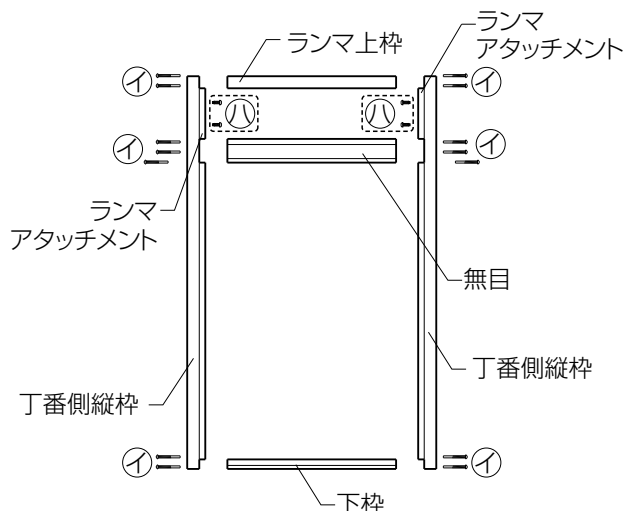
〔片開き〕

- ランマなしの場合、無目、ランマアタッチメント、無目押縁はありません。



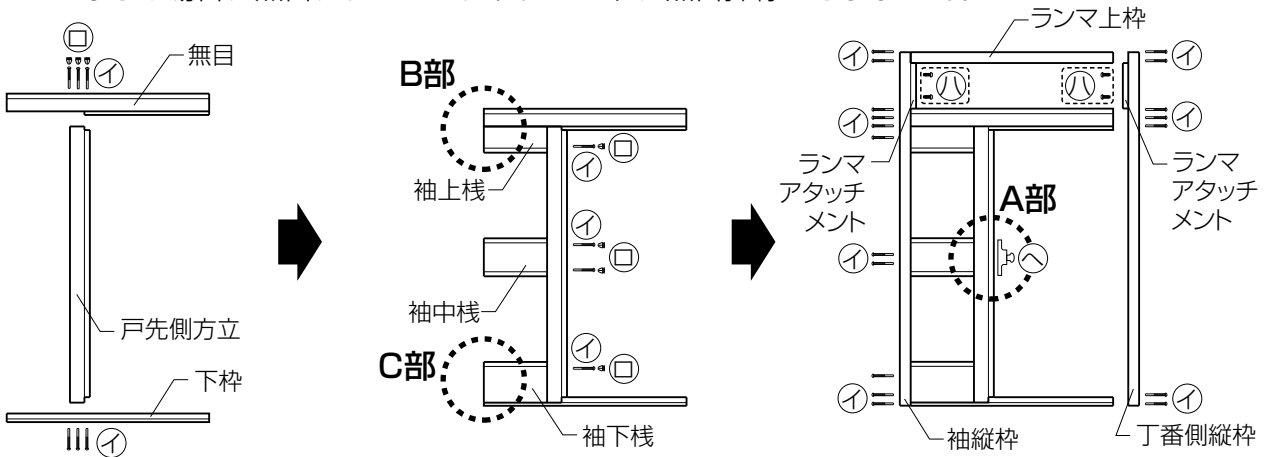
〔親子〕

- ランマなしの場合、無目、ランマアタッチメント、無目押縁はありません。



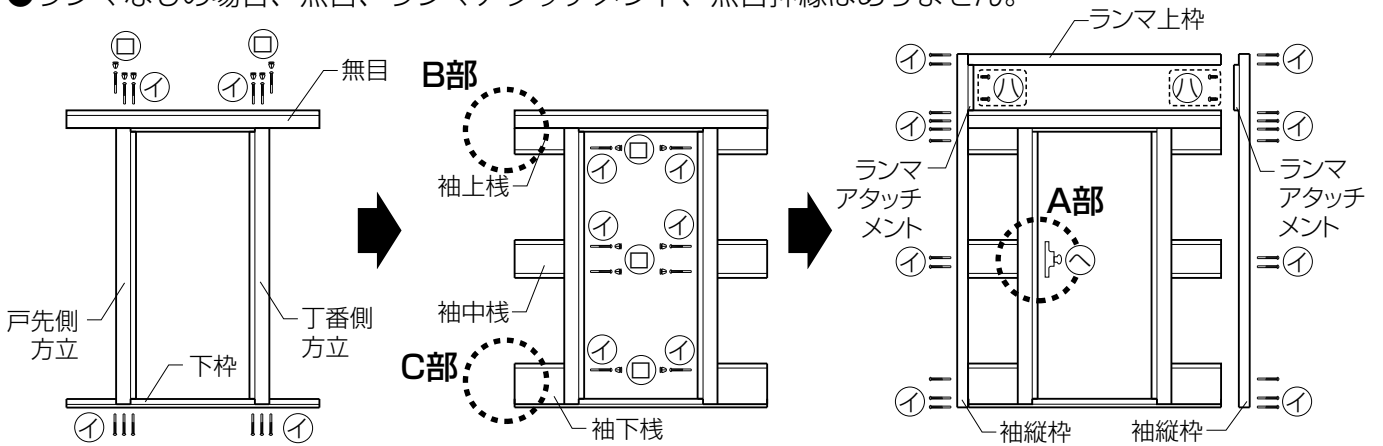
〔片袖〕

●ランマなしの場合、無目、ランマアタッチメント、無目押縁はありません。

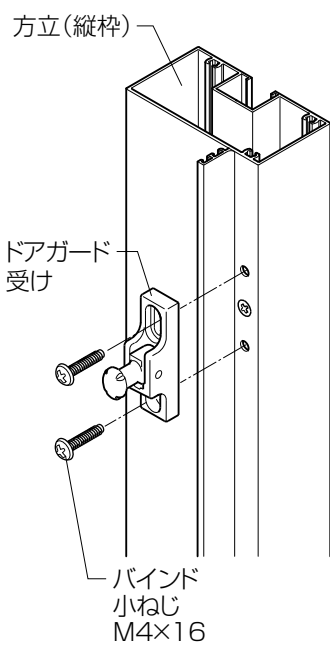


〔両袖〕

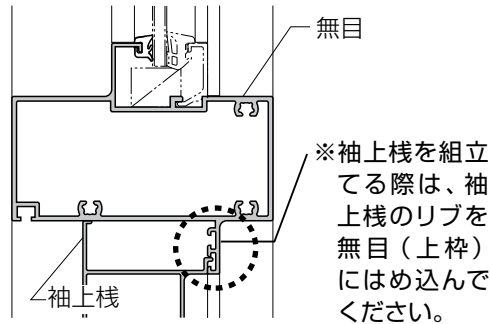
●ランマなしの場合、無目、ランマアタッチメント、無目押縁はありません。



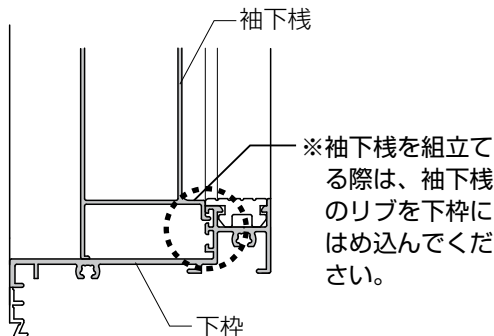
■A部詳細図



■B部詳細図

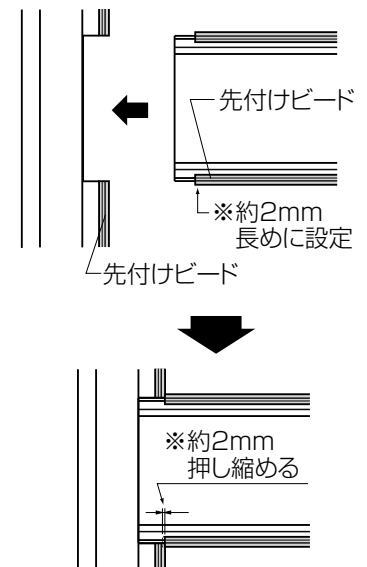


■C部詳細図



■先付けビードのコーナー部納まりについて

※組立ての際、コーナー部の先付けビードが正しく納まっているか確認してください。先付けビードは、温度変化による伸縮を考慮し、長めに設定してあります。



2 丁番の取付け・ドア本体のつり込み

〔高断熱仕様の場合〕

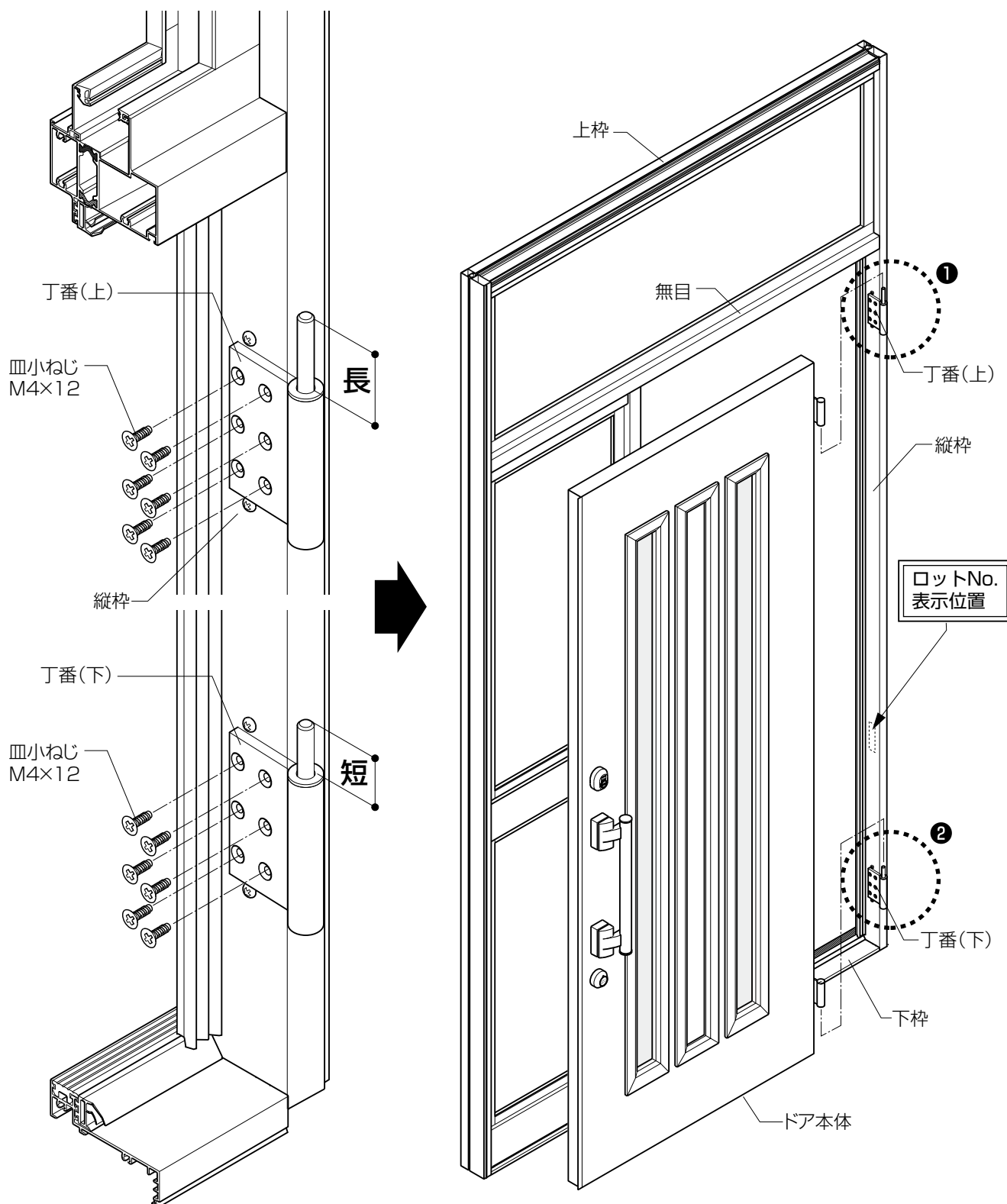
▲ 注意

- 丁番取付けねじは、奥まで締め付けてください。ドア本体の脱落の原因になります。

① 丁番には上・下の区別があります。軸の長い丁番は上、軸の短い丁番は下になるように取付けます。(取付けねじは丁番セットに同梱されています。)

※ 本体側は、皿小ねじ M4 × 20 (長いほうのねじ) で取付けてください。

② ドア本体を①・②の順でつり込みます。



〔断熱仕様 (k2・k3)・断熱仕様 (k4)・アルミ仕様の場合〕

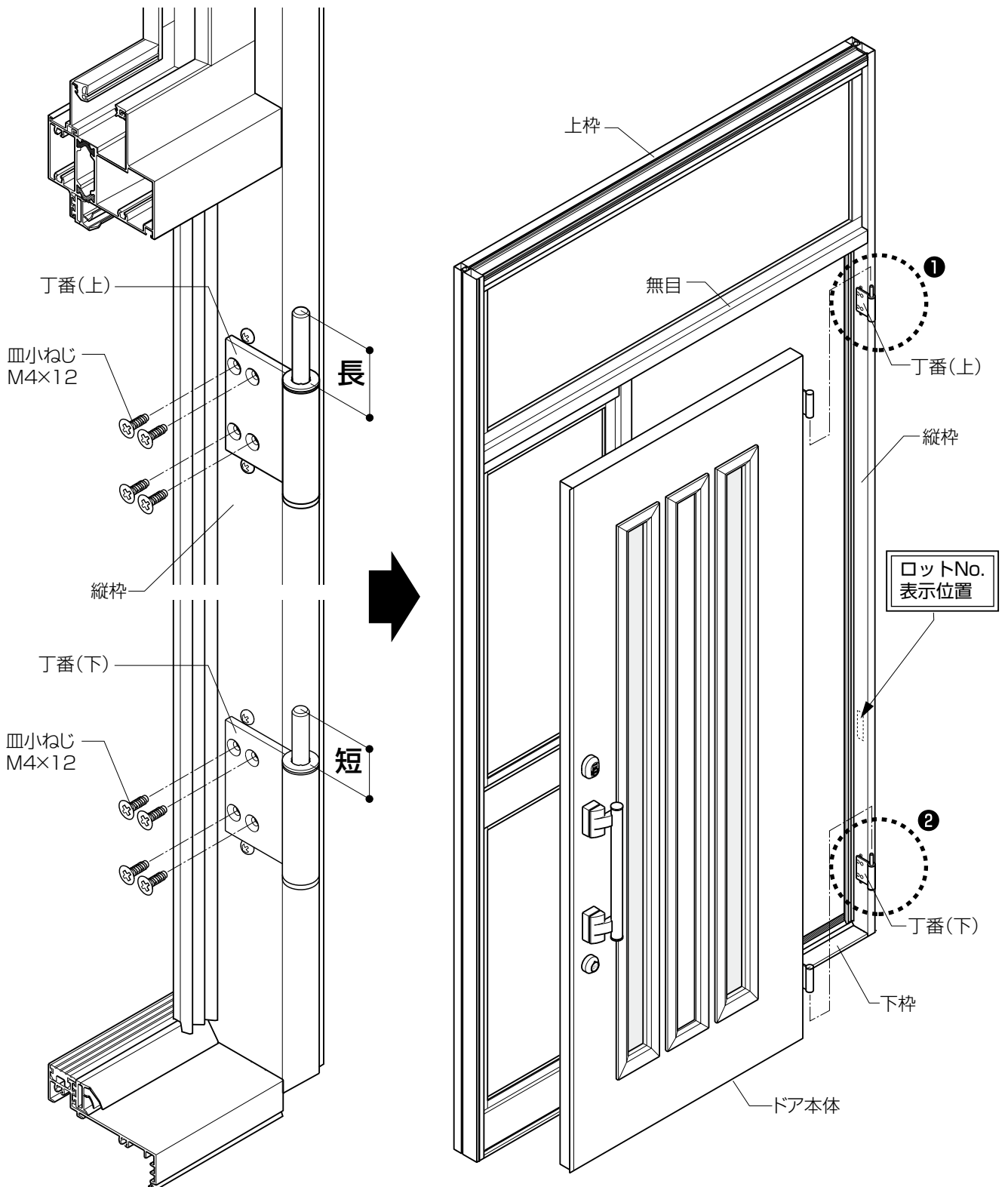
▲ 注意

● 丁番取付けねじは、奥まで締め付けてください。ドア本体の脱落の原因になります。

① 丁番には上・下の区別があります。軸の長い丁番は上、軸の短い丁番は下になるように取付けます。(取付けねじは丁番セットに同梱されています。)

※ 本体側は、皿小ねじ M4 × 20 (長いほうのねじ) で取付けてください。

② ドア本体を①・②の順でつり込みます。



製品の取付け

▲ 注意

- 本製品は、木造・土間納まり専用です。外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の個所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。
- 躯体に取付ける際は、ねじかかり寸法は必ず 20mm 以上にしてください。製品強度の不足でドア本体・枠の脱落の原因となります。
- 躯体に取付ける際の枠取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法 20mm の時 1.2N・m (12kgf・cm) 以上にしてください。製品強度の不足でドア本体、枠の脱落の原因となります。
- 錠セットを取付けてからドア本体をつり込んで枠を躯体に固定してください。錠セットを取付ける前にドア本体を枠につり込むと、ドア本体が勝手に開き思わぬケガをするおそれがあります。
- 丁番取付けねじを全部外さないでください。ドア本体が脱落します。



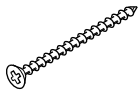


●現場取付けに入る前に、製品基本寸法が現場と合っていることを確認してください。

●必ず指定の取付けねじで取付けてください。

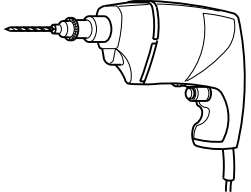
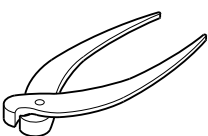
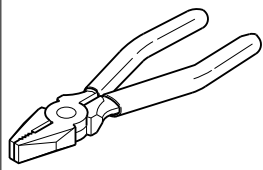
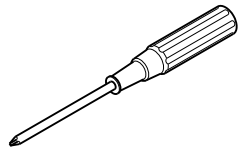
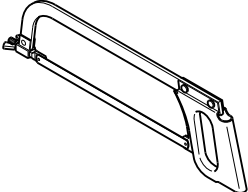
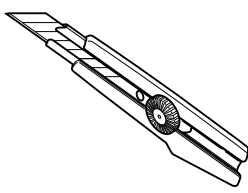
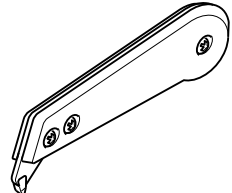
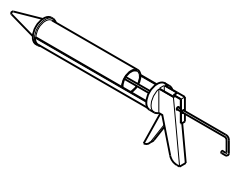
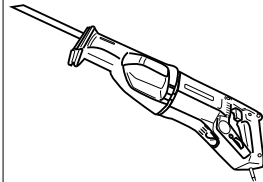
●内外の額縁は、現場の納まりに合わせて切詰めてください。

■取付けねじ一覧表

※取付けねじ本数は、取付け穴より多めに入っています。

①	②	③	④	⑤
上枠・縦枠用	枠補強金具取付け	下枠取付け用	穴ふさぎ用	下枠取付け用
				
なべタッピンねじ φ4×60 (1種)	なべタッピンねじ φ4×30 (1種)	皿ドリルねじ φ4×40	プッシュボタン	※コンクリート用 皿セルフタッピン アンカーねじ φ4×32

■使用工具一覧表

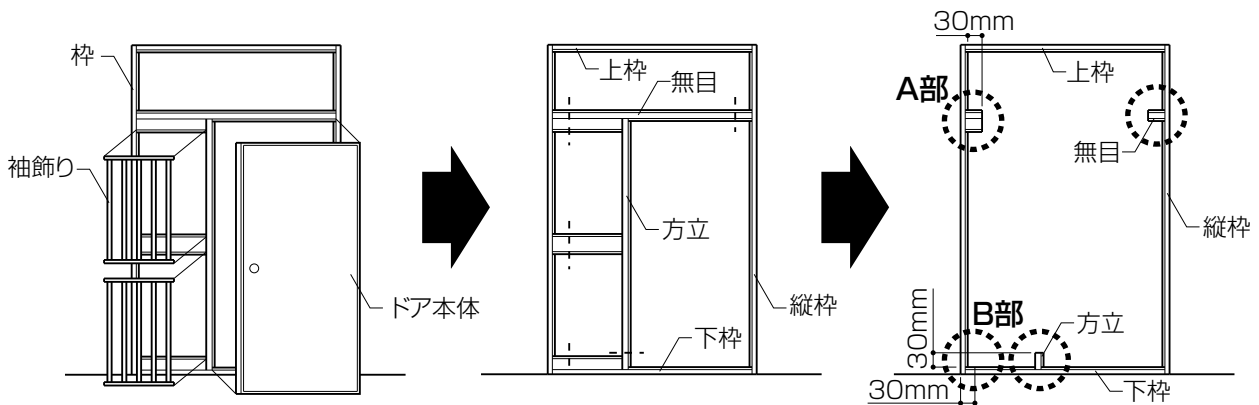
電動ドリル・電動ドライバー	くい切り	ペンチ	プラスドライバー	鉄ノコ
				
カッター	プラスチックカッター	コーキングガン	セーバーソー	※その他工具… グラインダー、 丸のこなど。
				

■既設ドアの取外し

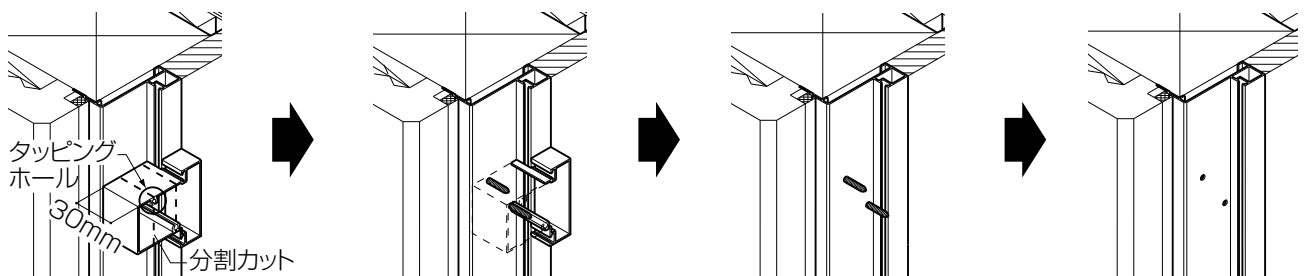
- ①既設のドア本体・袖飾り・子扉、及びガラスを取外します。
 - ②無目・方立などの部材を切断して取除き、外枠（上枠・縦枠・下枠）のみ躯体に残します。
- ※下枠も取除く場合はモルタル処理をしてください。

【既設枠がアルミ型材の場合】

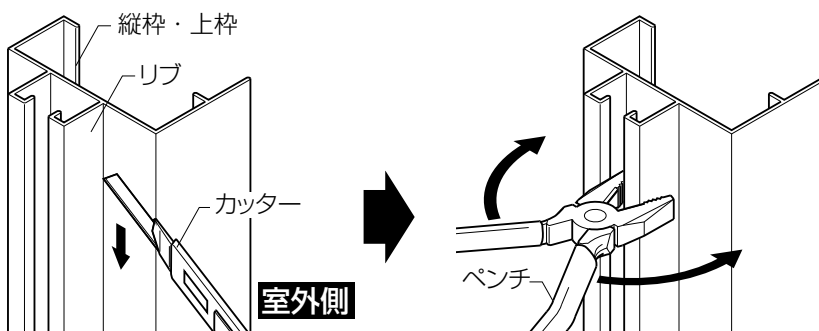
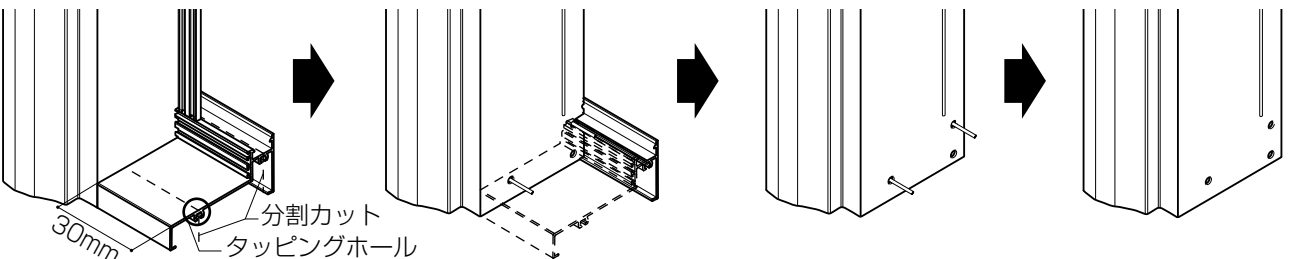
- ①無目・方立・下枠などは、縦枠・下枠などとの連結部から約 30 mm 残して切取ります。
- ②切り残した部材は、タッピングホール付近を分割して取りやすい状態にして外します。
- ③外枠に残ったねじを、くい切りなどで切断します。
- ④取付けに支障のあるリブが縦枠・上枠にある場合は（下図）、室外側のリブの付け根にカッターなどにて強く押当ててキズをつけ、ペンチで折取ります。



■A部詳細図



■B部詳細図



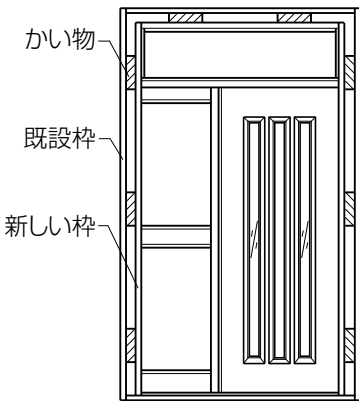
■新しい枠の取付け

※ドアをつり込んだ状態で、必ず2人で作業してください。

①かい物を三方に入れて、新しい枠の水平・垂直を正しく出します。

※高断熱仕様と断熱仕様 (k2・k3) の場合は既設枠と新しい枠 (上枠・縦枠) を接触させないください。接触すると断熱性能が確保できなくなる場合があります。

●縦枠側



丁番側

①なベタツピンねじφ4×60(1種)

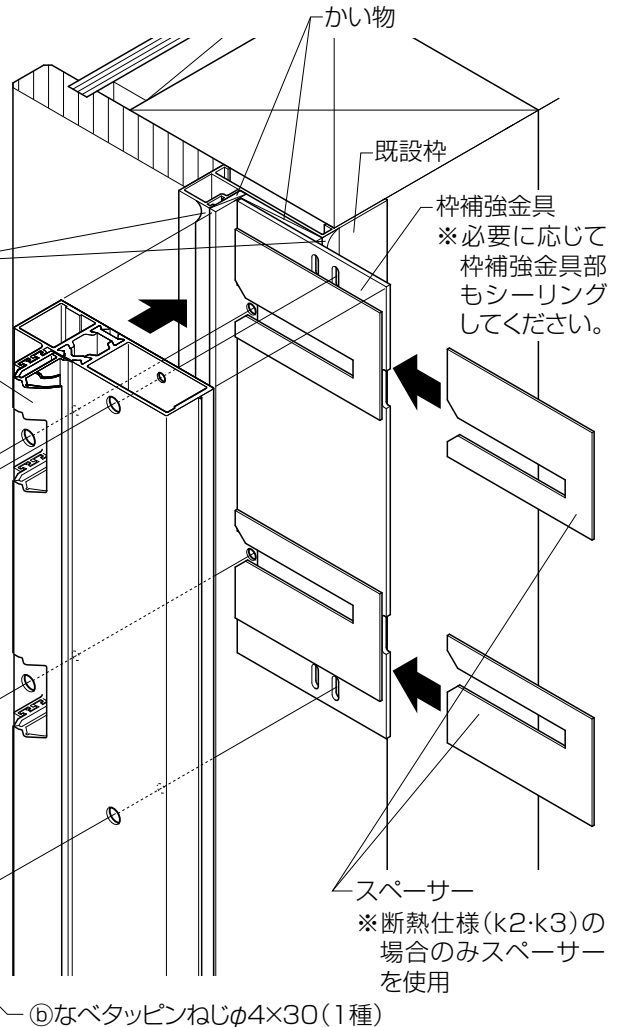
②プッシュボタン

新しい枠(縦枠)

③プッシュボタン

④なベタツピンねじφ4×30(1種)

⑤なベタツピンねじφ4×30(1種)



▲注意

●躯体に取付ける際は、製品の強度確保のため、ねじかかり寸法は必ず20mm以上にしてください。ドア本体・枠の脱落の原因になります。

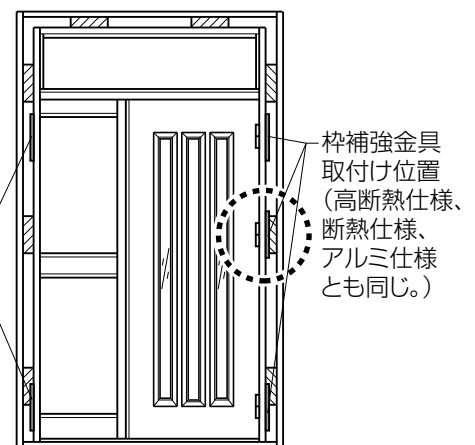
②取付け位置決定後、新しい枠 (上枠・縦枠) の取付け穴より、既設枠及び躯体にφ3の下穴をあけます。

③丁番側縦枠の室内側躯体取付けねじから順に指定のねじで取付けます。
その際、丁番部の躯体取付けねじで枠補強金具とともに①なベタツピンねじφ4×60(1種)で取付けます。

※断熱仕様 (k2・k3) の場合はスペーサーを縦枠と枠補強金具の間に挟んで取付けます。

④縦枠の室外側の固定穴から、枠補強金具を⑤なベタツピンねじφ4×30(1種)で固定します。
※高断熱仕様と断熱仕様 (k2・k3) の場合は戸先側縦枠 (袖縦枠) にも枠補強金具が取付きます。

枠補強金具取付け位置 (断熱仕様(k4)・アルミ仕様は取付きません。)



☉内は3枚丁番の場合

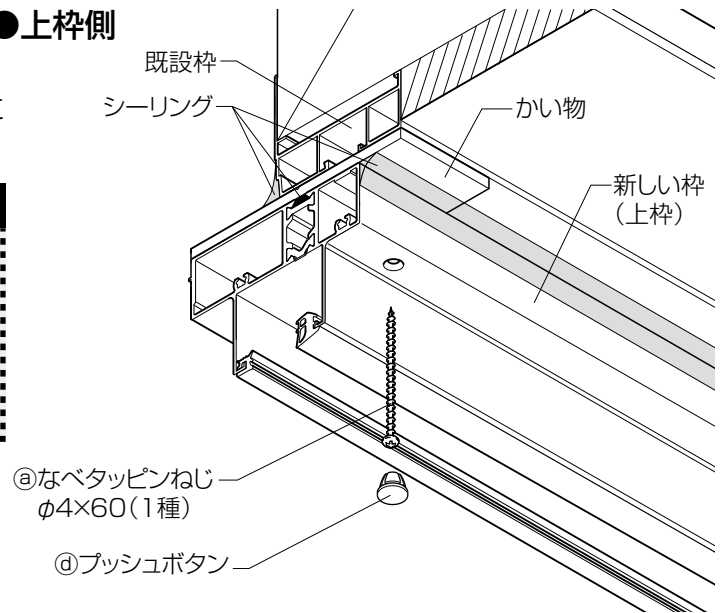
⑤プッシュボタンをはめ込みます。

⑥既設枠と新しい枠の接合部（室外側／三方）にシーリング材を充てんします。

▲注意

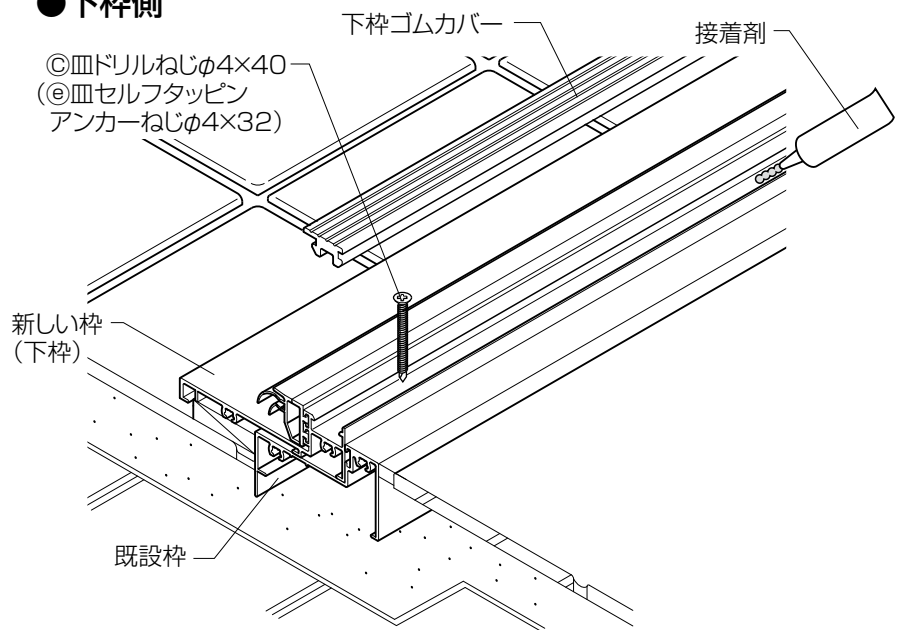
●外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の個所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。

●上枠側



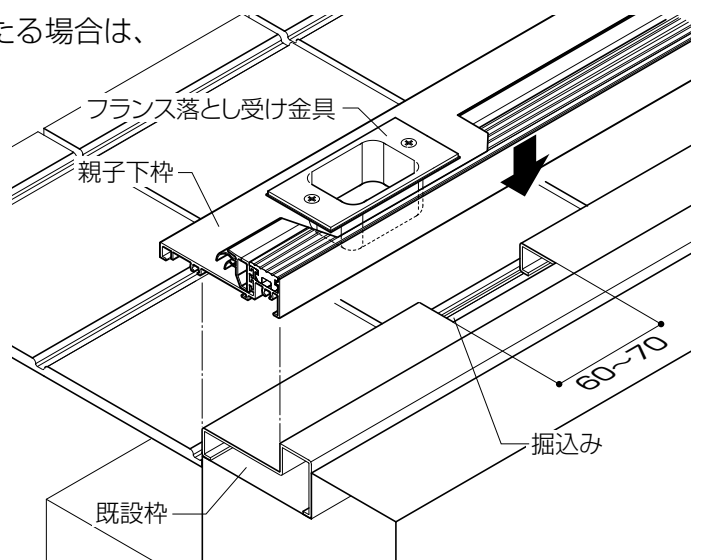
⑦本体・子扉部分の下枠ゴムカバーを取外し、下枠の取付け穴から既設下枠にφ 3.5の下穴をあけて、皿ドリルねじφ 4 × 40で既設枠に固定します。
既設下枠が、コンクリートの場合は、皿セルフタッピンアンカーねじφ 4 × 32で固定します。

●下枠側



〔親子の場合〕

●フランス落とし受け金具の突起部が既設枠に当たる場合は、あらかじめ既設枠に掘込みを入れておきます。



⑧下枠のたわみ防止のため、下枠と既設枠とのすき間にかい物を入れます。

お願い

※親子納まりの場合は、下枠のフランズ落とし受け金具部分の強度確保のため、受け金具の両脇にかい物を入れてください。

⑨既設枠と新しい下枠の接合面（室内側）にシーリング材を充てんします。

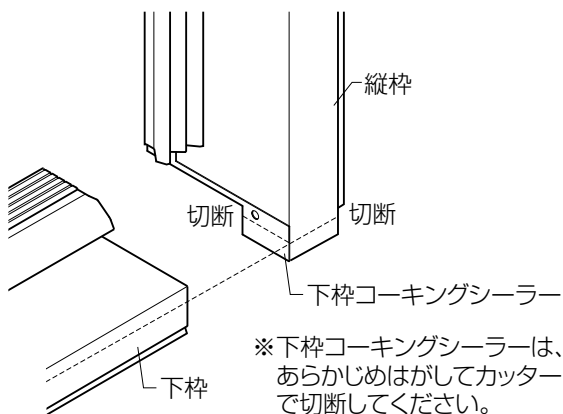
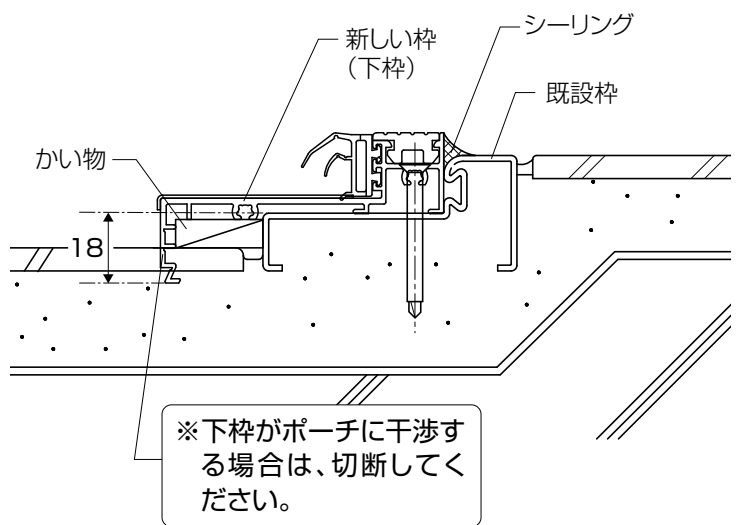
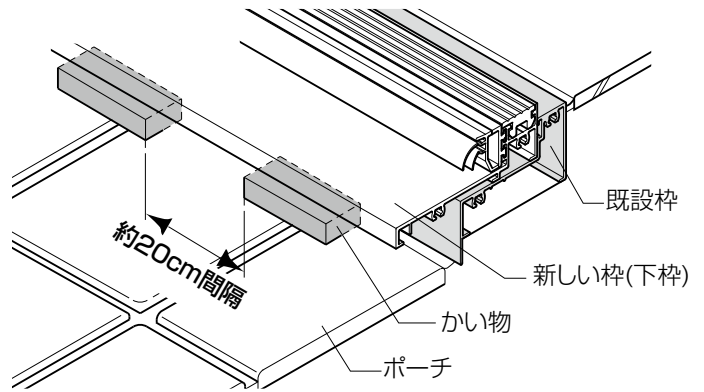
▲注意

●外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の個所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。

※ポーチと下枠の段差が大きい場合は、下枠補強アングル（別途有償品）を枠組立て時に取付けてください。（P66～P67）

※ポーチと下枠の段差が小さい場合（18mm以下）は、下枠がポーチと干渉するおそれがありますので、確認のうえ干渉する場合は、切断してください。

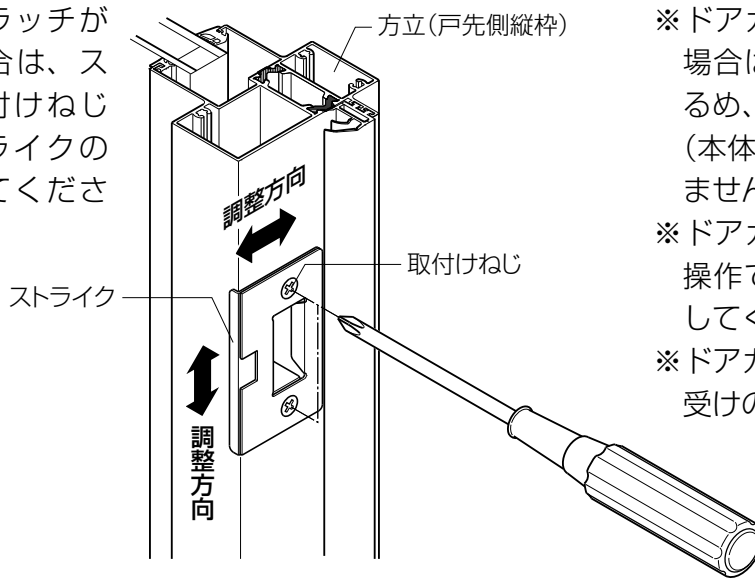
高断熱仕様の場合は、縦枠の段差寸法が異なりますので、縦枠も切断してください。



■建付け調整

■ストライクの調整

●ドアロックのラッチがかからない場合は、ストライクの取付けねじを緩め、ストライクの位置を調整してください。

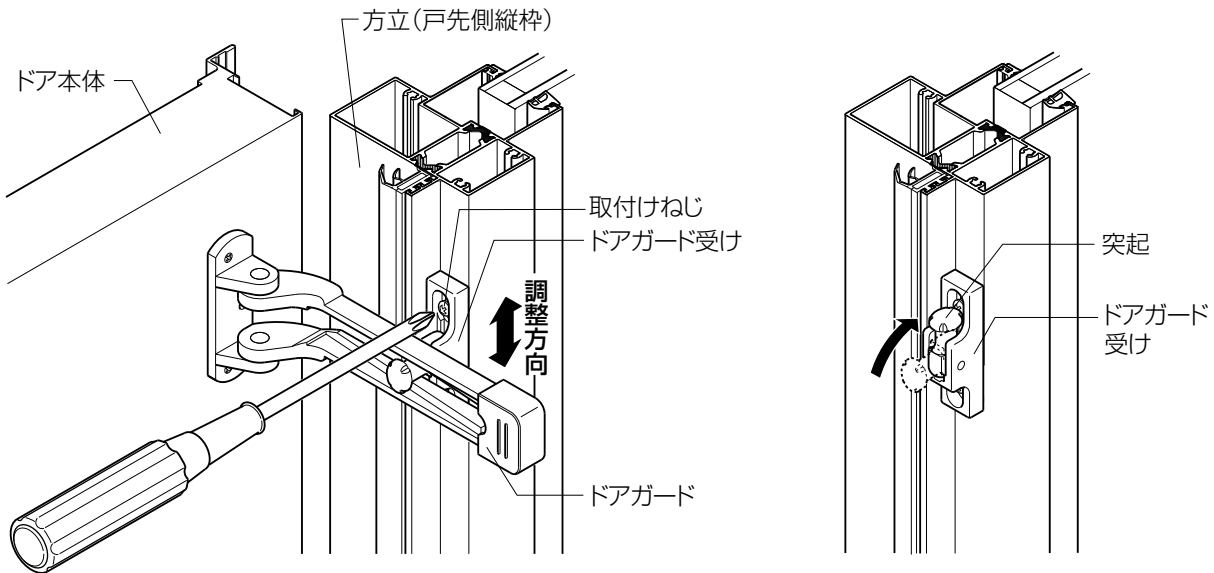


■ドアガードの調整

※ドアガードが受けにかからない場合は、受けの取付けねじをゆるめ、位置を調整してください。(本体側のドアガードは調整できません。)

※ドアガードアームがスムーズに操作できるか確認してから固定してください。

※ドアガードを使用しない場合は、受けの突起を起こしてください。



■フランス落とし受けの調整

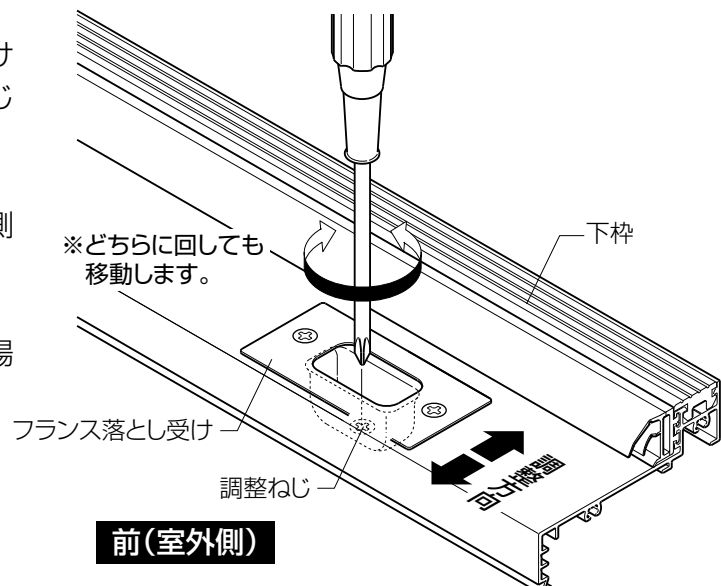
※子扉のロット棒がフランス落とし受けにかからない場合は、受けの調整ねじを緩め、位置を調整してください。

①子扉を開けます。

②ツボ内部の調整ねじを回すと、室外側に4mmまで受けが動きます。

※上枠(無目)・下枠共に調整できます。

※下枠の受けの中に砂などがたまった場合は、清掃してください。



■ドア本体の調整（高断熱仕様）

※ドア本体をつり込んだ後、枠とドア本体のすき間が納まり図通りになっているか確認してください。納まり図通りになっていない場合は、以下の手順ですき間を調整してください。

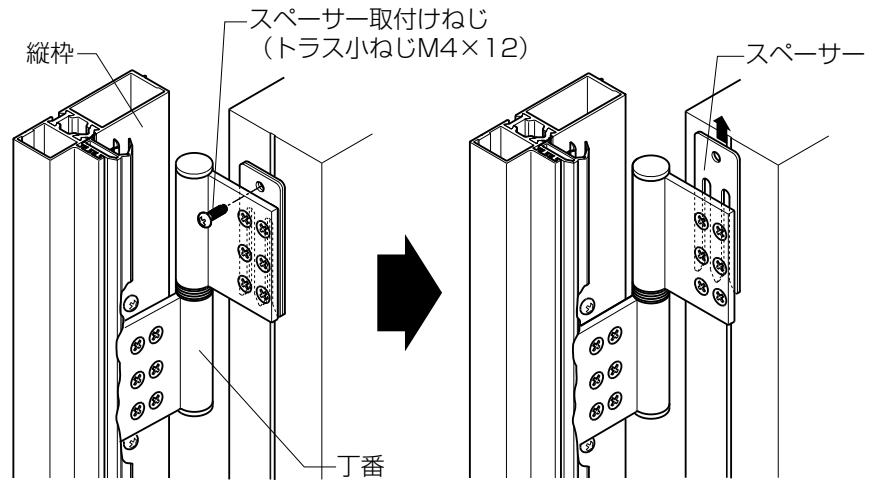
〔左右方向のすき間の調整〕

※スペーサーはあらかじめ本体に取り付けてあります。

- ①スペーサー取付けねじを外します。
- ②丁番取付けねじ（6本）をゆるめます。
- ③スペーサーを引き抜いて外します。
- ④丁番ねじを締め付けます。

※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mmドア本体がつり元側へ寄ります。

※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。



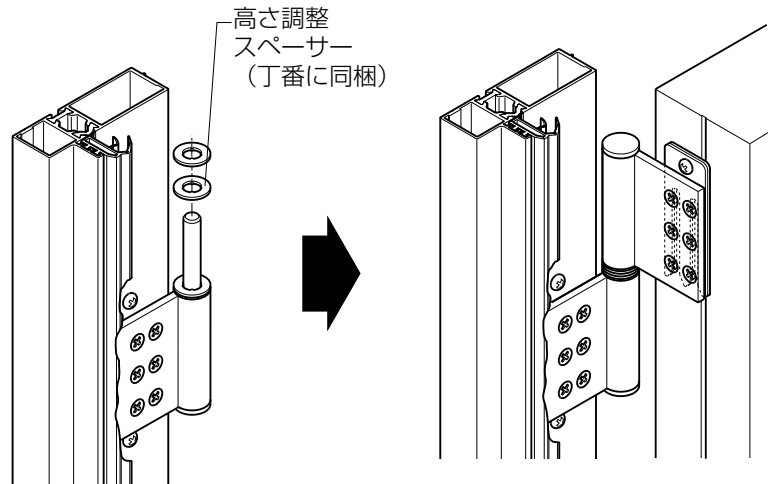
▲ 注意

- 丁番取付けねじを全部外さないでください。本体が脱落します。

〔上下方向のすき間の調整〕

●ドアを枠から外し、丁番の軸に付属の高さ調整スペーサー（丁番に同梱）を入れます。

※1枚入ると1.5mm、2枚入ると3mmドアが上に上がります。

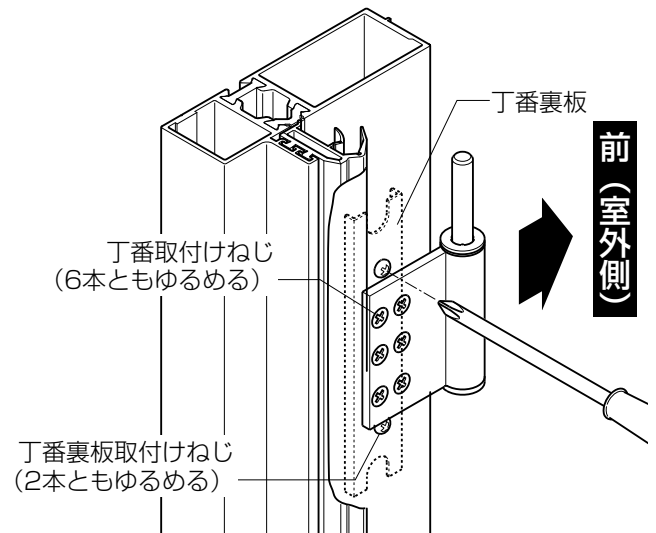


〔前後(室内・室外側) 方向の調整〕

①ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ（6本）と丁番裏板取付けねじ（2本）をゆるめます。

お願い
※取付けねじ全部を外さないでください。丁番裏板が脱落します。

- ②丁番裏板ごと前に出すと室外側に1.5mm、後にずらすと-1.5mmまでドア本体が動きます。
- ③①でゆるめた丁番取付けねじと丁番裏板取付けねじを締め付けます。



■ドア本体の調整（断熱仕様（k2・k3）・断熱仕様（k4）・アルミ仕様）

※ ドア本体をつり込んだ後、枠とドア本体のすき間が納まり図通りであるか確認してください。

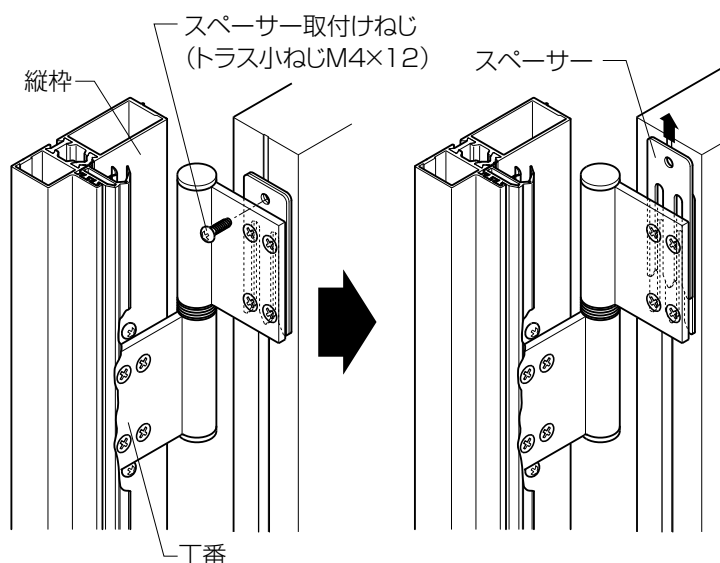
納まり図通りでない場合は、以下の手順ですき間を調整してください。

〔左右方向のすき間の調整〕

※ スペースはあらかじめ本体に取付けてあります。

- ① スペース取付けねじを外します。
- ② 丁番取付けねじ（4本）を緩めます。
- ③ スペースを引き抜いて外します。
- ④ 丁番ねじを締め付けます。

※ スペースを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mm ドア本体がつり元側へ寄ります。
 ※ スペースを追加すると、戸先側へ寄ります。



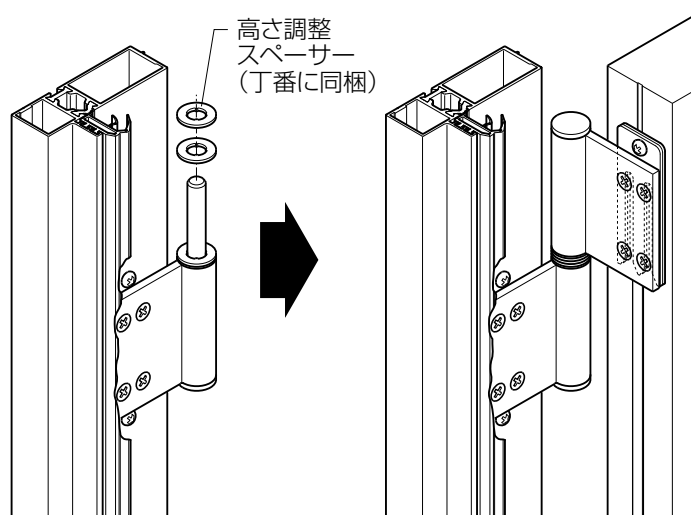
▲ 注意

- 丁番取付けねじを全部外さないでください。本体が脱落します。

〔上下方向のすき間の調整〕

● ドアを枠から外し、丁番の軸に付属の高さ調整スペーサー（丁番に同梱）を入れます。

※ 1枚入れると1.5mm、2枚入れると3mm ドアが上に上がります。



〔前後（室内・室外側）方向の調整〕

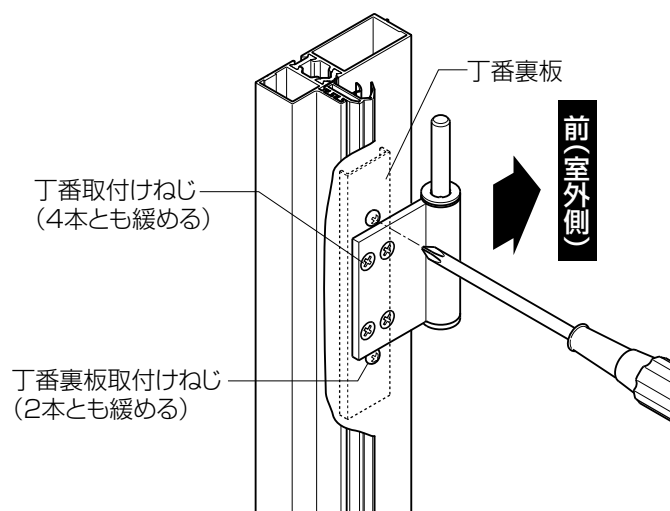
① ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ（4本）と丁番裏板取付けねじ（2本）を緩めます。

お願い

- ※ 取付けねじを全部外さないでください。丁番裏板が脱落します。

② 丁番裏板ごと前に出すと室外側に1.5mm、後にズラすと-1.5mmまでドア本体が動きます。

③ ①で緩めた丁番取付けねじと丁番裏板取付けねじを締め付けます。



■内額縁の取付け

※内額縁は、(大)・(小) 2種類あります。現場の納まりに合わせて
選択した部材を取付けてください。

1 内額縁の切詰め

①現場の納まりに合わせて、内額縁を必要な長さに切詰めます。

※縦額縁は右図のように、長めに設定されています。

②既設の室内額縁の納まりに合わせて、
内額縁を必要に応じて切断します。

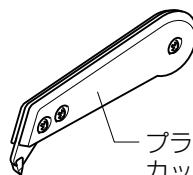
【切断方法1】…カッター・ペンチを 使用する場合

●内額縁の裏面にある溝から、納まりに
合う位置の溝にカッター（プラスチッ
クカッター等）で部材全長に溝を切込
みます。この時アルミ型材の厚みを6
割以上切込んでください。

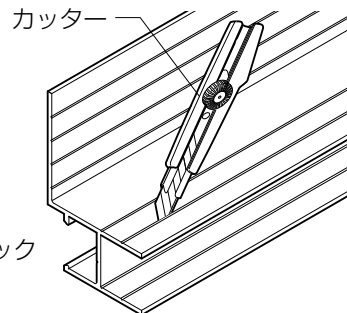


●ペンチ（モンキーレンチ等）で下図のように3段階の
角度にわけて折り曲げます。

①段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げます。
同じように②段目の角度まで部材の端から端まで折り
曲げてから、③段目まで折り曲げて切離します。木目
色の場合、最後に木目シート1枚でつながっている状
態になってからカッターで木目シートを切離してくだ
さい。



プラスチック
カッター



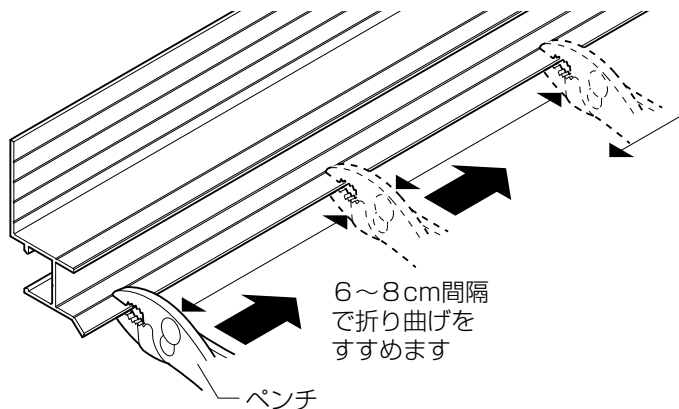
カッター

21mm

お願い

※無理に折り曲げたり、部分的に1度で折り曲げないでください。ひずみの発生や、木目色の場合木目シートがはがれるおそれがあります。折り曲げがかたい場合はもう一度カッター等で溝を深く切込みなおしてください。

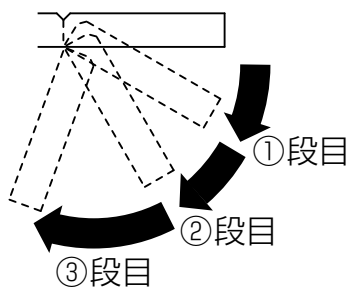
※サンダー等、熱を発する刃物で切断しないでください。木目シートやアルミ表面が焼けるおそれがあります。



6~8cm間
隔で折り曲げを
すすめます

ペンチ

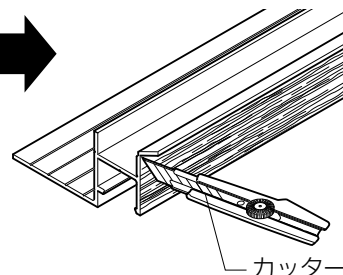
3段階の角度にわけて部材の
端から端まで折り曲げます



①段目

②段目

③段目



カッター

【切断方法2】…丸のこを使用する場合

●納まりに合う位置に印を付け、丸のこで切断します。

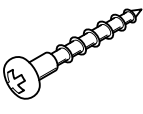

2 内額縁の取付け

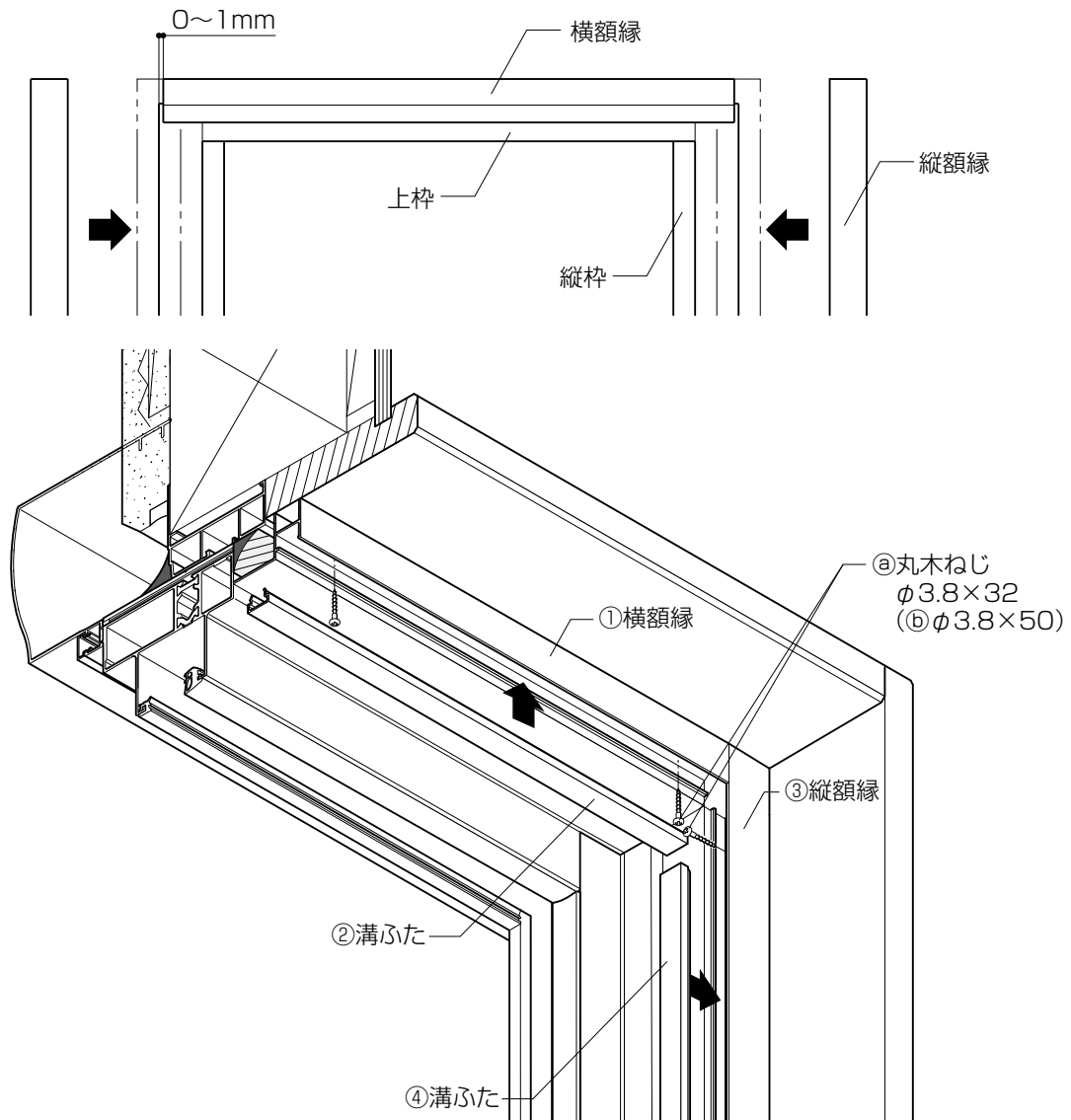
※㉓丸木ねじφ 3.8 × 32 (㉔φ 3.8 × 50) で取付けます。

- ①既設枠が隠れるようにし、下図の位置に横額縁を取付けます。
- ②横額縁に溝ふたを取付けます。
- ③既設枠が隠れるようにし、切欠き部を横額縁にはめて縦額縁を取付けます。
- ④縦額縁に溝ふたを取付けます。

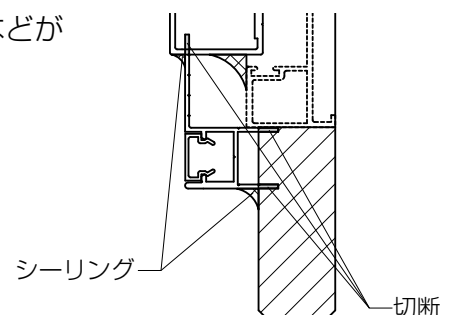
※溝ふたは完全にはめ込んだことを確認してください。

■使用ねじ一覧

㉓	㉔
内額縁 (小) 取付け用	内額縁 (大) 取付け用
	
丸木ねじφ 3.8 × 32	丸木ねじφ 3.8 × 50



※内額縁を切断し、切り口が目立つ場合や、既設の室内額縁などが反っている場合は、シーリングで隠してください。




■外額縁（小）の取付け

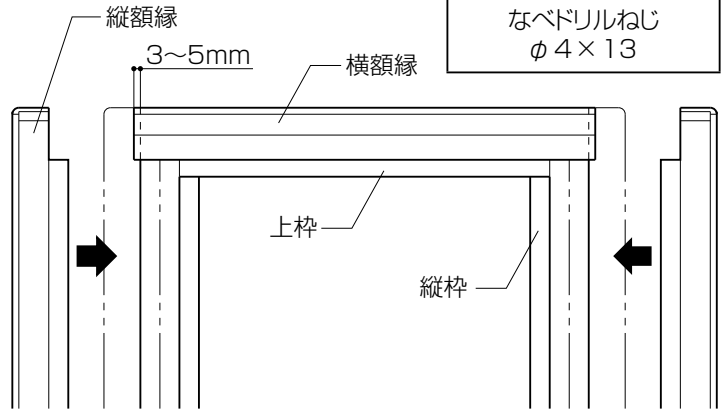
※外額縁は、大・中・小の3種類あります。現場の納まりに合わせて部材を選択し、取付けてください。

※外額縁は、本体を吊り込んだ後に取付けてください。順序を間違えると取付けができなくなります。

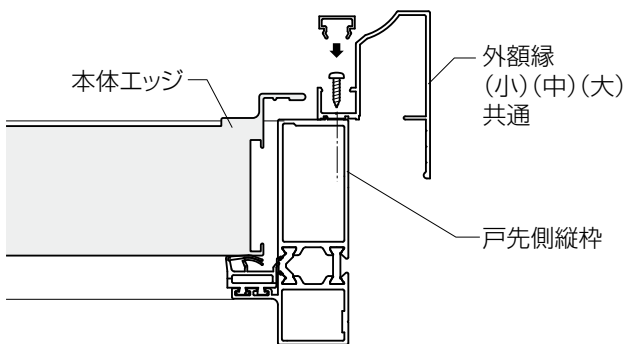
■使用ねじ一覧

①
額縁取付け用

なべドリルねじ φ4×13

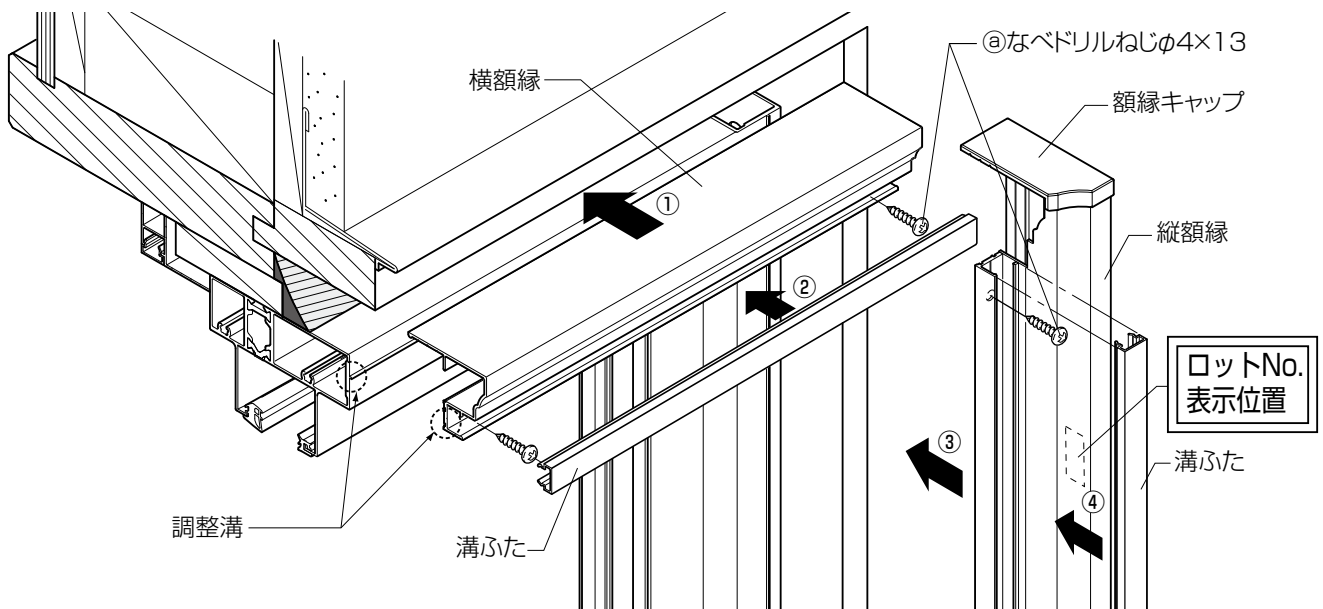
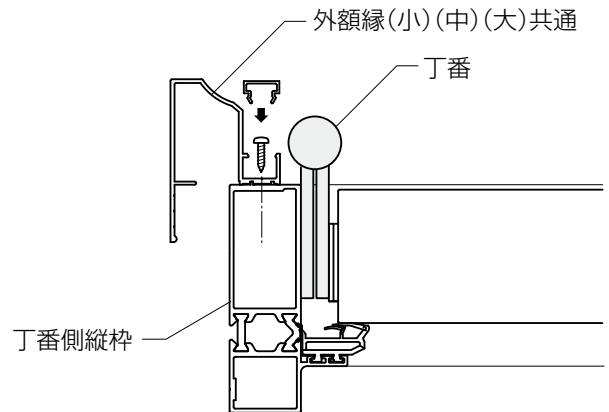
- ①現場の納まりに合わせて額縁を切詰めます。
※φ4×13なべドリルねじで取付けます。
- ②納まりに合う調整溝を選び、下図の位置に横額縁を取付けます。
※取付け位置が違ると、縦額縁が取付けられません。
- ③横額縁に溝ふたを取付けます。
- ④納まりに合う調整溝を選び、切欠き部を横額縁にはめて縦額縁を取付けます。
- ⑤縦額縁に溝ふたを取付けます。



※片開きの場合、戸先側縦枠に取付ける額縁は、本体エッジが当たらない位置に取付けてください。



※丁番側に取付ける額縁は、丁番が当たらない位置に取付けてください。



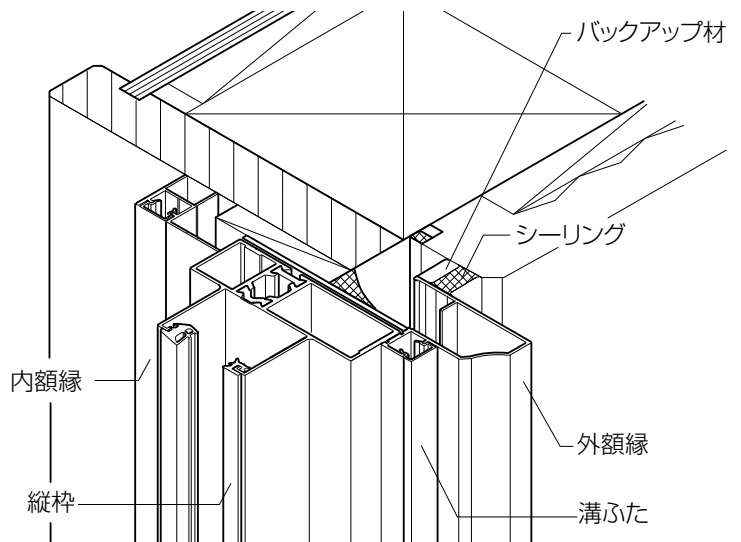
■外周部のシーリング処理

●雨仕舞いのため、外周部にシーリング材を充てんします。

※下枠部・外額縁下部については、全面シーリングをせずに、両端部から水が抜けるようすき間を確保してください。


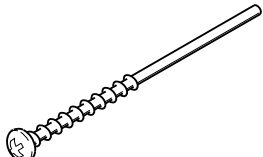
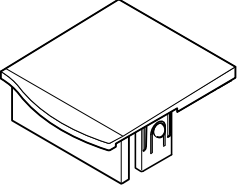


▲注意

●外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の個所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。



■外額縁 (中) (大) の取付け

■使用ねじ一覧

①	②	③	④	⑤
額縁取付け用	額縁組立て用	額縁キャップ	穴ふさぎシール (φ15)	プッシュボタン
				
なべドリルねじ φ4×13	なべタッピンねじ φ4×90			

1 切詰め加工

①外額縁 (横)、溝ふた (横) の切断寸法は、下表の切断寸法計算式より算出して切詰めてください。

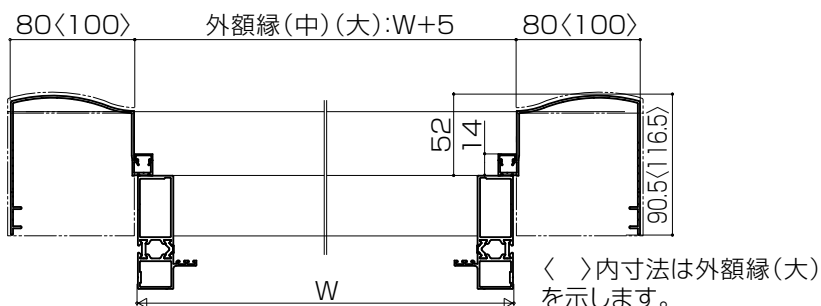
■切詰寸法計算式

部材名	切断寸法計算式
外額縁 (中)・(大)	$W + 5$
溝ふた	$W + 5$

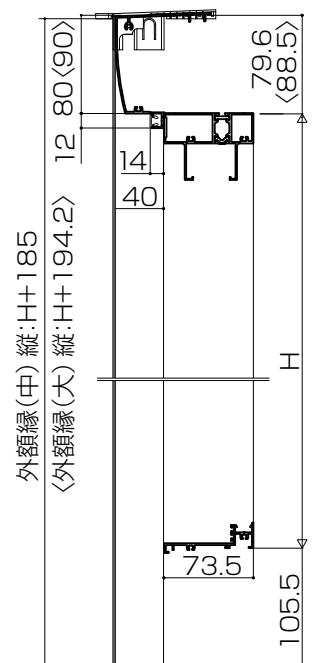
※外額縁 (縦)、溝ふたは、現場の納まりに合わせて切詰めてください。

※出荷時は、ドア下枠下端より 105.5mm 出しています。

●横断面図



●縦断面図

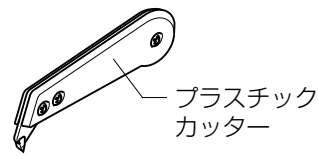


< >内寸法は外額縁(大)を示します。

②外壁の納まりに合わせて、外額縁を必要に応じて切断します。

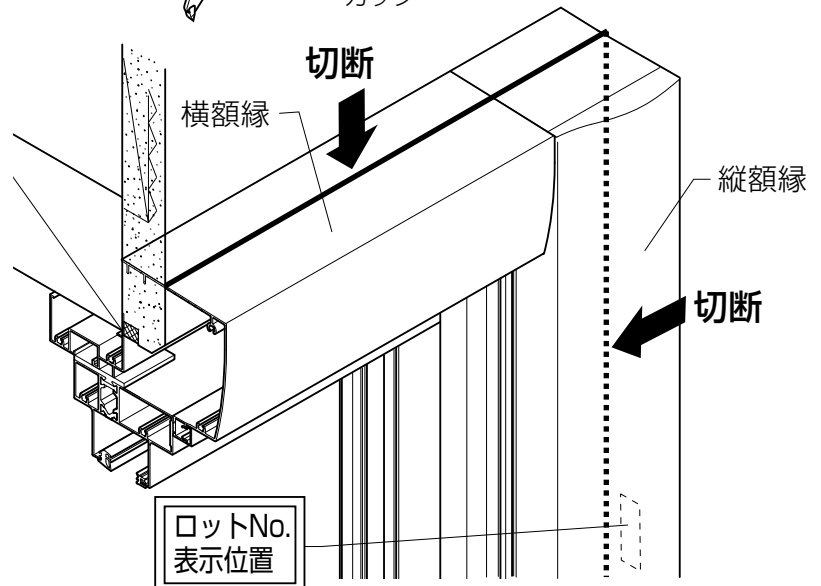
【切断方法1】…カッター・ペンチを使用する場合

●外額縁の裏面にある溝から、納まりに合う位置の溝にカッター（プラスチックカッター等）で部材全長に溝を切込みます。この時アルミ型材の厚みを6割以上切込んでください。



●ペンチ（モンキーレンチ等）で下図のように3段階の角度にわけて折り曲げます。

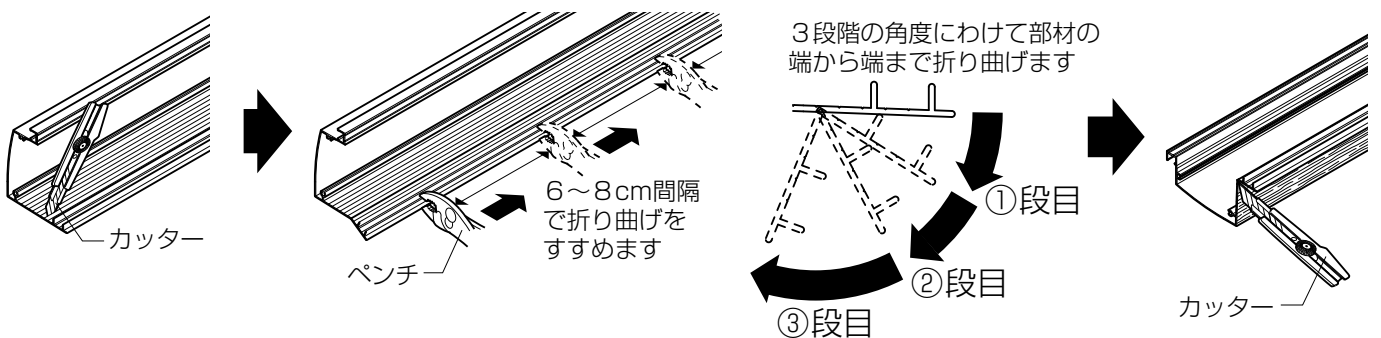
①段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げます。同じように②段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げてから、③段目まで折り曲げて切離します。木目色の場合、最後に木目シート1枚でつながっている状態になってからカッターで木目シートを切離してください。



お願い

※無理に折り曲げたり、部分的に1度で折り曲げないでください。ひずみの発生や、木目色の場合木目シートがはがれるおそれがあります。折り曲げがかたい場合はもう一度カッター等で溝を深く切込みなおしてください。

※サンダー等、熱を発する刃物で切断しないでください。木目シートやアルミ表面が焼けるおそれがあります。



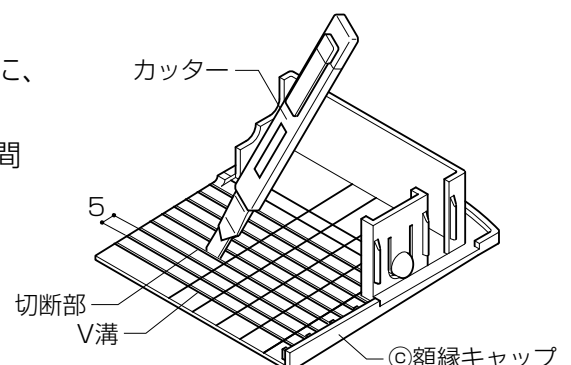
【切断方法2】…丸のこを使用する場合

●納まりに合う位置に印を付け、丸のこで切断します。

2 額縁キャップの切断

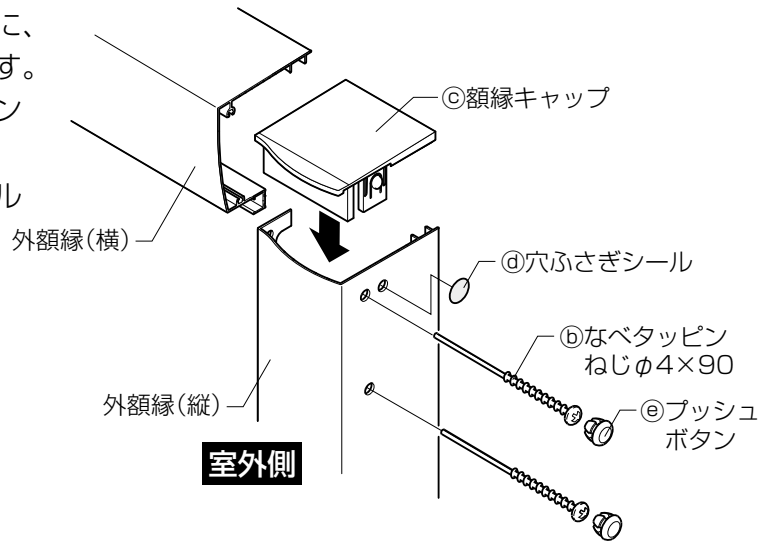
●納まりに合わせて切詰めた外額縁と同じ位置にくるV溝に、カッターで数回切れ目を入れ、カットしてください。

※額縁キャップには、カッターで切りやすいように5mm間隔でV溝が入っています。



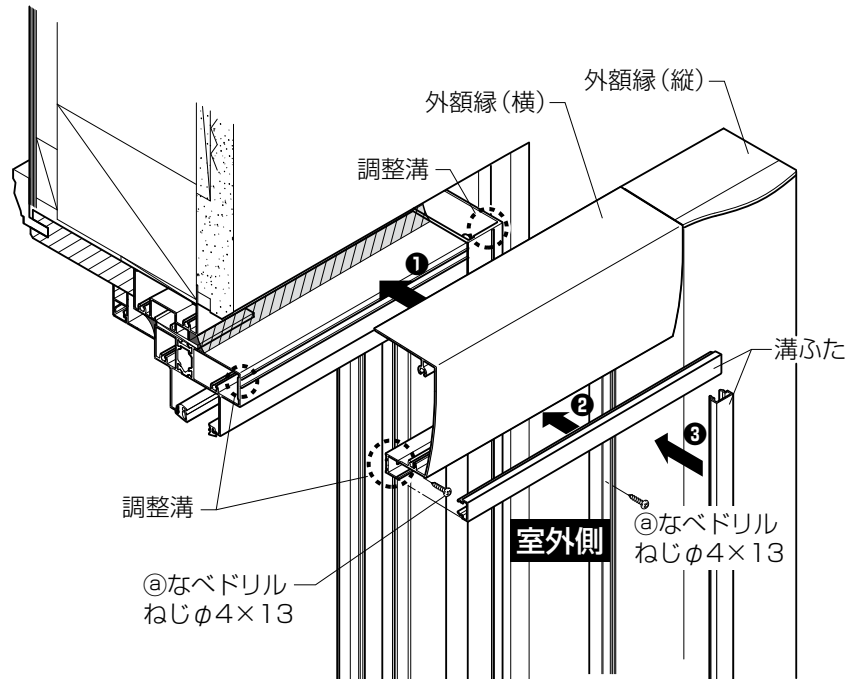
3 外額縁の組立て

- ①外額縁（縦）、（横）、㊸額縁キャップとともに、
㊹なベタッピンねじ $\phi 4 \times 90$ で組立えます。
- ②組立て後、取付ガイド穴に㊺プッシュボタン
を取付けてください。
- ③額縁キャップの固定穴に、㊻穴ふさぎシール
を張付けてください。



4 外額縁の取付け

- ①組立てた外額縁を、枠の調整溝に
差込み、㊼なベドリルねじ $\phi 4 \times 13$
で枠に取付けます。
 - ②溝ふたを外額縁（縦）、（横）に取
付けます。
- ※溝ふたは、完全にはめ込んだこと
を確認してください。



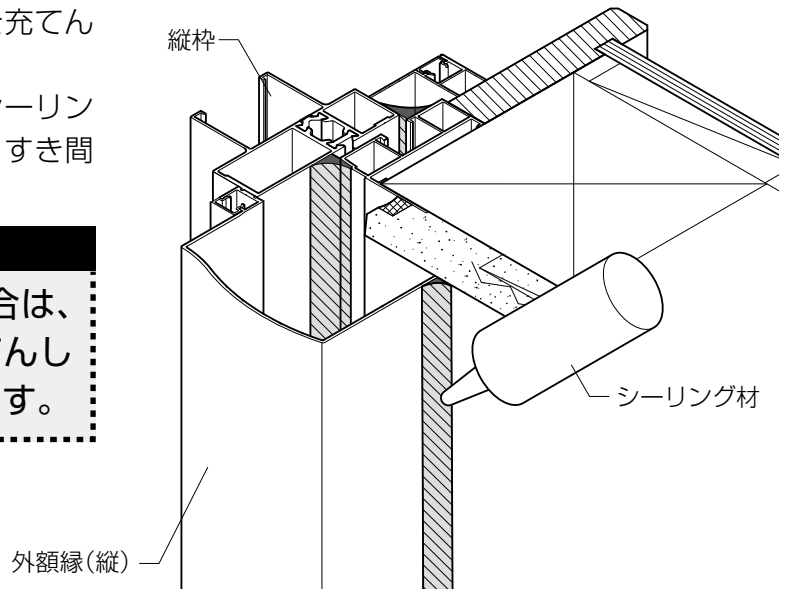
■外周部のシーリング処理

雨仕舞いのため、外周部にシーリング材を充てん
します。

※下枠部・外額縁下部については、全面シーリン
グをせず、両端部から水が抜けるようすき間
を確保してください。

▲注意

- 外壁工事を伴わない取付けの場合は、
指定の個所にシーリング材を充てんし
てください。漏水の原因となります。



■下柵補強アングル (高断熱) (別途有償品)・下柵補強アングル (別途有償品)・下柵フラット材 (別途有償品) の取付け

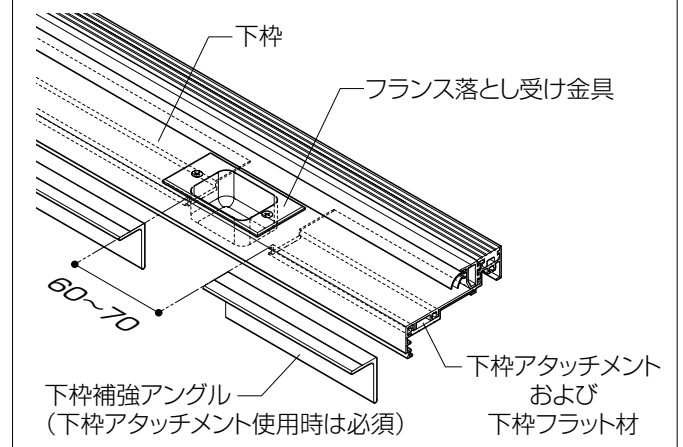
お願い

- ※下柵補強アングルは下柵とポーチ面の立上りが大きい納まりに使用してください。
- ※必ず柵組立てと同時に取付けてください。
- ※袖付きの柵に取付ける場合、順序を間違えると方立が固定できなくなります。下記の取付け手順に従ってください。

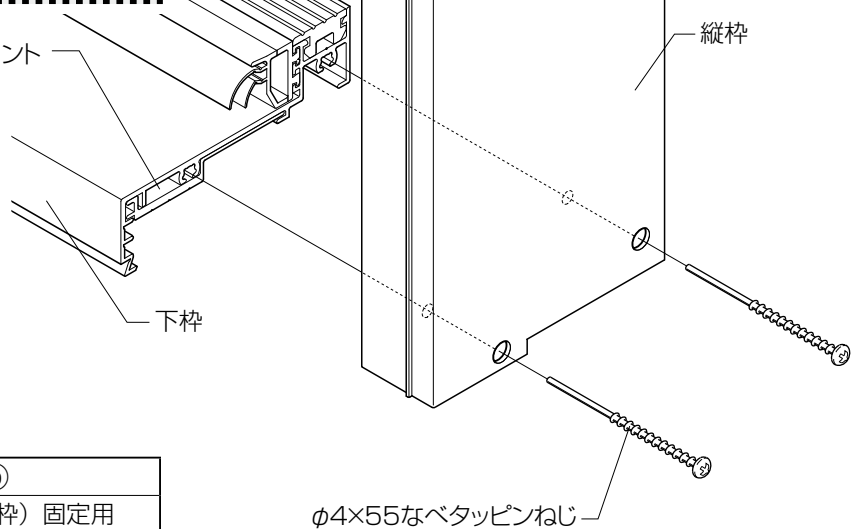
▲注意

- 親子・両開き納まりで下柵とポーチ面の立上りが大きい場合は、下柵のフランス落とし受け金具部分の強度確保のため、必ず取付けてください。下柵のフランス落とし受け金具部分が破損し、思わぬケガをするおそれがあります。

■親子・両開きの場合





下柵アタッチメント
および
下柵フラット材



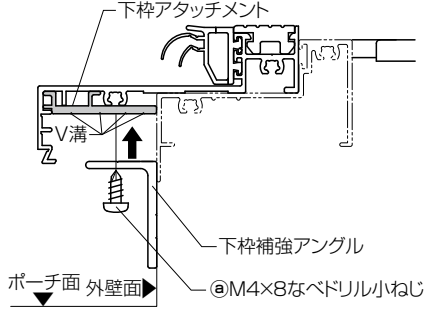
●下柵補強アングルの取付け

■使用ねじ一覧

①	②
下柵アタッチメント固定用	躯体 (既存柵) 固定用
	
M4 × 8 なベドリル小ねじ	φ 5 × 70 なベセルフタツピンアンカーねじ

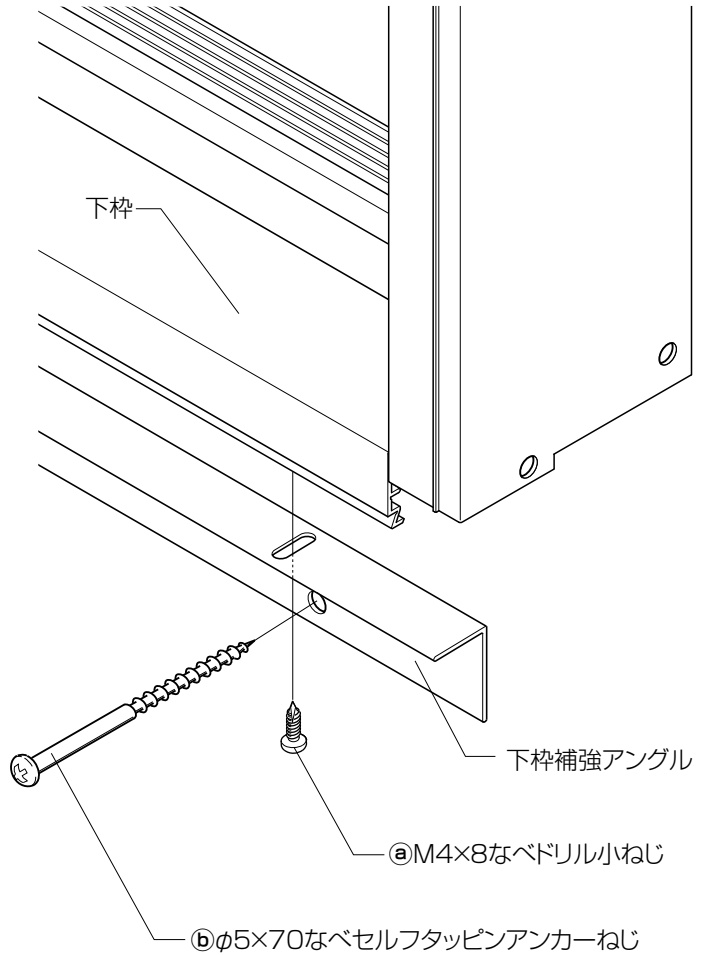
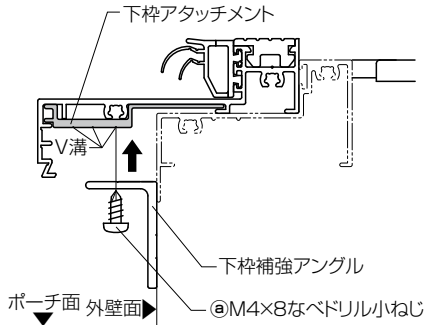
- ①下柵アタッチメントを下柵と同じ長さに切り詰め、下柵に差込みます。
※袖付き柵の場合は、方立を下柵に固定してから取付けてください。
※親子・両開きの場合、フランス落とし受け金具の突起部が下柵補強アングルと下柵アタッチメントに当たりますので、あらかじめ下柵補強アングルとアタッチメントを切断してください。
- ②下柵と縦柵を固定し、柵を組立てます。
- ③下柵補強アングルを下柵アタッチメントに合わせ、下柵アタッチメントにφ 3.5の下穴をあけます。
- ④① M4 × 8 なベドリル小ねじで下柵補強アングルを下柵アタッチメントに固定します。
※下柵補強アングルは、既存の下柵 (躯体) に固定する前に取付けてください。
※下柵補強アングルが外壁に密着する位置のV溝を選んで、下柵補強アングルを下柵アタッチメントに取付けてください。
- ⑤躯体外壁面にドリルでφ 4.3の穴をあけ、②φ 5 × 70 なベセルフタツピンアンカーねじで固定します。

■下枠補強アングルの取付け（高断熱仕様）



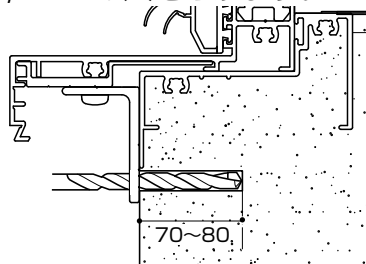
※高断熱仕様の場合は、アタッチメントの形状が異なります。

■下枠補強アングルの取付け （断熱仕様（k2・k3）・断熱仕様（k4）・アルミ仕様）



■なべセルフタッピンアンカーねじの取付け

ドリルでφ 4.3 の穴をあけます。



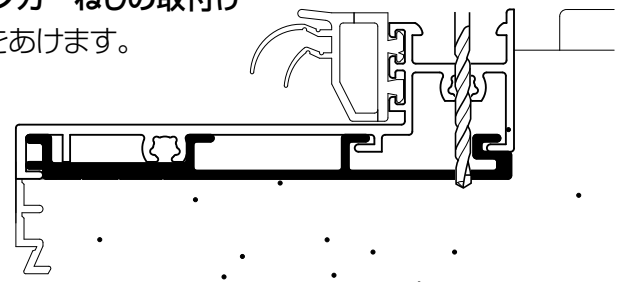
●下枠フラット材の取付け

■使用ねじ一覧

㊸
下枠取付け用
皿セルフタッピン アンカーねじ φ 4 × 32

■皿セルフタッピンアンカーねじの取付け

ドリルでφ 3.5 の穴をあけます。



①下枠フラット材を下枠に差込みます。

※袖付き枠の場合は、方立を下枠に固定してから取付けてください。

※親子枠・両開きの場合、フランス落とし受け金具の突起部が下枠フラット材に当たりますので、あらかじめ下枠フラット材を切断してください。

②下枠と縦枠を固定し、枠を組立てます。

③下枠取付け穴から下枠フラット材を貫通させてドリルでφ 3.5 の穴をあけ、㊸φ 4 × 32皿セルフタッピンアンカーねじで固定します。

※下枠補強アングルの使用も可能です。「■下枠補強アングルの取付け」を参照ください。

※下枠フラット材と下枠補強アングルを併用する場合は、下枠補強アングルのみ使用し、セット内同梱の下枠アタッチメントは使用しません。


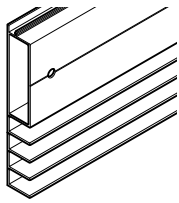
※高断熱仕様の場合は使用できません。

■下枠巾木（別途有償品）・下枠巾木（大）（別途有償品）の取付け

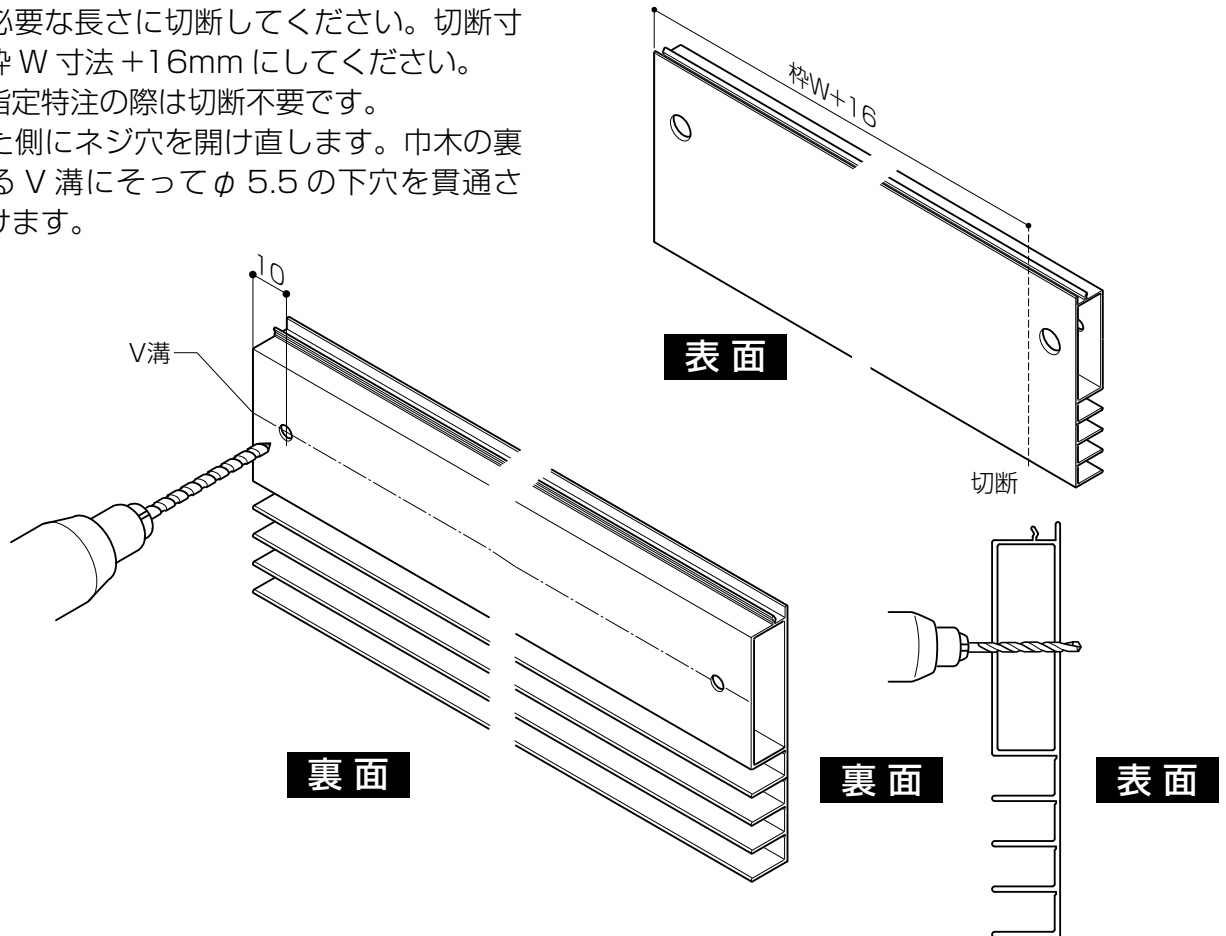
お願い

※巾木は、枠→本体吊り込み→（下枠補強アングル）→巾木→外額縁の順番で取付けてください。順序を間違えると取付けができなくなります。

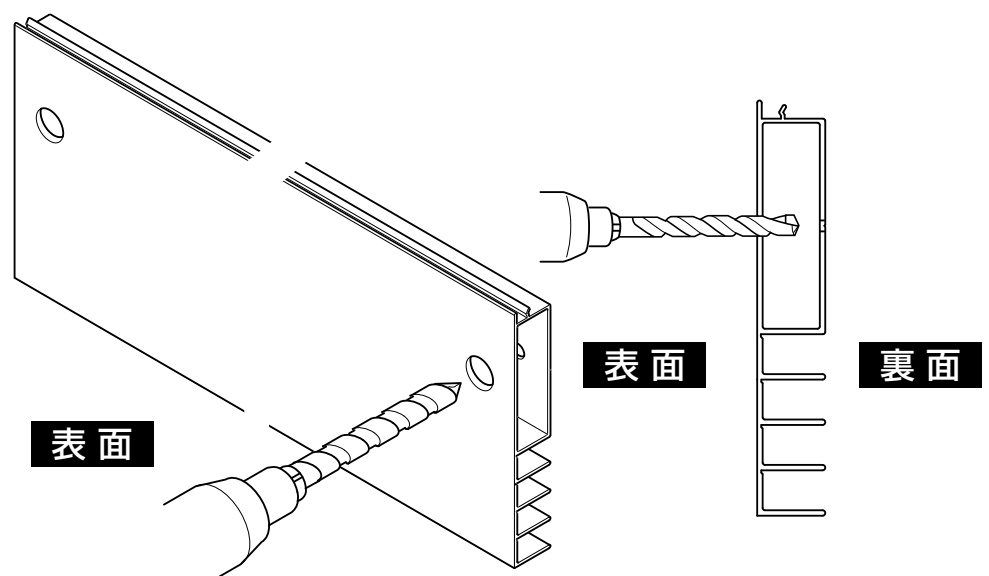
■使用ねじ・部品一覧

a	b
 <p>φ5×70 なべセルフタッピンアンカーねじ 2本</p>	 <p>巾木 1本</p>

- ①巾木を必要な長さに切断してください。切断寸法は、枠W寸法+16mmにしてください。
※寸法指定特注の際は切断不要です。
- ②切断した側にネジ穴を開け直します。巾木の裏面にあるV溝にそってφ5.5の下穴を貫通させて開けます。



- ③先ほど開けたφ5.5の貫通穴の表面側の穴のみ、ドリルでφ10に広げます。

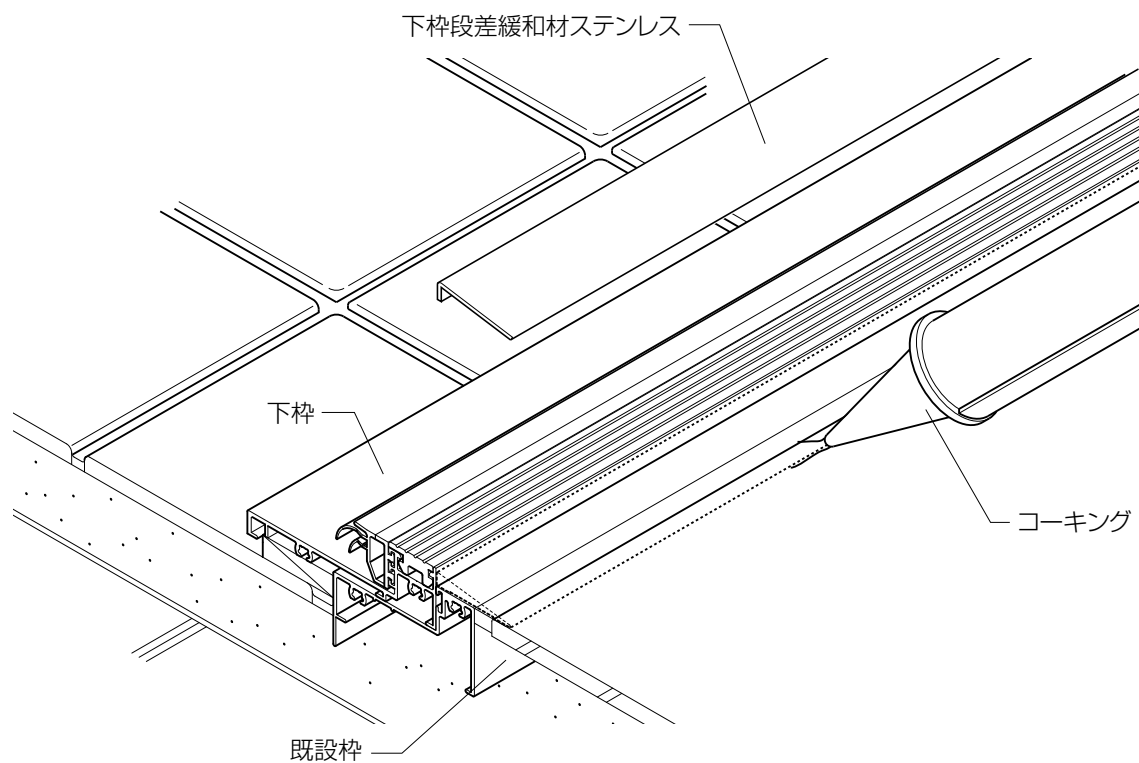


■下枠段差緩和材ステンレス（別途有償品）の取付け

お願い

※この部材は、新枠を取付けた際、室内側の土間の段差が大きい場合に使用してください。

- ①下枠段差緩和材ステンレスを現場の納まりに合わせて切詰めます。
- ②既設枠と下枠の段差部分にコーキングをします。
※コーキングは、下枠段差緩和材ステンレスの傾斜に合わせて塗布してください。
- ③下枠段差緩和材ステンレスをコーキングの上に固定します。



■下枠段差緩和材（別途有償品）の取付け

お願い

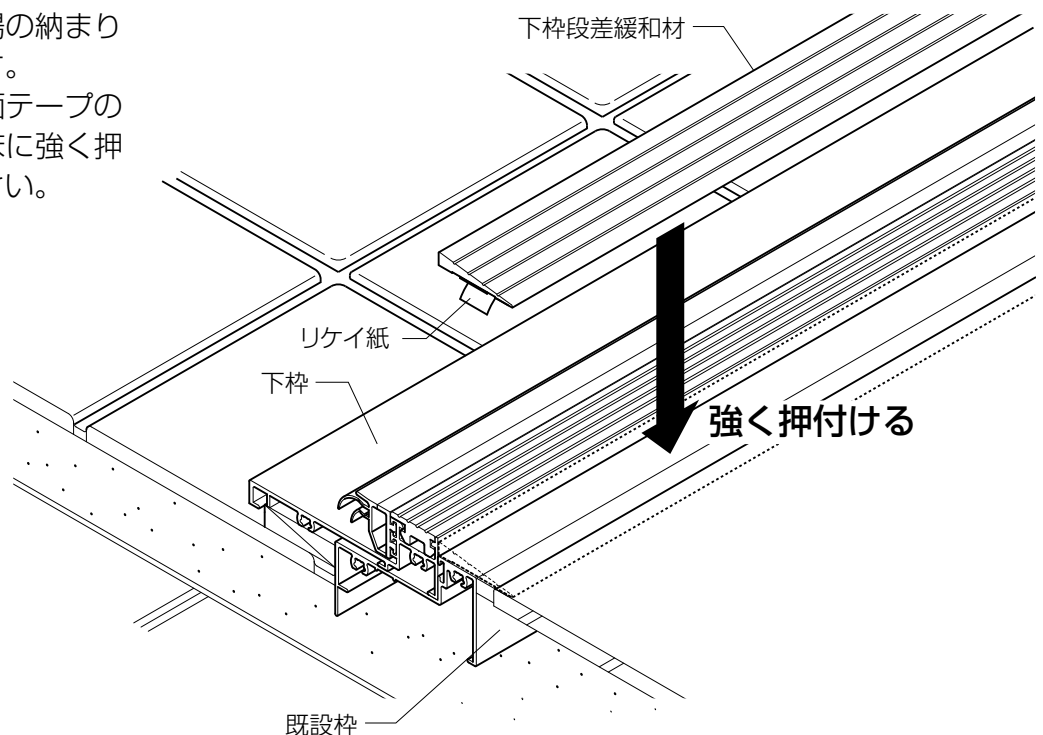
※この部材は、新枠を取付けた際、室内側の土間の段差が大きい場合に使用してください。

▲注意

●下枠段差緩和材の両面テープの接着力が低下し、下枠段差緩和材が外れ、思わぬケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。

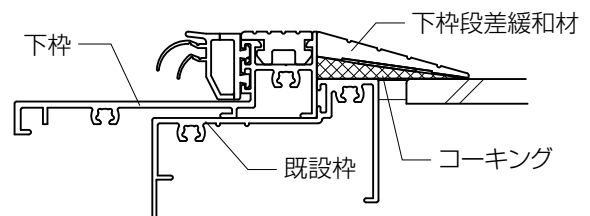
- ・張直しをしないでください。
- ・取付け前に床を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。
- ・床に強く押付け、必ず圧着してください。
- ・接着効果を確保するため、24時間放置してください。

- ①下枠段差緩和材を現場の納まりに合わせて切詰めます。
- ②下枠段差緩和材の両面テープのリケイ紙をはがし、床に強く押付けて圧着してください。



■新枠の下枠と床の段差が大きい時

- 段差部分にコーキングし、その上到下枠段差緩和材を固定してください。その際、下枠段差緩和材の両面テープのリケイ紙ははがしてください。

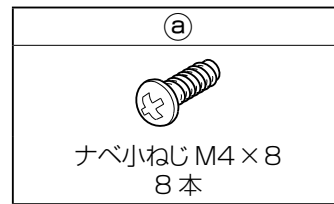


■袖飾りの取付け

お願い

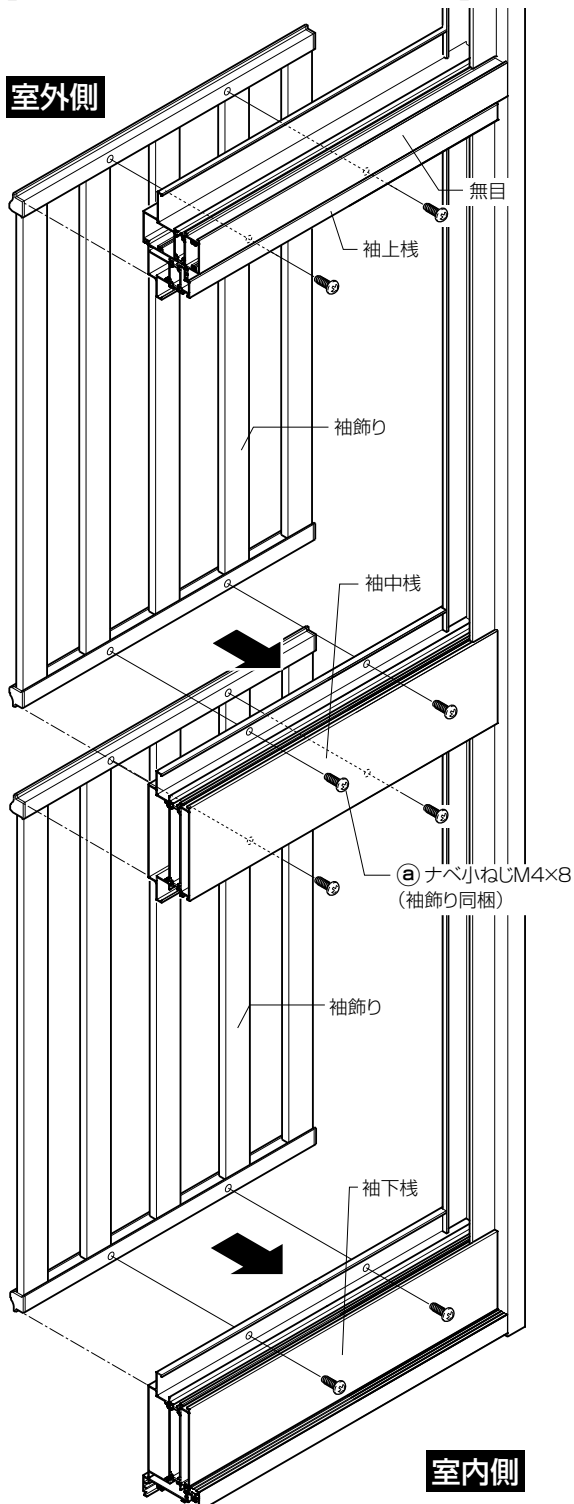
- ※ 枠の取付け説明書と合わせてご覧ください。
- ※ 袖飾りは、袖ガラスを入れる前に取付けてください。
- 順序を間違えると取付けができなくなります。

■使用ねじ一覧

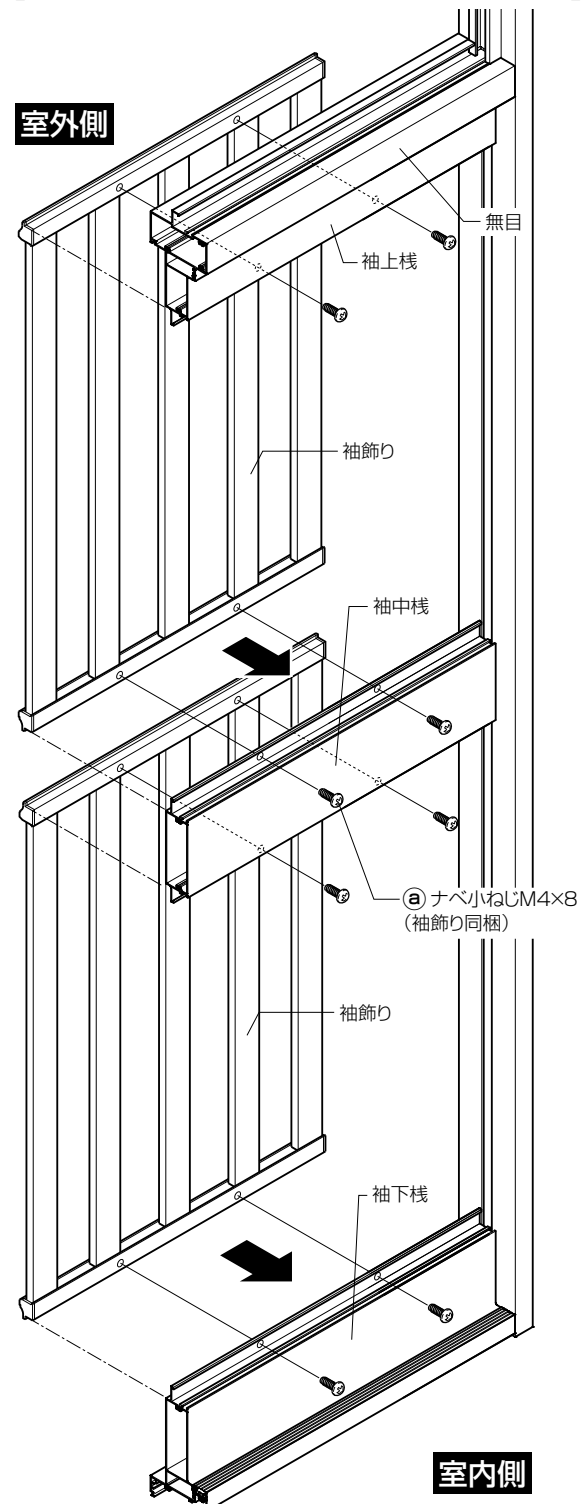


● 袖飾りを室外側から差込み、室内側からナベ小ねじ M4 × 8 で袖飾りを固定します。

【断熱仕様 (k2・k3) の場合】



【断熱仕様 (k4) ・アルミ仕様の場合】



■ランマガラス・袖ガラスの取付け

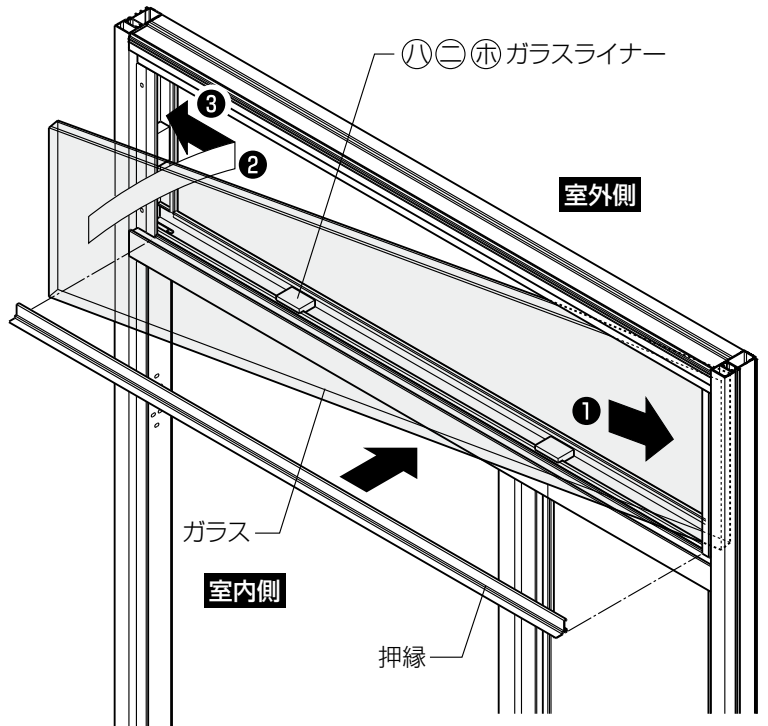
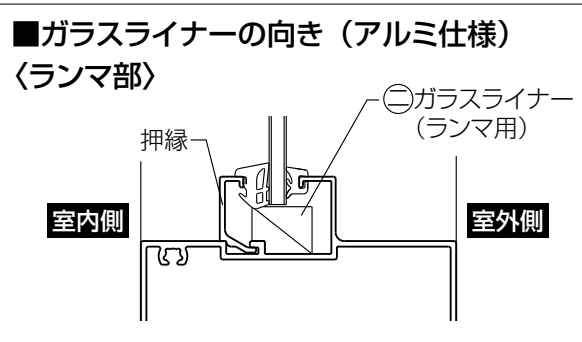
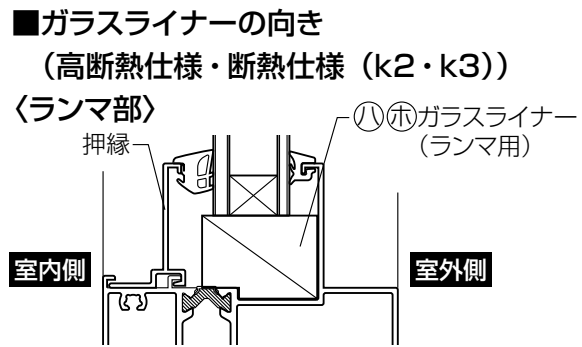
〔ランマ〕

●ガラスをライナーのないほうからけんどんで入れ、ガラスを持上げてガラスライナーをガラスの下に置きます。
 押縁を取付け、同梱の後付けビードで固定します。(アルミ仕様は後付けビード別梱)

※ガラスライナーの向きを確認してください。

※押縁の両端末にシーリング材を充てんしてください。

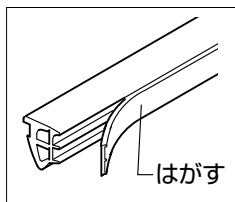
※断熱仕様 (k4) はランマパネルを使用。取付け方法はランマパネルに同梱の取付け説明書を参照してください。



〈後付けビードの使い方〉

(高断熱仕様・断熱仕様 (k2・k3))

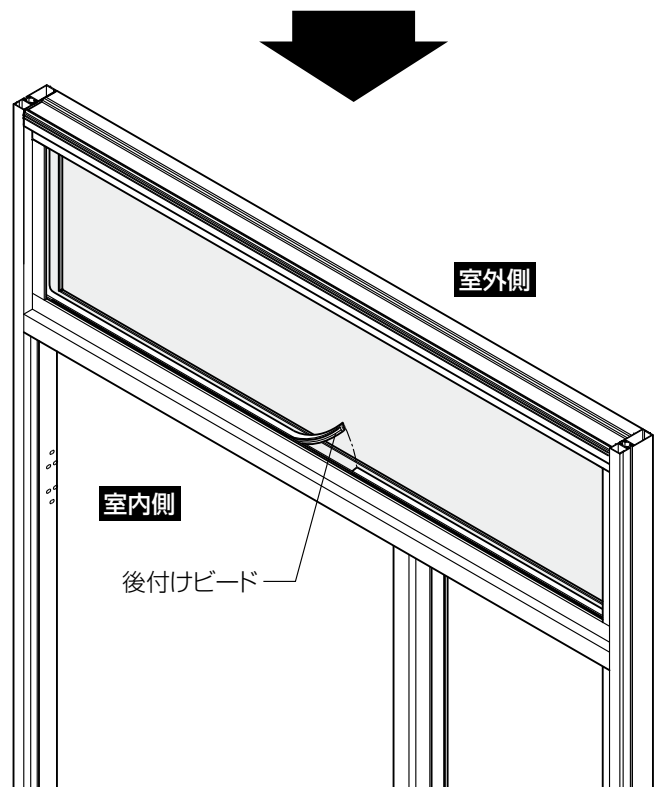
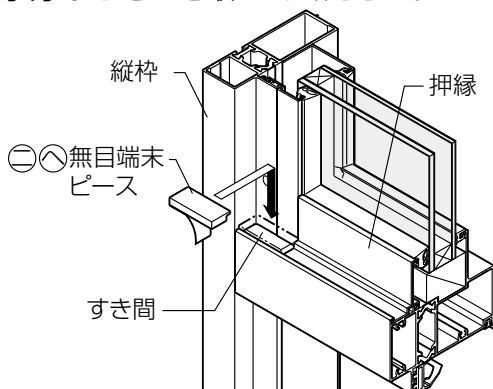
※同梱のビードは、18～22mm ガラス用です。納まりがきつい場合は、ビードが2段はくり式となっていますので、きつさに応じてはがしてください。



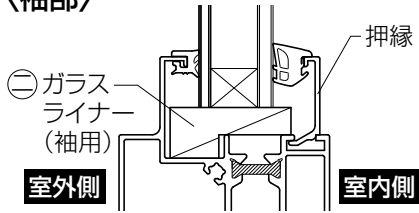
〈無目端末ピースの取付け〉

(高断熱仕様・断熱仕様 (k2・k3))

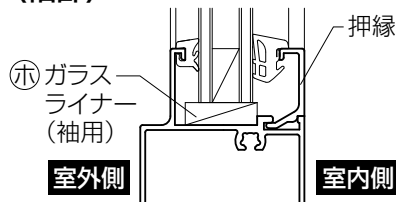
※押縁を取付けた後、縦枠とのすき間に無目端末ピースを張付けてください。張付け面は、ゴミ・水分などをふき取ってください。



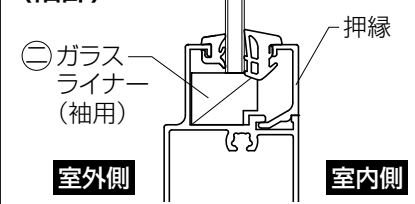
■ガラスライナーの向き
(断熱仕様 (k2・k3))
〈袖部〉



■ガラスライナーの向き
(断熱仕様 (k4))
〈袖部〉



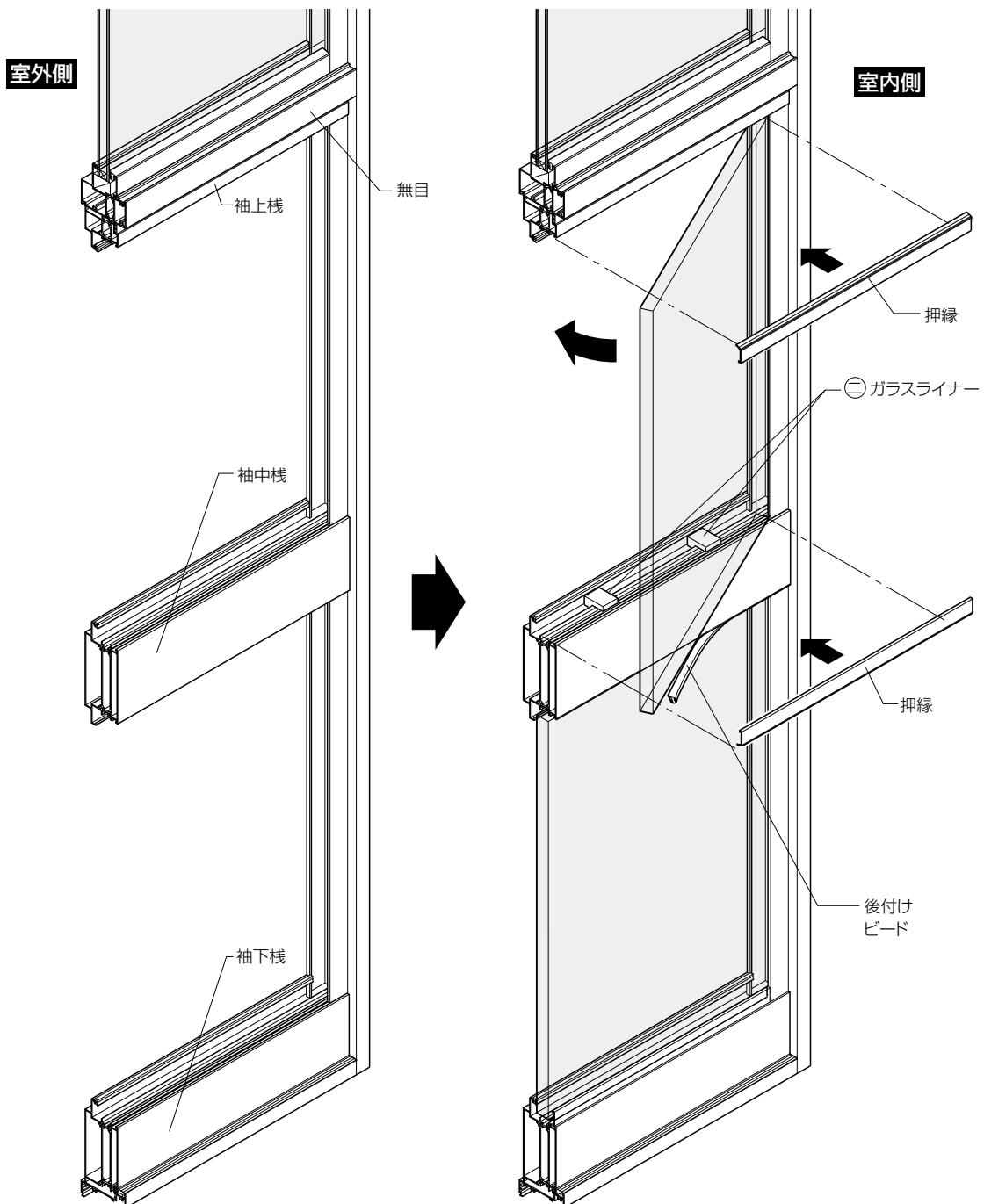
■ガラスライナーの向き
(アルミ仕様)
〈袖部〉



●押縁を取付け、ランマ部と同様に後付けビード (同梱) で固定します。

(断熱仕様 (k4)・アルミ仕様は後付ビード別梱)

※押縁の両端末にシーリング材を充てんしてください。



リフォームドア リシエント 取付けチェックポイント集

1. 現場チェック項目一覧
2. 現場調査前確認事項
3. 現場調査時確認事項
4. 取付け現場採寸時の確認事項

1. 現場チェック項目一覧

■現場チェック項目一覧

※製品を正しく取付けいただくために、下記項目を必ず確認してください。

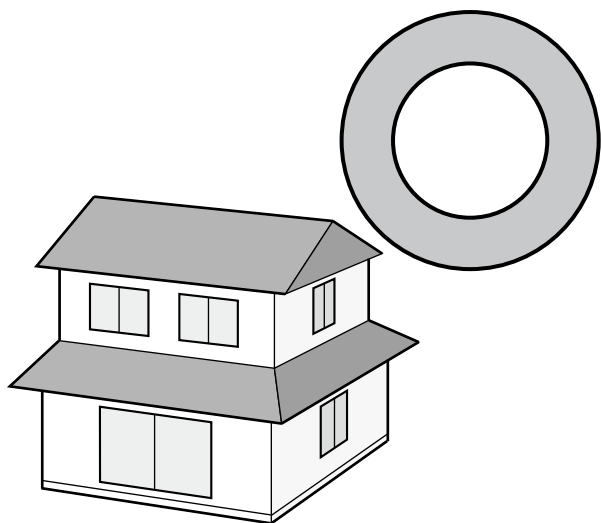
	チェック項目	チェック
事前に電話などで確認する項目	取付ける建物の構造は木造土間納まりですか？	はい・いいえ
現場にて確認する項目	取付ける柱への枠の取付けねじのかかり寸法は 20mm 以上ですか？	はい・いいえ
	取付ける柱が腐っていませんか？	はい・いいえ
	既設枠開口周り（外壁など）に漏水のあとはありませんか？	はい・いいえ
	取付ける柱への枠の取付けねじのねじ込みトルクは、1.2N・m（12kgf・cm）以上ですか？	はい・いいえ
	既設枠の開口寸法は、指定個所を測定した際製品の切詰め（対応）寸法範囲内ですか？	はい・いいえ
	周辺環境（軒天、入隅納まり）において、製品取付けに支障はありませんか？	はい・いいえ

2. 現場調査前確認事項

- リフォームドア リシエントは木造専用です。
- ※木造以外の躯体構造への取付けはできません。

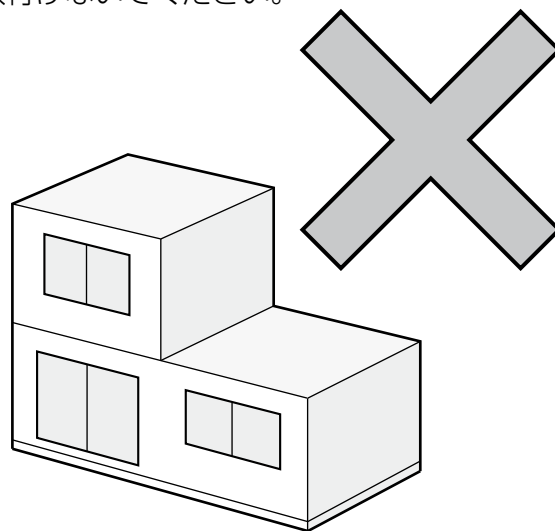
■取付け可

在来木軸工法、204 構造など木造納まりに取付けてください。



■取付け不可

鉄骨造、RC 造、ALC 納まりなどには取付けないでください。

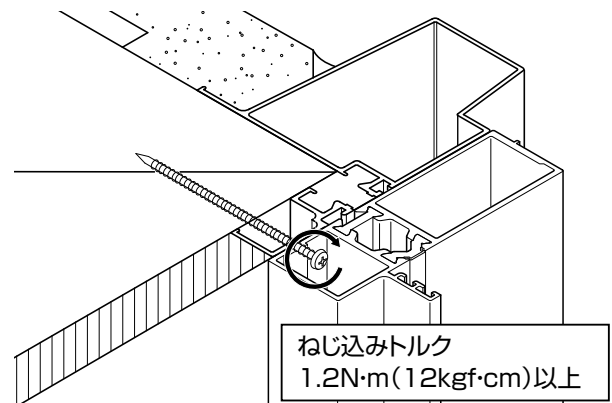
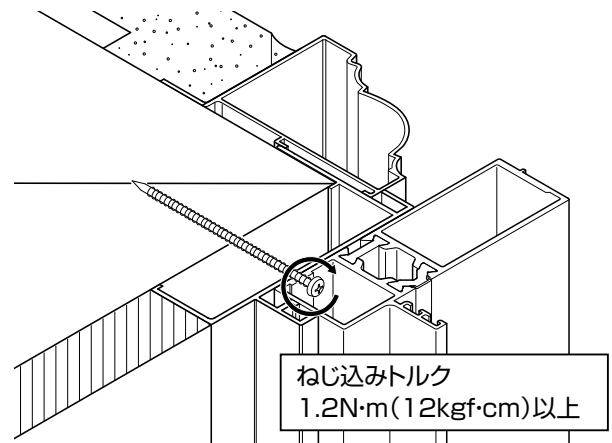
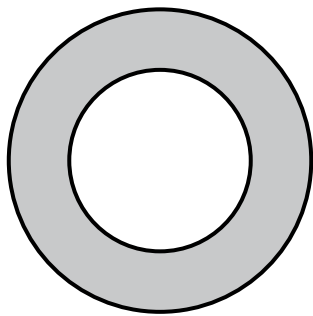


3-1. 現場調査時確認事項

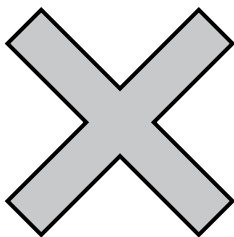
● 躯体取付けねじのねじ込みトルクが $1.2\text{N}\cdot\text{m}$ ($12\text{kgf}\cdot\text{cm}$) 以上あることを確認してください。

■ 取付け可 内付桢

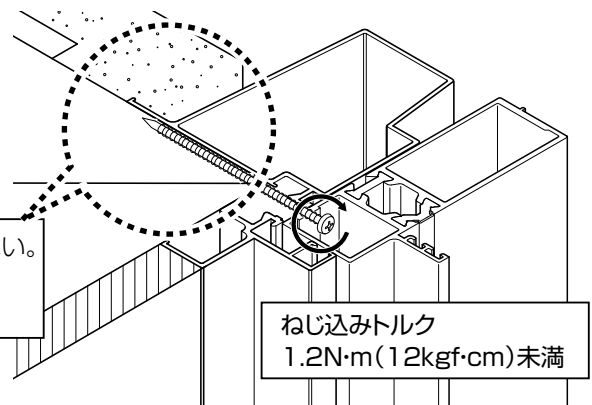
指定のねじ（なべタッピンねじ $\phi 4 \times 60$ ）が上記の柱位置で $1.2\text{N}\cdot\text{m}$ ($12\text{kgf}\cdot\text{cm}$) 以上のねじ込みトルクがあることを確認してください。



■ 取付け不可 半外付桢

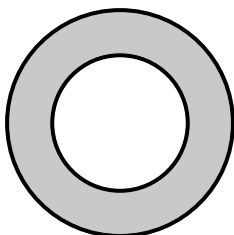


柱にねじがかかっていない。
柱が腐っている
ねじのかかりが少ない。

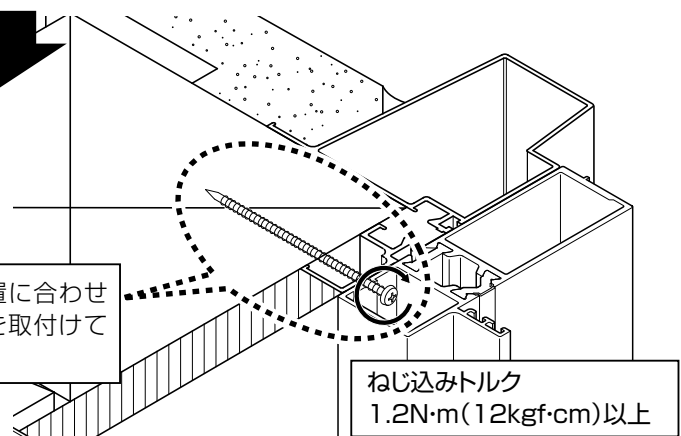


■ 取付け可 半外付桢

既設桢のリブを取除き、指定のねじ（なべタッピンねじ $\phi 4 \times 60$ ）が柱にかかっていることを確認してください。

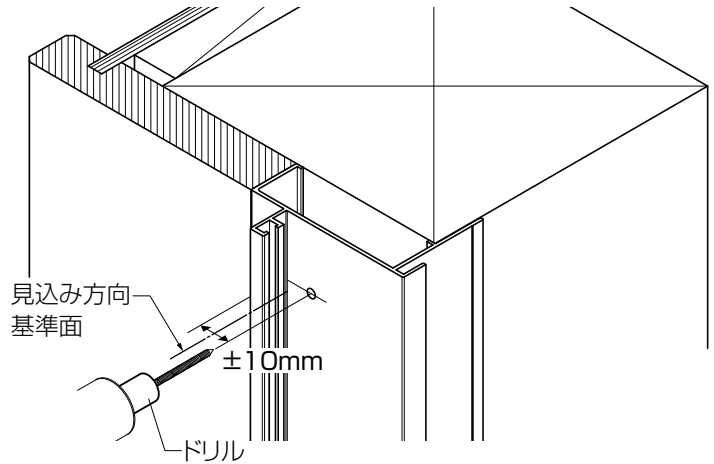


既設桢のねじ位置に合わせてリシェント桢を取付けてください。



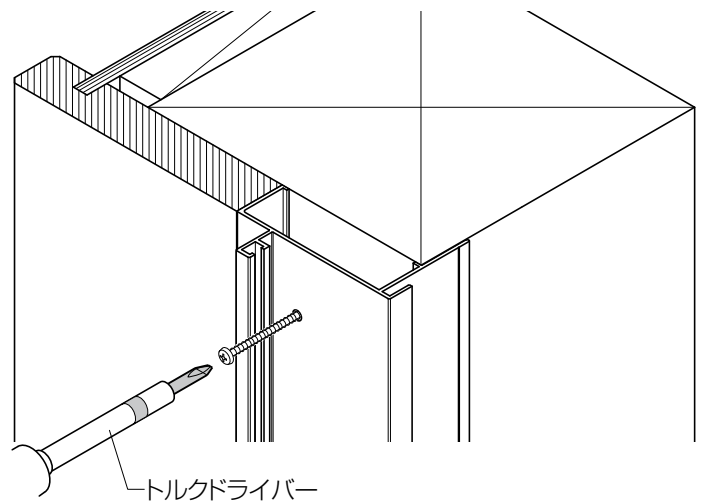
【ねじ込みトルクの確認方法】

- ①新しい枠を取付ける際の既設枠の見込み方向基準面付近±10mmの位置にφ5の穴をあけます。



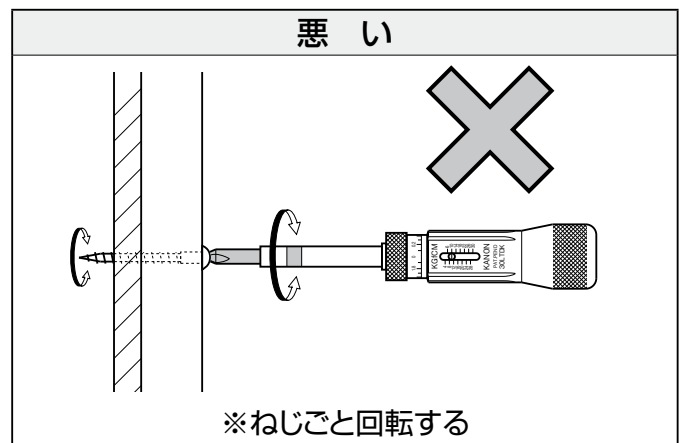
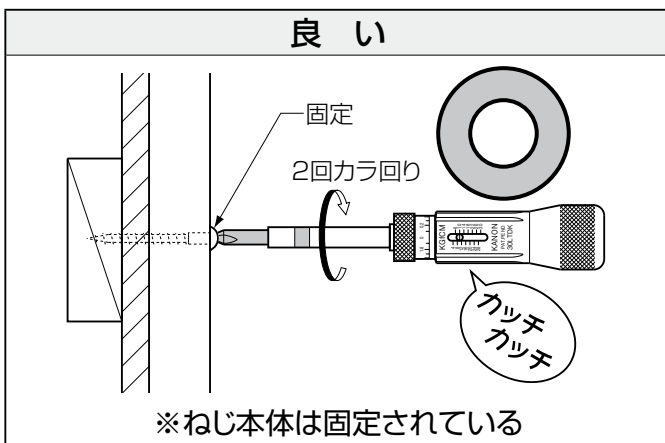
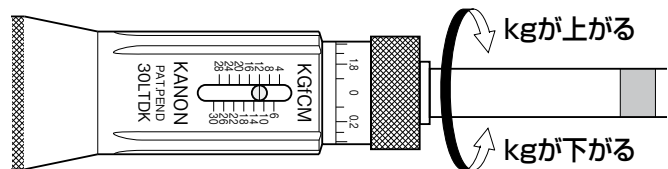
- ②新しい枠の取付けねじ（なべタツピンφ4×60（1種））を用いて取付けます。そのときのねじ込みトルクは、1.2N・m（12kgf・cm）以上であることを確認してください。

※確認後の穴はシーリング処理にて穴をふさいでください。



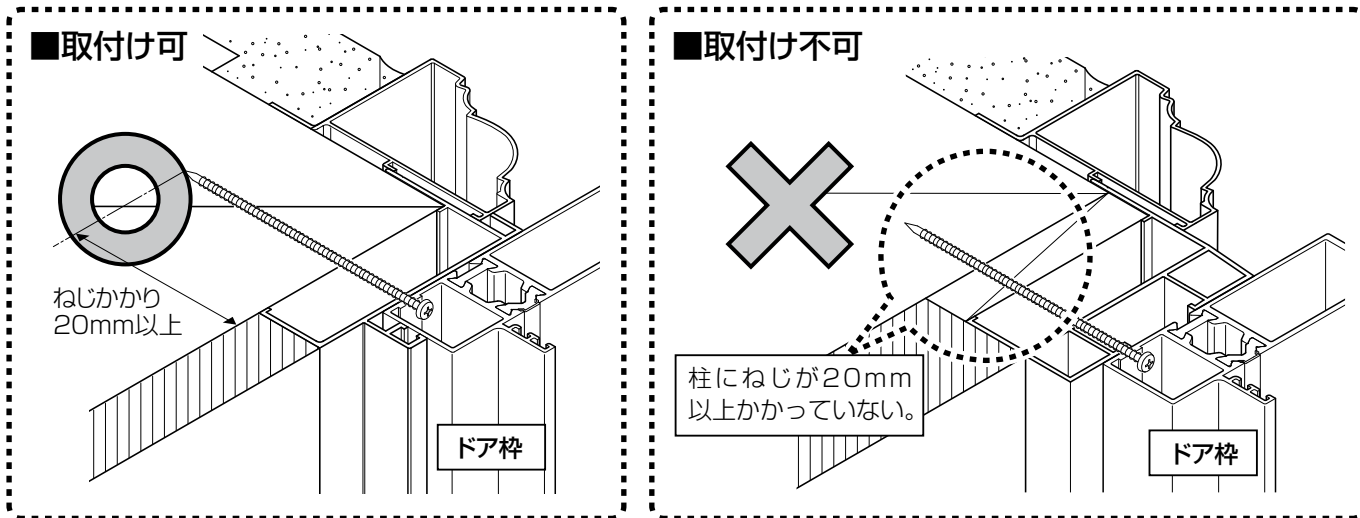
■トルクドライバー目盛り合わせ

- トルクドライバー目盛り合せ設定
1.2N・m（12kgf・cm）



3-2. 現場調査時確認事項

● 枠取付けねじは柱（躯体）に 20mm 以上かかることを確認してください。

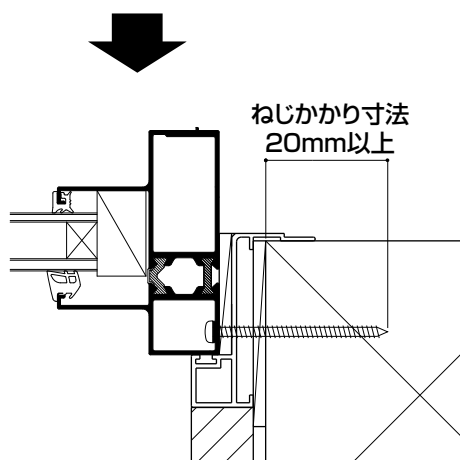
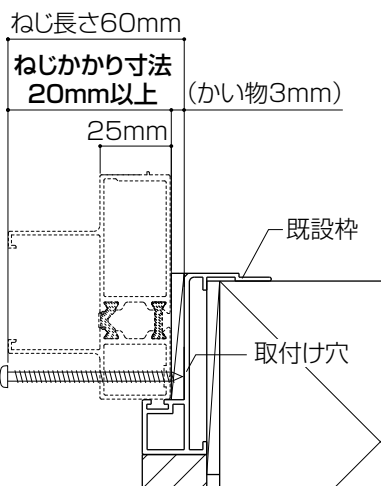


〔ねじかかり寸法の確認方法〕

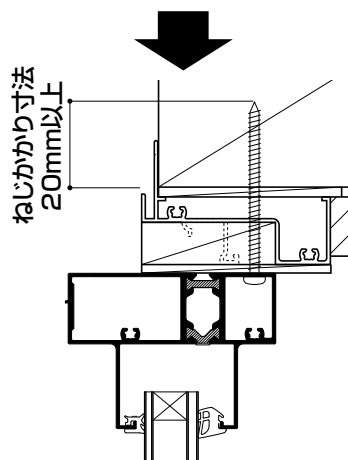
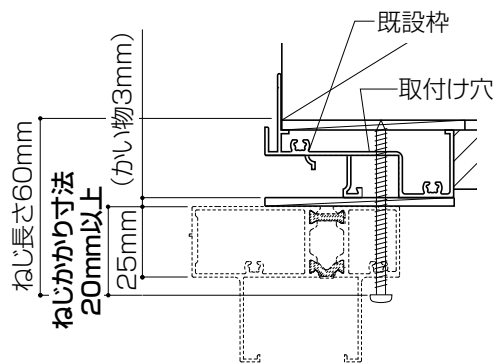
ねじ込みトルクの確認時にあけた既設枠の取付け穴にねじを入れ、取付け穴からねじ頭までの長さが 20mm 以上であることを確認してください。

※ねじ長さ 60mm

（縦枠の場合）



（上枠の場合）



4. 取付け現場の採寸時確認事項

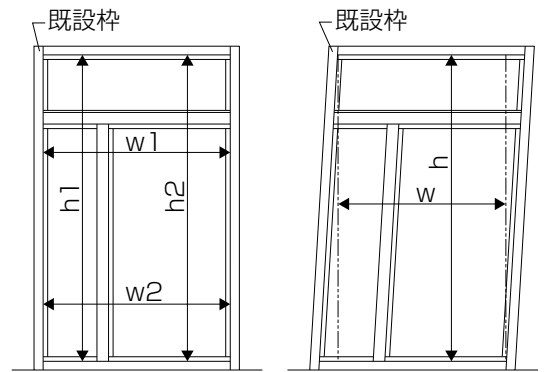
①製品製作範囲による条件

- 既設枠開口部の寸法測定を行い、製品基本寸法を算出し、寸法特注範囲内であることを確認してください。

■製品基本寸法設定

- 右図のように既設枠に歪みがある場合は、水平垂直での寸法を測定してください。

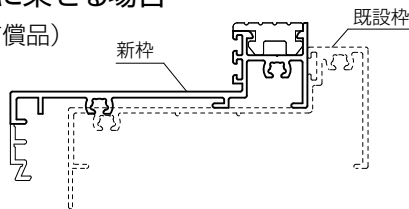
※既設枠開口寸法は、 $h \cdot w$ とも各2箇所測定し、小さいほうの寸法に決めます。製品基本寸法は既設開口寸法よりHは5mm(高断熱仕様は7mm)、Wは10mm(高断熱仕様は16mm)程度小さくします。



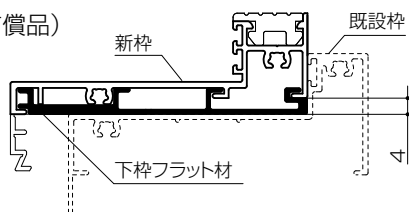
既設枠開口寸法		納まり	換算公式		製品基本寸法	
h1:		既設下枠の上に 乗せる場合	Ⓐ下枠フラット材を 使わない場合	$H=h(\text{小さいほう})-5$ 高断熱仕様($H=h(\text{小さいほう})-7$)	H:	
			Ⓑ下枠フラット材を 使う場合	$H=h(\text{小さいほう})-9$ 高断熱仕様(フラット材対応なし)		
h2:		既設下枠を 取外す場合	Ⓒ下枠フラット材を 使わない場合	$H=h(\text{小さいほう})-g+16$ 高断熱仕様($H=h(\text{小さいほう})-g+12$) ※gは②既設枠形状による条件の 縦断面図を参照		
			Ⓓ下枠フラット材を 使う場合	$H=h(\text{小さいほう})-g+16$ 高断熱仕様(下枠フラット材対応なし) ※gは②既設枠形状による条件の 縦断面図を参照		
w1:		-	-	$W=w(\text{小さいほう})-10$ 高断熱仕様($W=w(\text{小さいほう})-16$)	W:	
w2:						

●既設下枠の上に乗せる場合

- Ⓐ下枠フラット材(有償品)
を使わない場合

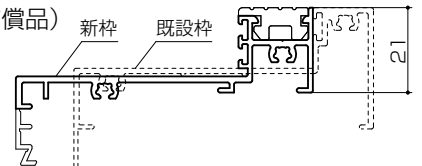


- Ⓑ下枠フラット材(有償品)
を使う場合

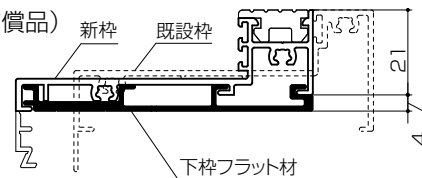


●既設下枠を取外す場合

- Ⓒ下枠フラット材(有償品)
を使わない場合



- Ⓓ下枠フラット材(有償品)
を使う場合



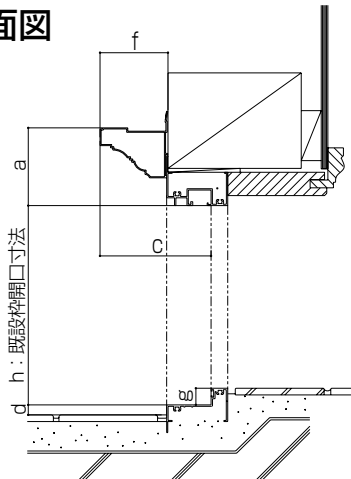
②既設枠形状による条件

a:		外額縁 (大)	$a \leq 81$ 、 $b \leq 96$ 、 $c \leq 101$ のとき取付け可能。	($f \leq 91$ まで対応可能。)
b:		外額縁 (中)	$a \leq 72$ 、 $b \leq 76$ 、 $c \leq 97$ のとき取付け可能。	($f \leq 64$ まで対応可能。)
c:		外額縁 (小)	$a \leq 16$ 、 $b \leq 19$ 、 $c \leq 72$ のとき取付け可能。	($f \leq 19$ まで対応可能。)
d:			$d \leq 18$ のとき新下枠がポーチに接触します。	(カット可能)
f:				
g:				

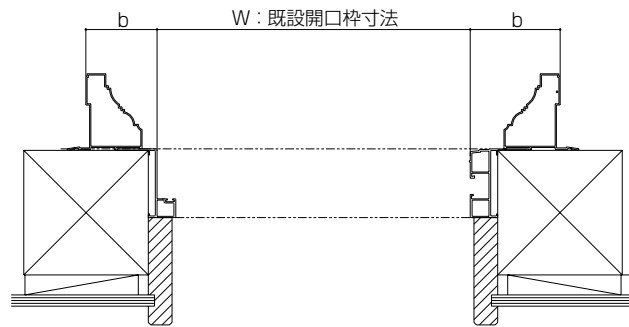
※外額縁・内額縁の形状・寸法は納まり図を参照してください。

※ g は既設下枠に乘せる場合は不要

●縦断面図



●横断面図



③周辺環境による条件

- 軒天に化粧額縁が接触する、玄関照明がドア開閉時に接触する、入隅納まり時に化粧額縁が外壁と干渉するなどを採寸時にあわせて確認してください。
- ランマ付きを通しに、袖付枠を袖なし枠 (子扉あり) にする場合、吊元の変更の場合、扉の開閉で玄関照明などにぶつかるなど、障害物がないことを確認してください。

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117
-

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトから
ご確認ください。

取説番号	MAL-376J	事業所コード	ZZB2	2014.7.1 発行
------	----------	--------	------	-------------